



CLUB OFFICE

京都YMCA青少年センター
京都市上京区烏丸今出川下ル
☎(075) 432-3191 〒602

THE Y'S MEN'S CLUB OF KYOTO PALACE

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

7 '93

Bulletin

1993.7.1発行
第24巻第1号通巻286号

CHARTERED 1971

クラブ標語 “楽しもうワイズを” —良き未来の為に今日一日の充実を—

国際標語 “IN SHARING WE HAVE FOREVER” 『いつでも分かちあいの心を』

アジア区標語 “THINK ASIA THINK Y'SDOM” 『考えようアジアとワイズ』

日本区標語 “CREATE A NEW AGE” 『創造しよう新時代』

京滋部標語 “WE Y'SDOM AIM GROWTH WITH YMCA” 『翔ばたけワイズYMCAと共に』

心を求めて例会に至り境地を得て例会を去る



聖句 「求めなさい、そうすれば与えられる。探しなさい。そうすれば見つかる。門をたたきなさい。そうすれば開かれる。」

マタイによる福音書第7章7節

期の始めに

第23代京都パレスワイズメンズクラブ

会長 高橋 卓也

“楽しもうワイズを” というクラブ標語にしたのは自分に言い聞かせる為であり、又メンバーの皆さんも、わたしと一緒に一年間クラブライフを楽しもうではありませんか？ 会長と言う職務、わたしには不向きであり、イヤでイヤでしかたありませんでしたが、ヤルと決めた以上、思い切り会長職を楽しんでやろうと決心しました。(イヤイヤやったら結果はろくな事はありません。)

例会を楽しみましょう！委員会を楽しもう！

楽しむ為には、先ず出席する事です。欠席すれば楽しむようがありません。出席すればメンバー同志、お互いより深い理解が出来、又自己を謙虚に見つめる事によって、メンバー相互間に信頼が生まれます。信頼に基づく行動・活動こそが、クラブライフを楽しむ源泉であると思います。

酒を酌交しながらの委員会、ケンカ寸前までの議論、

これも又楽しい委員会です。我がクラブは22年と言う歴史があります。パレスクラブを造り出したチャーターメンバーもまだ数多くいらっしゃいます。新しいメンバーも先輩メンバーと一緒に色々な事を話し合い、自己の考えを出して下さい。そうすればクラブの事、人生の事、仕事の事、家庭の事、色々な事を考えられ、又教える事が出来ます。ただ黙っていてもクラブは何にもしてくれません。あなたがクラブに働きかけるのです。クラブの反応は早いです。クラブは動きます。例会だけでは時間場所の関係上より深く相手を理解し合う事は困難でしょう。この様な事が出来るのは委員会活動が一番です。委員長さんはそこで自らのリーダーシップを発揮して下さい。委員会が明るく、楽しく、活発なら、例会も楽しく欠席も無くなり、メンバーが一同となって感動し合えるクラブライフが出来ると信じます。

【強調月間】 Kick-off. ユースアクティビティー

会長 高橋 卓也
副会長 高岡 昇
書記 西枝 攻
書記 堤 雄次
為国 光俊
会計 井上 均
佐藤 好久

例会出席	B Fポイント	ニコニコ	ファンド
6月第1例会 38名	切手 0pt	6月第1例会 57,000円	6月 0円
6月第2例会 45名	累計 47,400pt	6月第2例会 0円	
在籍者数 49名	現金 0円		
出席率 95.9%	累計 258,370円	累計 586,076円	累計 1,562,026円

➤ 出席第一・時間厳守・親睦・奉仕・古切手蒐集 <

一年をふり返って

西 中 日 向 記



スタートする前に腰椎粉碎骨折のアクシデントが起り、準備段階でメンバーの皆様にご迷惑をかけましたがこの一年間パレスのメンバー、メネットに支えられ会長を終えることが出来ました。

“ときめきを今” 何ごとにも意欲をもっての会長標語を掲げさせていただき、振り返ってみますと京都グローバルの設立、チャーターという大きな事業がありました。設立、チャーター共ほとんど三役で行い、クラブ運営をやらなければいけないし、三役は大変だったと思います。しかしメンバーの皆様の温かい御協力により設

立、チャーター共成功裡に終ることが出来ました。

また一年間の事業が走馬燈のように、甦ってきます。やはりクラブがいかに楽しく、魅力があるかによって、活気に満ちたものになってくるものだと思います。特に11月の英語での例会の時にメンバーの顔がいつになく明るく笑い声が絶えなかったのが一番印象的でした。その時にパレスメンバーも少しづつ変わってきたのかなあと感じ、自信を持てるようになりました。

100人例会、お花見例会そして留学生のためのバザーや留学生のホームビジットと多くの事業を経ていくうちに、内部充実が出来てきたと考えております。

また6月23日会長引継例会が行われ、メンバーが一度しか出来ない会長にこの様な素晴らしい立派な引継例会をしていただき感無量でした。またメネットさんにも多く出席して頂き、大変感謝しております。

私の一年間の経験から不言実行がいかに難かしいかということを痛感いたしました。この会長経験が今後自分の人生に大いに役立つものと思っております。

今後益々パレスクラブが発展致しますことを祈っております。最後になりましたがこの一年間拙い会長挨拶に付き合って頂き、また、メン、メネットの御協力により会長職を無事終えられましたことを感謝しております。

楽しい思い出

西 中 美 仟 子 記

昨年引継例会の会場へ行く車の中で主人と「こうやって2人揃って出席出来ることは本当に幸せなことだね」と話しながらブライトンホテルへ行ったことがついこの間の様な気がします、と申しますのは、その時はまだ堅いコールセットに杖をつき、自動車に乗るのもままならぬ状態でしたので、本当に1年間会長が勤まるのかと心配しておりましたが、三役、委員長、メンバー、メネットの皆様のご協力のおかげで無事終えることが出来ました。この1年私もいろいろと楽しませていただき、人の

温かさや、大勢の人との出逢いが出来ましたことは、私にとっても良い思い出になっております。また三役の皆様には、設立総会、チャーターナイトと行事が多くありながら一つも文句を言わず一生懸命にしておられた姿を見ていて感心させられました。

この一年間ワイズが私達の生活の一部分として入りこみ、子供達もそれなりに協力してくれていましたので、また異った父親の姿が見えたのではないのでしょうか。

本当にこの1年間メン、メネットの皆様お世話になりました。ありがとうございます。特にメネットの皆様のご協力に感謝いたします。

コラム「一の裏は六」

掉尾を飾る引継例会は、非常に感動を覚える例会だった。西中会長始め、三役、委員長の諸兄には様々の事を学ばれた実りの多い一年であったことでしょう。

誠実に、真剣に活動すればするほど、自分自身にワイズの大きな財産が増えてくる。新クラブ誕生と云う、貴重な経験をされた、西中会長始め、三役の諸兄には感無量の一年であったでしょう。特に三役の手による引継例会が感動を呼んだのも、西中会長と美仟子メネットへの、メンバー諸兄の優しい労ぎらいの姿が表れ、又三役諸兄の会長夫婦への表慶の思いが熱くあったからです。▼パレスクラブは、一つの大きな事業を為す度に、次第を担うリーダーが誕生して来る。これもパレスの伝統であり、西中会長の誠実なリーダーシップによる所である。今パレスクラブでは、クラブコンセプトである「親睦の内に素晴らしい人間を創るための、

愛に基づく自己研鑽の場」と云う言葉が23年目を迎えて、しっかりと根づいて来ている。時代時代のリーダーが、この思いをしっかりと胸に入れて歩いて行く。私達は何故ワイズに固執するのか、これは東京クラブの横田彦治郎ワイズが、いみじくも次の様に云っておられる「ワイズの会には現在失われつつある、ほのかな人間性があることを私は悟った、そして真のクリスチャンティーと云うのは、案外そう云う気持ちにさせてくれる所であるものだ、具体的には、そこに属する仲間がいいからだ」と、パレスクラブはこれからも日本、世界のいい仲間と一緒に奉仕活動を楽しんで行けるクラブでありたい。それには次のリーダーの高橋卓也会長に期待しよう！ メンバー標語 “卓ちゃんに託して”を、合い言葉に。

ワイキチ

6月第一例会報告 -535回-

日時 6月9日(木) PM 7:00

場所 ブライトンホテル

高倉孝次記

梅雨空の中、今期最後の通常例会が厳かに開催されました。西中会長の自信たっぷりの挨拶の中に、1年間のご苦労又、ご活躍ぶりがメンバーに伝わってきます。

食事の後、いよいよ“三役の言いたい放題”の時間が廻ってきました。わたしも三役の一員として、順番がまわってくるのを胸をドキドキさせながら待っておりました。まず荒川副会長がトップバッターで、続いて岡本書記のスピーチ。岡本君は仕事の関係で、あちこちの会の役員をされており、流暢に10分間の熱弁を振られました。杉井会計は、商売がら弁は立ちますが、少々あがりぎみです。高岡書記も医者としての風格がそなわり、堂々としたスピーチをされました。山岸会計は、グローバルクラブのチャーターナイトにて、司会をされ、それが自信となつてのスピーチです。

しかし、“三役の言いたい放題”のテーマとは、掛けはなれて、あまり前進的なスピーチが出来なかったことを三役を代表しまして反省しております。



6月第二(引継)例会報告 -第536回-

日時 6月23日(木) PM 6:00

場所 ブライトンホテル

田中慎一記

先日の6月23日に引継例会が行なわれました。いつもの小さな例会場ではなく、ブライトンホテルの「英の間」で行なわれ、受付に行く与会長以下三役の方々がピシット黒のタキシードで服装を決め、今期最後の例会に対する意気込みが感じられました。司会の杉本君の進行で会長の開会点鐘から始まり、ワイズソング、そして西中会長が一番得意とする会長挨拶、その中で会長は今までのこの例会挨拶では何度か目の前が真っ黒(実は白)になったことを白状されましたが、今日は手に汗をにぎりながらもたいへん会長らしいなごやかな挨拶をされました。そして、次期会長である高橋君より乾杯の挨拶があり食事にうつりました。食事も半ばをすぎ、ショータイムでは、パレスのメンバーで構成するワイルドワイズの楽しい演奏が始まり、メンバーとして初出演の井上君が半年以上かけて練習したドラムを披露され、パレス一同からの賞賛の拍手を浴びていました。また、三役一同の寸劇が行なわれ、西中会長を演じる高倉君と会長メネット役で荒川君が女装し、昨年の春のスキーで骨折した事故の事を三役の方々とおもしろおかしく再現し、わらいや拍手で、大変なごやかな時間でありました。よくここまで三役の人々ができたなあと感じ!!、そして津田メネットのナレーション入のスライド上映では、今期一年間を楽しく思い出させていただき、ありがとうございました。次に、日本区アワード発表があり、我がパレスでは数々の賞をいただき、個人では佐藤君が年賀ハガキ個人6位に入り喜ばしい次第であります。次に感謝楯贈呈では、各委員長へそしてワイキチ賞には、パレスの若手の星井上均君、パレスのお目付役杉本泰造君、パレスの行動家永井孝君、パレスの永遠の兄貴西川寿一君、パレスの縁の下の方佐藤三君、そして最優秀ワイキチ賞には、佐藤好久君、最優秀新人賞としては、巾広い人脈と人柄・才能をパレスに生かされた鈴木俊一君に会長より感謝楯が贈呈されました。次に、陰の会長引立役の美千子メネットには三役から「なにわ恋しぐれ」の替え歌「パレス恋しぐれ」が声高らかに披露されました。次に、メインである交代式が、西中会長から次期高橋会長へと行なわれ、次期三役の発表と三役交代式が行なわれ、新高橋会長からは「楽しもうワイズ。よき未来のために今日一日の充実を!!」というクラブ標語でガンバりますと挨拶され、次期に対する意欲を表現されました。そして最後に高倉副会長から、会長へそして会長メネットへの感謝の言葉が述べられ、西中会長が、一年を経てみれば長いようで短く、楽しく充実できましたという謝辞が述べられ全員がグローリーハレルヤで輪をつくり、なごやかな雰囲気引継例会を終えることができました。

今期の西中会長はじめ三役の人々は、会長中心になり、会長を盛り上げ、数々の事業を丸となって為し遂げられた。これも会長のよき人柄がにじみ出た結果だと思われます。会長以下三役の方々大変ご苦労さまでした。

日本区大会



日本区大会前夜祭報告

高倉孝次記

6月11日第48回日本区大会の前夜祭が京都先斗町歌舞練場にて、行われました。森田恵三日本区理事の開会挨拶の後、京都洛中ワイズメンズのメンバーでもある、笑福亭福三さんの司会にて、まず京舞（舞妓さん5人による祇園小唄の踊り）が演じられました。

京都といえば舞妓さん。京都人として、お酒を飲みながら祇園のお茶屋さんで見る舞妓さんと歌舞練場でみる舞妓さんとは雰囲気が一変異なり、又、新鮮な感覚で京舞を見せていただきました。

続いて「狂言」が演ぜられました。狂言とは室町時代初期に京都で完成した日本最初の演劇で、笑いが芸術化

され、「演技の原点は狂言にある。」と言われるぐらいです。小生は中学生時代に学校より能と狂言の見学がありましたが、それ以来の狂言を楽しく見させてもらいました。

次は、「和妻」です。和妻とは日本古来の手品のことで、手品は奈良時代に中国から仏教と共に伝来したものです。今回は婦天正若さんの「胡蝶の舞」が演じられました。2枚の小さな紙片が扇子の風によってあたかも、花を間を蝶のごとく舞いたわむれるような日本手品でした。

最後は「壬生六斎念仏踊」です。六斎念仏とは、かつて京都近郊の村々にて、ひろく行われており、盆ともなると六斎集団が市中に進出し、芸を競いあったそうです。祇園祭の綾傘鉦の棒振ばやしもこの六斎念仏踊の中の一つの曲だそうです。

この度、日本区大会前夜祭に参加しまして感じますには、京都古来の先人が築いてきた文化、芸術の数々を一同に拝見させていただき、京都人の遊びの精神、即ち、多忙な生活の中でゆとりを見つけ、さまざまな形の遊びで人生を豊かにすると云うことが良く理解できました。帰路、早速京都人のゆとりを求めて、足は自然と祇園へ向いました。

日本区大会ポテト販売にあたり

山岸弘侍記



梅雨期というのに珍しく晴天にめぐまれ、第48回日本大会が、京都国際会館にて全国から1400名の方々の参加を頂き盛大に開催されました。

庭園でのフェローシップアワー（ディナーパーティ）に、パレシアンドポテト出店のため、私達PTは3時過ぎから販売準備に取りかかりました。早くも4時には用意万端整い準備完了。早速試食とばかり、ちょっとつまんでみる「あーうまいな」「これはなかなかいけるでー」なんて試食と称してみんなで食べるわ、食べるわ「ビールが欲しいなあ」隣の屋台はと見れば、プリンスクラブの生ビール店、残念ながらまだ準備が出来ていません「急いでもらえんかなー」それぞれ勝手なことを言っております。と誰かが缶ビールを買ってきてくれました、揚げたてのポテトフライに冷えたビール。こりゃこたえられません。飲んで食べて食べて飲んで、販売するまでに無くなるおそれあり。

5時頃パレスのメンバーが屋台の前に全員集合、青い紙帽子にエプロン姿、形はキッチリ決まっています。冷凍ポテトを油の中へ、その入れ具合、キツネ色に揚げるその手際のよさ、塩をふりかけ、袋に入れて販売する笑顔、これが又一団とよろしい。袋詰めが出来ると出張販売に行くメンバー、屋台の前で他のクラブのメンバーに呼び掛ける人、写真を撮す人、誰が決めたわけでもないのに、この自然な流れ、プロも顔負けの接待サービス、たいしたものでした。

9時には、600食用意したポテトフライが全部売り切れ、大成功「パレシアンドポテト」店大繁盛の巻き。あまりの楽しさ忙しさで、持ち場が離れられず、せっかくのディナー食を横目で見ながらポテトとビールでお腹を満たされたメンバーには申し訳のないことでした。また女性お二人の大活躍にはただただ、感謝・感謝。後片付けなどお茶のこ。

パレスメン、メネット、台中エバークリーン、クラブ全員で、「お手を拝借」三本メで、めでたく終了することができました。



第48回日本区大会

西 川 寿 一 記



“夢・見・る・瞬・間 きらめきの京都”をテーマにした第48回日本区大会が、梅雨とは思えない快晴の京都で、国立京都国際会館をメイン会場にして、過去最高の1400余名の参加者のもと、6月12日～13日開催された。開会式は音と光と映像を組み合わせた演出で初まり、続いて日本区122クラブ会長によるバナーセレモニーが行なわれ、なんと女性会長が10名以上おられる事に驚きと時代の流れを感じた。来賓の祝辞に続きメモリアルタイムでは、この一年間我々の仲間10数名が天に召されたが、その中で大変驚きそして哀しんだのは、我々パレスクラブが1978年に日本区大会をホストした時の日本区理事を



されて、私達をご指導していただいた佐藤邦明様がおられた事です。ご冥福をお祈り致します。その後リラックスタイムに入り、養護施設のつばさ園の子供達によるつばさ太鼓と、梅花女子大学のハンドベルの演奏は会場のメンバーの心を和ませてくれた。

第2部は日本区11部の活動報告と日本区事業報告が部長と事業主任からあり、個性あふれる報告がなされた。

第3部はフェロウシップアワーとして、1988年の国際大会を思いおこす国際会館の庭を利用したガーデンパーティーが行なわれた。我がパレスクラブはフライデポテトを担当し、お手伝いをしたメンバーは皆んな油まみれになって大奮闘、一時は出来上るのを待って行列ができる盛況で、会場の雰囲気盛り上げた。

第4部は会場を宝ヶ池プリンスホテルに移し、ナイトアワーとして、ダンスとミュージックとアルコールで楽しいコミュニケーションのひとつきを過ごした。ワイズメンはとにかくタフでなければワイズメンでない事を実感した一日であった。

翌日は日本区からの種々な報告があり、宇都宮クラブが最優秀賞を受賞された事に讃美の拍手を送り、森田理事から熊谷新理事への役員引継式が行なわれ、新しい歴史の一ページがスタートした。

東西両副区に分かれる前の最後の大会にふさわしく、日本区の輝かしい未来“夢・見・る・瞬・間”を参加者一同感じたのではないだろうか。このすばらしい大会をホストされた洛中クラブに大きな感謝の拍手を送り、同じ京都のクラブとして大変誇りに感じる大会であった。



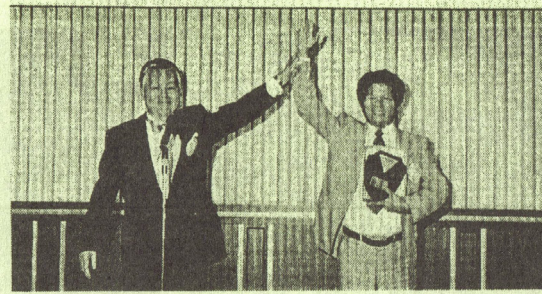
最優秀Yキチ賞を受賞して

佐藤 好 久 記

先般。身にあまる最優秀Yキチ賞を賜わりまして、ただただありがたく、心より感謝申し上げます。振り返りますれば、事業委員会で掲げました、継続事業の継承、地域社会及び国際社会の貢献等だと思います。このたびの賞も、ひとえに先輩のご指導のたまものと、感謝しています。今回の栄誉に値するような才能はまったく持っておりません、皆様のご助力を頂きまして事業活動に励んでまいりたいと思いますので、今後とも宜しく願います。

バレスワイズメンズクラブ引

西中日向 高橋卓也 '93.



1993～1994年度 日本区役員

役 職	ク ラ ブ 名	氏 名
〔常任役員〕		
理 事	柏	熊 谷 正 弘
次 期 理 事	京都キャピタル	岡 本 尚 男
直 前 理 事	京都ウエスト	森 田 恵 三
東 副 区 理 事	東京グリーン	服 部 幸 一
西 副 区 理 事	大阪土佐堀	灰 谷 隅 夫
書 記	東京ひがし	鈴 木 健 次
会 計	東京北	村 杉 克 己
〔役 員〕		
名 誉 理 事	大 阪	尾 形 繁 之
名 誉 理 事	大阪センデニア	鈴 木 謙 介
〔部 長〕		
北 海 道 部	札 幌	中 田 靖 泰
北 東 部	東京多摩	清 水 彰 直
東 部	埼 玉	長 島 精 吉
南 東 部	横 浜	重 村 利 幸
富 士 山 部	熱海グローリー	鈴 木 健 之
中 部	名古屋東海	浅 野 猛 雄
京 滋 部	京都エイブル	辻 健 太郎
阪 和 部	和 歌 山	志 波 健 弘

役 職	ク ラ ブ	氏 名
中 西 部	大 阪 高 槻	中 川 次 郎
西 部	宝 塚	大 林 正 治
九 州 部	八 代	宮 川 輝 之
〔事業主任〕		
YMCA・AS	足 利	鈴 木 光 尚
IBC・YEE	大 阪 茨 木	梅 本 勉
BF・EF	熱 海	井 堀 節 男
CS・TOF	東京世田谷	小 原 武 夫
ENC	仙台青葉城	清 水 弘 一
メネット	東京北	齊 藤 三和子
〔監 事〕		
監 事	大阪土佐堀	今 村 一 之
監 事	東京西	石 井 一 也
〔副区役員〕		
次期東副区理事	伊 東	原 昭 三
東 副 区 書 記	東 京	上 谷 喜 兼
東 副 区 会 計	東京グリーン	和 田 一 芳
次期西副区理事	和歌山紀の川	坂 本 忠 幸
西 副 区 書 記	大阪土佐堀	長 尾 巨
西 副 区 会 計	大阪土佐堀	牧 口 望

1993～1994年度 部役員、会長名簿

〔部役員〕		〔部選出代議員〕		福知山	小 林 稔
部 長	辻 健太郎 (京都エイブル)	1992-94年度		京都バレス	高 橋 卓 也
次期部長	吉 野 美智子		中 村 直 樹 (彦根)	京都ウエスト	酒 井 清 隆
	(京都センチュリー)		西 山 昌 美 (福知山)	彦根シャトー	横 田 好 弘
直前部長	岩 崎 正 俊 (彦根)		川 戸 徳 郎 (京都ウエスト)	京都めいぶる	岡 本 晃
監 事	中 島 敬 泰 (京都ウイング)		亀 井 剛 (京都ウイング)	京都キャピタル	仁 科 保 雄
書 記	塩 田 吉 隆 (京都エイブル)		伊 東 克 久 (京都洛中)	京都プリンス	清 水 正 治
書 記	川 戸 徳 郎 (京都ウエスト)		塩 田 吉 隆 (京都エイブル)	長浜	松 山 利喜雄
会 計	石 村 吉 宏		井乃上 亮 治 (滋賀蒲生野)	京都センチュリー	池 下 享 子
	(京都キャピタル)	1993～95年度		京都ウイング	藤 田 寿 男
会 計	園 成 樹 (京都エイブル)		勝 山 廣一郎 (京都キャピタル)	京都洛中	荒 木 恒 夫
〔事業主査〕			杉 本 泰 造 (京都バレス)	草津	中 山 博 文
BF・EF	永 井 孝 (京都バレス)		廣 田 正 之 (彦根シャトー)	京都エイブル	砂 地 一 廣
CS・TOF	田 中 俊 光 (京都)		小 倉 寿 之 (京都センチュリー)	滋賀蒲生野	山 下 鉄 能
EMC	林 孝 治 (京都プリンス)		三 井 哲 次 (京都)	京都グローバル	坂 田 民 明
IBC・YEEP	柴 田 善 朗 (京都メイプル)	〔クラブ会長〕		京都みやび	北 村 栄司郎
YMCA・ASF	吉 田 固 行 (草津)	京都	木 戸 広 史		
メネット	岡 本 真知子 (京都メイプル)	近江八幡	森 和 雄		
物 品	新 山 兼 視 (京都エイブル)	彦根	中 村 喜 雄		
(ファンド)					(敬称略)

——留学生ホームビジット——

井 上 有 子 記

6月5日(土)に京都YMCA日本語科で学ぶ外国人留学生7名と、西川夫妻、杉本夫妻、と共に我が家での焼肉パーティーの楽しい一時を過ごすことが出来ました。日本語はもちろんのこと、中国語、英語、と3ヶ国語が、飛び交い、ちょっとした国際パーティーでした。学生達は、それぞれに日本語を学ぼうという意欲が、とても感じられ、パーティーの最後には、フィリピンの学生は、日本語で挨拶をしてくれましたし、中国の学生も、「国の違う者同志が、一緒に食事をする機会を与えてくれたこと又、ワイズメンズクラブの方々と親しく、友達になったこと、に感謝します」と挨拶がありました。この言葉は、私にとってはどんなプレゼントより心のこもった素晴らしいプレゼントになりました。私が彼らに言葉のプレゼントをするとしたら、「日本語を活かせるということは、日本の文化や習慣を学び、理解すると共に、日本を身近に感じるのだと思います」きっと彼らは、それぞれの国に帰られたとき、日本との素晴らしい、架け橋になってくださると思います。



日本家庭を訪問する

豊 建 華 記

六月五日、私は野口さんと一緒に山岸さんの家を訪れた。

午後三時ごろ、山岸さんは車で迎えてくれた。山岸さんとは初対面だから、何だか緊張していたが、山岸さんはとても親切に話しかけてくれた。お互いの近況や家族のことなどが話題になった。

山岸さんの家へ行く途中で、山岸さんは私たちを連れて「三千院」によりました。三千院には、千年の歴史を有した仏教文化財などたくさん残っている、庭園の自然も美しいです。私はその自然の美に感動してしまった。

山岸さんの家に着いた時、もう6時だった。山岸さんの家は、比叡山の西にある、まわりは緑も多いし、空気もきれいだし、とても静かです。

応接間に通され、お母さんと奥さんにあいさつをした。私は日本語が下手だから、特に女性との話し方になれていないので、お母さんと奥さんの話にはうまく応えがでなくて困った。きっと間違いだらけだっただろうと思うと恥ずかしい。

夕食は奥さんの手料理だった。私たちはおいしかった料理を食べながら一緒に話したり、笑ったり楽しくしていました。帰る前に夏休みにまた来ることになった。夏休みが楽しみだ。

鈴木俊一記

去る6月5日3人のYMCA日本語学校の留学生をホームビジットを受け入れました。フィリピンから来た3人の女性で、名前はRevelina Mahinaiさん、Grace Lanabanさん、Aida Nunezさんで、23才から27才迄の独身女性です。全員ミンダナオ島(南の大きな島)の2番目に大きい都市ダバオからの留学生です。私の知っている当地はマルコス元大統領時代に回教徒のゲリラが独立をめざして反乱を起こし、中央政府の力が及ばない非常に危険な地域との認識でしたが、彼女達によるとアキノ大統領時代で問題点は解決して、平和な南の島が戻っているとのことでした。

将来我が国からの観光客が増えることを見越して、日本語を勉強しているようですが、未だ来日してから6週間余りで、日本語がまだまだ不十分な為に彼女達の勉強に成らないことを知りながらも英語でコミュニケーションをしてしまったこと済まなく思っています。我が家に来て家族と共に食事をしましたが、家族もそれなりに楽しいひと時を過ごした様です。彼女たちの健康と大きな成果、我国の良き印象を期待しています。

アンニョンハセヨー！

谷 口 愛 子 記

6月5日、我が家に韓国からの留学生お二人をお招きしました。さわやかで朗らかな好青年でした。お若い方なので谷口には荷が重く思われ、娘とそのボーイフレンドにも加わってもらい賑やかなひと時を持つことができました。丁度本能寺で信長まつりがあり、そこへ出掛け忍者のショーや、殺陣を見学、始めて口にするとこ焼きをパクパク……。

家に戻り、食事をしながら、ハングル講座が始まりました。ハングル文字に興味のある娘の教材をみて、彼女には難しすぎるものである事を教わりました。そしてやさしい言葉をおそわりました。

チョウンペケスミダ(初めまして)

ナ(私)ヌン(は)愛子ラゴハムニダ(愛子と申します)チャル(よろしく)ブッダ(お願い)カムニダ(します)よく御存じの挨拶の言葉アンニョンハセヨーと語尾をのばすとやさしいひびきの女性言葉になるそうです。

4月から、日本語をお勉強されたとは思えない程日本語がお上手で、でも通じなくなると英語になり、解らない私たちはボーイフレンドに助けを求め、なるほどと頷くのでした。韓国では天安門事件以後の学生運動も治まり学業に専念できることが大変幸せであるという言葉は印象的で、しっかりとした理想を持って真面目に勉強に励まれることに深い感銘を受けました。

御両親の写真をを見せてもらったりの歓談はあっという間に時を移し、別れぎわにバッグからアンチョコを出して、母にご親切にありがとうございましたとお礼を言われる姿はかわいらしいものでした。私どもの家の前を通学路にされていると知り、またぜひお越し下さいとお送りしました。

またひとつ人とのふれあいの機会を与えて下さったことに感謝いたします。

古里、済物浦クラブ訪問

高谷泰市記

この度、IBCへのパレスクラブの代表として韓国仁川済物浦クラブへ訪問させて頂き、大変良い経験と交流の機会が与えられ感謝いたします。6月5日ソウル空港に到着、空港には、仁川YMCA李総務（総主事でクラブメンバー）が出迎えて下さり、早速ソウルの南大門前の文化芸術会館で行われるワイズメンズクラブ国際協会韓国中央区大会の会場へと急ぎました。ここで大会参加の済物浦クラブの多くのメンバーと再会、握手攻めにあいパレスのメンバーの多くの名前がとびだし、消息が尋ねられました。既に、グローバルのチャーターにお出で頂いた朴会長へお礼を述べ、開会の合図で同じ席に着席、この会場は岡崎京都会館第一ホールより少し大きい立派な会場でほぼ満席で盛大かつ荘厳な大会がはじまり、言葉がわからぬものの雰囲気圧迫されました。特に皆が大変歌が上手で、しかも各部ごとのメネットの合唱団が組織されており、次々とその美しい衣装につつまれ素晴



らしい合唱があり感動しました。

夕食は会長や金明圭（国会議員）さんらと韓国料理の夕食を囲んで懇談しました。そして仁川に宿泊、翌日はキリスト教会の礼拝に参加、午後はアフリカBF代表の仁川地区の歓迎会に私も同席、その後、済物浦クラブの私の歓迎会があり焼肉のご馳走になりました。クラブからのお土産を手渡しました。朴先生、尹先生など懐かしい方々ばかりでなごやかな心暖まる会でした。西中会長はじめ全パレスの会員によりしくと言うことでした。古里にかえった感じでした。良き経験を与えられ感謝。

姫路グローバルクラブチャーターナイト

西中日向記

昨夜からの雨もあがり、新幹線にて姫路へ。

姫路グローバルクラブの国際協会加盟認証状伝達式が5月30日姫路クラブのスポンサーでホテルサンシャイン青山ガーデンプラザにて行われた。

チャーターメンバーは26名、滋賀蒲野クラブに似て女性メンバーが多く、メンバーの半数以上が英会話が堪能で正しく名のごとくグローバル的である。

国際協会加盟認証状伝達も日本区理事森田恵三様の英語で伝達されスムーズに執り行われた。2部の記念講演は元日本YMCA同盟総主事であり、明治学院大学国際学部教授塩月賢太郎先生の「地球時代のボランティア活動について」のお話を聞きながらパレスクラブが京都グ

ローバルをチャーターした時の浜島先生の講演を思い出しておりました。

3部での祝宴では会話も弾み楽しい祝賀パーティーであった。すばらしいチャーターの余韻を感じながら家路についた。



京都YMCA創立90周年に想う

祝部康二

京都YMCA創立90周年のメインテーマは「拡げようウェルネス・育てよう地球人」です。明治以来、常に「これからの社会を築き上げてゆく力」であったYMCAは今、何をしようとしているのか、何が出来なのか……。という課題を持っています。その課題に対しての一つの方向性が上記テーマに込められています。物質的に豊かになった私たちの生活ですが、それは心の豊かさをも伴ったものでしょうか。国際的時代と云われている今日でも世界の様々な地域で苦しい日々を送っている多勢の難民の子供達や貧しい人達が居る事を想います。地球上の同じ人間として、貧困にあえぐ人々と共に歩み世界のYMCAに協力をする国際協力募金は年々、広がり定着を示して来ましたが、今回の90周年記念募金はインドのランチYMCAの計画している職業訓練センター建設計画を支えるもので、過去十数年の国際協力募金の一つの節目

ともなるものです。貧しい人々、小さな存在、弱い存在を支え、励ましてゆく中から国際人としてのアイデンティティー「共に生きる心」が生まれて来ると思います。これからの時代を生きる子供達の心の中にもぜひ、地球人としての心が育つ事を願いつつ。

神様、私達を励まして下さい。

力をお与え下さい

一人ひとりに道を示して下さい

豊かな心をお与え下さい

小さな者、弱い者を想う心を強めて下さい

分かち合う喜びをお与え下さい

共に生きる喜びが、一人ひとりの心に

広がりますように

アーメン

メンバー出席一覧表

○印=メン出席 ×印=メン欠席 M印=メーキャップ 入=入会 退=退会 復=復会 グ=グローバルクラブ 敬称略

	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	佐 波 江 開 設 ワ ー ク	母 子 ・ 父 子 野 外	和 敬 学 園 地 蔵 盆
愛知長晴	○	×	×	○	グ										
安土峰男	○	×	○	○	グ										
荒川徹	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
井上茂	○	○	退												
井上均	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
今井亮	○	×	○	×	○	×	×	×	×	○	×	×	×	○	
采野弘和	×	○	○	×	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	
宇野廣一							入	○	○	×	×	×	×	×	
遠藤宏	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
近美敏	退														
大槻隆彦	○	×	○	○	グ										
大野嘉宏	○	M	○	○	○	M	○	○	○	○	○	○	○	○	
大前正則	○	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
岡本和彦	○	×	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○
河合信也	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
川上孝司							入	○	×	○	○	○	○	○	
川口淳子	○	○	×	○	○	×	×	M	×	○	○	○	○	×	○
菊井正弘	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	○	○	○	○	
北村寿朗	○	×	×	○	グ										
小桜武彦	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
阪田民明	○	×	○	○	グ										
佐藤制三	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
佐藤好久	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
篠原孝弘							入	○	○	○	○	○	○	○	○
杉井恭敏	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○
杉本泰造	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
鈴木俊一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
高岡昇	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
高倉孝次	○	○	○	○	×	○	○	M	○	○	○	○	○	○	○
高橋卓也	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
高谷泰市	○	×	○	○	○	×	○	×	○	○	○	×	×	○	○
立入勝美	退														
田中慎一	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×	○
田中昌博	○	○	○	○	グ										
田中勝一	○	○	○	○	○	○	M	○	○	○	M	○	×	○	○
谷口憲一	○	○	○	○	グ										
谷口武士	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
谷口廣	×	○	×	×	○	×	○	×	×	○	×	×	×	×	○
為国光俊	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×	○	○
津田知宏		復	○	○	M	○	○	○	○	○	×	○	○	M	○
筒井信貴	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○	×	×	×	×	○
堤雄次	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
寺西明	○	○	○	○	×	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○
永井孝功	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
西枝功	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
西川寿一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○
西谷和彦	○	○	×	×	退										
野崎ひろ恵	○	○	×	○	M	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
橋本長平	×	○	×	○	グ										
長谷川泰司	○	○	○	○	グ										
布施公一										入	○	○	○	×	○
祝部康二	○	×	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○
南出潤一	○	○	×	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○
三原隆一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
宮本隼史	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
村田吉弘	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×
安岡忠男	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
山岸弘侍	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
山田高弘	○	○	○	○	M	○	○	M	○	○	○	○	○	○	○
山田博司	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
渡辺泰一	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○

役員会報告

第1号議案	年間事業報告の件	承認
第2号議案	年間決算報告の件	承認
第3号議案	事業委員会事業方針の件	承認
第4号議案	年間スケジュールの件	承認
第5号議案	一泊役員研修会の件	承認
第6号議案	納涼例会会費の件	承認

7月スケジュール

1泊役員研修会	7月3・4日(土・日) 江寿山荘
第一例会	7月14日(木) 総会 ブライトンホテル
第二例会	7月24日(土) 納涼例会 アサヒビアケラー
サバエ開設ワーク	7月18日(日) サバエキャンプ場

おとなりさん

京都クラブ	7月13日(火)	パークホテル
	7月11日(日)	リトセン開設ワーク
京都ウエスト	7月8日(木)	パークホテル
	7月18日(日)	サバエワーク
京都めいぶる	7月12日(月)	国際ホテル
	7月18日(日)	サバエワーク
京都キャピタル	7月6日(火)	パークホテル
	7月20日(火)	
京都プリンス	7月7日(水)	宝ヶ池プリンス
	7月21日(水)	宝ヶ池プリンス
京都センチュリー	7月14日(水)	ロイヤルホテル
	7月18日(日)	サバエワーク
京都ウイング	7月1日(木)	国際ホテル
	7月22日(木)	嵐山
京都洛中	7月9日(金)	国際ホテル
	7月23日(金)	国際ホテル
京都エイブル	7月13日(火)	醍醐プラザ
	7月27日(火)	
京都グローバル	7月7日(水)	グランドホテル
	7月21日(水)	
京都みやび	7月7日(水)	京都エミナース
	7月21日(水)	京都エミナース

1992年～1993年度Yキチ賞

最優秀Yキチ賞	佐藤好久
最優秀新人賞	鈴木俊一
Yキチ賞	佐藤制三
	杉本泰造
	永井孝
	西川寿一
	井上均
	高谷泰市

感謝

例会200%出席

井上均・鈴木俊一・佐藤好久・永井孝・西川寿一・
宮本隼史・山岸弘侍・西中日向： 敬称略

Happy Birthday

篠原孝弘君	1952年7月1日
布施公一君	1942年7月1日
三原隆君	1946年7月16日
高倉孝次君	1940年7月21日
杉井恭敏君	1944年7月25日
安岡忠男君	1941年7月30日

YMCAだより

1. キャンプ場開設ワーク

夏のプログラムが間もなく始まります。子供達がキャンプ場で安全に過ごせるように、以下の通りワークキャンプを予定しています。今年もみなさまにご協力いただけますよう、よろしくお願いいたします。

7月11日(日) リトリートセンター開設ワーク

7月18日(日) サバエキャンプ場開設ワーク

2. 第1回 森とひかりと仲間～不登校・夏のキャンプ

京都YMCAでは、いま社会的にも大きな問題となっている不登校の子供達の夏期キャンプを初めての取り組みとして実施します。

自然の中でのキャンプ生活、仲間やリーダーとのふれあいを通して、子供達の心を開き、友達を造り、自信をもつことができるようお手伝いをいたします。

関心をおもちの方たちにひろくご紹介いただければと思います。

とき 1993年8月3日(火)～6日(金) 3泊4日

ところ 京都YMCAリトリートセンター

対象 小学5年生～中学3年生の不登校の子供達
(定員20名)

参加費 48,000円

詳しいお問い合わせは三条本館・会員まで

☎ 075-231-4388

メンバーあれこれ

・我がパレスクラブのゴルフの鬼、杉本泰造君が昨年の名神八日市C. C. のクラブチャンピオンに引き続いて、今年の日野C. C. の理事長杯に6月20日決勝にて、見事4-2で優勝されました。勝てるゴルフの極意をいつかぜひ、我々にも御教授お願い致します。又、これからはニギリのハンディ3つ4つ増やして下さいね。

・我がパレスクラブの美男子のスポーツマン、田中慎一君が5月23日、琵琶湖で唯一のヨットレース「サムタイムヨットフェスティバル」に出場。出艇数240艇中見事2位になりました。

編集後記

年度が変わり、今月よりブリテン委員会の顔ぶれも一新。委員長と副委員長は、まったくの素人。委員3名はベテラン中のベテラン。気持ちも新たに全員やる気の10ページがあっというまに出来上がり。これもメンバー皆様のご協力の賜です。原稿さえあればブリテンなんて簡単。

1年間原稿ヨロシクネ！オネガイネ！

ブリテン委員長／高倉孝次 副委員長／田中慎一 委員／谷口武士・津田知宏・西中日向



CLUB OFFICE
京都YMCA青少年センター
京都市上京区烏丸今出川下ル
☎(075) 432-3191 〒602

THE Y'S MEN'S CLUB OF KYOTO PALACE

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

8'93

Bulletin

1993. 8. 1発行
第24巻第2号通巻267号

CHARTERED 1971

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

クラブ標語 “楽しもうワイズを” —良き未来の為に今日一日の充実を—

国際標語 “IN SHARING WE HAVE FOREVER” 『いつでも分かちあいの心を』
アジア区標語 “THINK ASIA THINK Y'SDOM” 『考えようアジアとワイズ』
日本区標語 “CREATE A NEW AGE” 『創造しよう新時代』
京滋部標語 “WE Y'SDOM AIM GROWTH WITH YMCA” 『翔ばたけワイズYMCAと共に』

心を求めて例会に至り境地を得て例会を去る

聖句 木が良ければその実も良いとし、木が悪ければその実も悪いとしなさい。木の良し悪しは、その結ぶ実で分かる。

マタイによる福音書 第12章 33節

がんばって、アメリカ・ワイズ

大野 嘉宏

大阪センテニアルクラブの谷川 寛君による「アメリカ・ワイズの衰退」という文献が出された。

ワイズの発祥の地、アメリカに於て近年ワイズメンの数が減っている現状と、考えられる要因を彼の豊富な経験から考察したものである。

私も1977年にBF代表として1ヶ月間アメリカ各地の大会、例会に参加させてもらった経験がある。ワイズメンにとってアメリカはお手本の国であり、大いなる期待で望んだものである。もちろん多くの事を学ばせてもらったが、その時既にアメリカのワイズは高齢化しているな、と感じ若いワイズメンを見い出せなかった事にガッカリして帰国した事を覚えている。

谷川君が挙げたいくつかの要因の中に「仲よしクラブ化」、「ワイズメンズクラブの魅力喪失」というのがある。YMCAで育ったメンバーは一種独特の連帯感があり、それが仲よしクラブになり、他からの参入を知らず知らずの間に妨げている事に気がつかず、又せっかく入会を

したメンバーもあまりにもYMCA寄りの活動に、自分にとっての価値感を見いだせない事に去って行くという事が多かったのでは無かったかと思う。その結果が高齢化であり数の減少であろう。

京都に於けるワイズの大きな飛躍に、その地形的な有利さ（盆地の事を指しておられるのだろうか）を挙げられる方がおられますが、私はそんな単純な事では無いと確信しています。

YMCAとの関係を常に上手に保ちながら、ワイズメンズクラブ独自の理論を持った事、一般社会との融合を計り乍ら活動を続けて来た事の結果だと思います。

谷川君は末尾に「アメリカワイズに対する愛情は今も変わらず、アメリカワイズの苦悩がわかります。是非アメリカワイズに再生してほしい、早くその時期が来てほしい。」と結んでいます。アメリカの大好きな私も全く同感です。

【強調月間】 YMCA サービス ASF

会 長 高橋 卓也
副 会 長 高岡 昇
" 西枝 攻
書 " 記 堤 雄次
" 為国 光俊
会 計 井上 均
" 佐藤 好久

例 会 出 席	BFポイント	ニ コ ニ コ	フ ェ ン ド
7月第1例会 41名	切 手 0pt	7月第1例会 66,000円	7 月 0円
7月第2例会 38名	累 計 0pt	7月第2例会 10,000円	
在 籍 者 数 47名	現 金 0円		
出 席 率 89.4%	累 計 0円	累 計 76,000円	累 計 0円

➤ 出席第一・時間厳守・親 睦・奉 仕・古切手蒐集 <

7月第一例会報告 —537回—

日時 7月14日(木) PM 7:00

場所 ブライトンホテル

篠原孝弘記



開会の点鐘、このいつも聞き慣れたはずの音が今日は特別な音色に聞こえます。そうです、高橋キャビネットが動き出したのです。豪華客船の船出を想わせるかのように、静かに、着実に、ドキドキ ワクワクの一年の旅です。“楽しもうクイズを”の標語を携えて。

会長最初のスピーチです。“委員会活動を活発にシクラブ活動の中心にしよう”“クラブが主体性を持ち、YMCAの90周年事業に協力しよう”会場中拍手の波、会長以下三役の顔がキラキラ光って見えます。各委員会よりのアピール、緊張と自信と期待とにあふれ各委員長の声が会場中に響き、出航を喜ぶファンファーレのようです。さて今回は定時総会です。議長は高橋会長、議事には西中前会長が指名されました。前年度の事業報告、次いで会長報告も無事通過。杉本会計監査からの“ムダのない、正確で且つリッチな会計決算であったことを報告申し上げます。”の声に、西中キャビネットに対する感謝と御礼の拍手の渦が会場中をうめました。本当に一年間ご苦労さまでした。さていよいよ今期の年間スケジュールの発表、事業計画案、一般会計予算案と次々に進む中、総会屋の出現?にも議事は進行し充実した討議がなされ、定時総会は無事終了致しました。

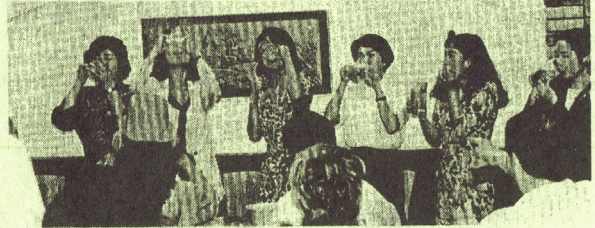
—良き未来の為に今日一日の充実を—

7月第二例会報告 —538回—

日時 7月24日(木) PM 7:00

場所 アサヒビアケラー

堤雄次記



7月第2例会は納涼例会であり、ブライトンホテルを離れ、前年に引き続き、烏丸三条の「アサヒビアケラー」で開催されました。

この日の司会は布施さんで、ニューメンバーとは思えない流暢なしゃべり、さすが年の功、ゴメンでも本当。会長のピアグラスによる点鐘も納涼例会のなせる業。そう言えば会長殿、挨拶の時、原稿を持つ手がケイレンしていますね、緊張しているのかそれともアル中か?

おいしいビールとごちそうで各テーブルとも笑い声が飛び交う中、北海道で起きた地震の義援金があつめられました。1日でも早い復興を望みます。

そしてアトラクションの始まり〜。最初は風船ロシアンルーレット。多くのメンバーが死んでしまいました?

誰や誰や、風船の下でライターの火をつけるのは、みな死ぬはずやがな。ヤンチャなアルシンドを会長が監視する。そしてピアホールと言えはビールの早飲み。今年は男のチャンピオンは菊井さんが早かったが飲みこぼしが多かったので宇野さんに決定しました。女性は去年のチャンピオン為国メネットと義理の姉の荒川メネットによるデッドヒートの末、荒川メネットがチャンピオンに決定。すごい姉妹がパレスには居たものだ!その後二次会、三次会、四次会?家に帰ったのは何時かい?

コラム「一の裏は六」

自他を思う

「一の裏は六」に1990年12月号以来二度目の投稿依頼をうけました。理事職をはなれて余日なき7月3日には早々と法人化検討委員会が開かれ、10~11日日本区役員会、17日日本区6000プロジェクトチーム委員会、24日区報編集会議と矢つぎばやのスケジュールの消化に追われ、引継後の整理もままならぬ状況下で、何を書こうかと迷ううちにとうとう〆切日を迎えてしまいました。正直言って少々疲れは感ずるものの、私の心は精一杯やり切ったという充足感に溢れています。次期理事期間を含めたこの二年間に取り組んだ数々の新事業や前年度引継事業は、単年度の理事任期中にすべて軌道に乗せ、新理事に引き継ぐことが出来たことを感謝しています。前回に「一の裏は六」を相対語として理解したように、今回も引きつづいて「一」を「自」、「六」を「他」として考えてみると、何事によらず世事万端すべて“自の意見・行動あれば、他の意見・行動あり”なのです。その折々の他を思う

心の尊さは誰もが知るところであり、Y'sの根本理念はイエスキリストの愛にあることは申すまでもありません。天空の星の数に似た無限の他の中であって、Y'sやYMCAは今の私にとっては最大級の「他」ととらえています。他の利益を図り役立つ奉仕こそ自分自身の人間的成长をもたらし、利益を与えてくれる根源であり、それは私の経営理念“自利とは利他をいう”人生訓“他の中にこそ生きてあれ”の実践そのものであるとの信念で活動して参りました。「人に施しては慎みみて念うことなかれ。施しを受けて慎みみて忘ることなかれ。」という諺があります。「念う」「忘るる」の相対語こそ、理事職を終えた今の私にとって最も大切な自戒の言葉であると謙虚にうけとめています。この一年間、子クラブ京都ウエストから出た力不足の理事を力強くご支援くださった京都パレスの皆様への施しを忘ることなく、更に精進をしつづけることをお約束する次第であります。

日本区直前理事 森田恵三

サバエ開設ワーク報告記

三 原 隆

京都の夏を告げる祇園祭が終わったと言うのに未だ梅雨明け宣言の聞かれない今日7月18日も朝から小雨が降り名神竜王を出た頃にはジャジャ降りの大雨。内心ニターッ「ヤッター、今日はカレーで酒盛りしてお開きな～んちゃって」旗あげも大雨の為中止。ワークの説明が終り、せめて格好だけでもホーキ持たないと…とかなんとか言ってる間にピタッと雨がやみ、太陽が顔を出して“がんばれヨー”と叫んでいるではないですか。背丈程にも立派に成長した草ボウボウのこんな広いこの雑草、抜いても抜いても切りがないゾーなんて文句ばかり言っている間にえらいものですネ、多勢が何とか手を動かしていると、都会人とは縁のない持ちなれない道具を



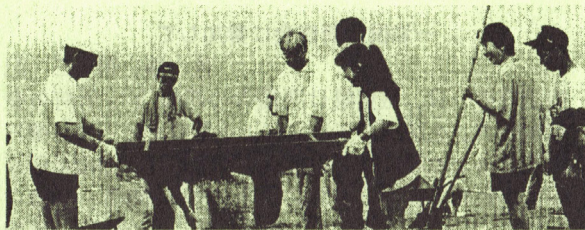
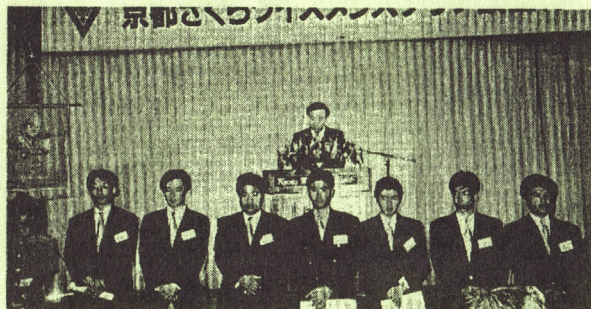
京都さくらワイズメンズクラブ創立総会

為 国 光 俊

京都では13番目のクラブとなるさくらワイズメンズクラブ、スポンサーである京都メイプルクラブの10周年事業として平成5年7月11日(日)京都国際ホテルにおいて設立総会が開催された。

138名の参加を得た式典では、メイプルクラブの岡本会長より、奉仕とは親睦の中で生まれるもの、地に足が着いた奉仕活動をさくらクラブと共に行っていきたいと挨拶があり、続いて出席者全員が見守るなか、さくらクラブ新メンバーが整列。議長が選出されて、クラブ名、新会長、新三役の決定など5つの議案が上程され承認された。又、さくらクラブ佐々木初代会長による決意表明では、常に初心にかえってクラブ活動を行ない日本一のクラブ作りを目指す、と力強く挨拶され、最後に来賓祝辞があり式典の幕は閉じた。

名にふさわしく清潔で美しいさくらクラブ、メンバーの方々のご活躍をお祈り致します。

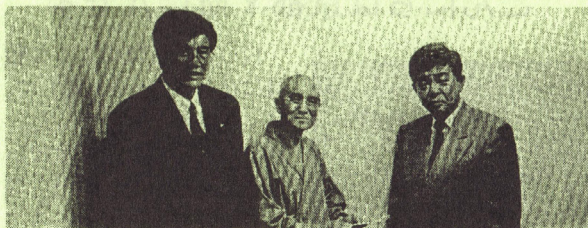


振り回した甲斐があったと言うべきか、見る見る緑の地べたが茶色に変わって行くではありませんか。昼食は定番の福神漬・ラッキョウ抜きのカレーライス。家では嫁はんがディスコフィーバーで留守の時、一人寂しく食べる手抜き食ではあるが、みんなで食べるとうまいんだな、これが!!。牛肉がいっぱいいっぱい入ってて…ご馳走様デシタ。さあもうひと頑張りとしんどい腰をヨッコラショ。

午後は浜辺のゴミあさり、ウインドサーフィン・ジェットスキーと楽しそうな若者達を横目におじさん達はいい汗かきましたヨ。帰りにもうひと仕事、衆議院議員選挙に行ってきた～す。アッ、又雨。皆さんお疲れ様でした。

京都市養護施設合同海水浴への寄贈

CS委員長 安岡 忠 男



長年続けてきましたCS事業の一端として養護施設日本海キャンプ(7月22、23、24日)が行われるのに先立ち寄贈金を7月14日(水)高橋卓也会長に同行願いと敬学園樋口月堂園長先生に手渡してまいりました。

生徒数は現在46名で幼児から12才児がその間3/4だそうです。園長先生の話によりますと子供達の学校への送迎の時間調達に大変なご苦労があるとの事です。

又現在の学園校舎が手狭になり、将来子供達と農園が出来る位の土地(約400～500坪程)に移転したいとの要望もお伺いしました。

パレスメンバー諸氏何処か遊休地又は情報があれば御一報下さい。

8月第1例会ゲストスピーカのご案内

8月第1例会ゲストスピーカーには、内外の注目をあびながら戦後初めての本格的な陸上自衛隊の海外派遣部隊として、第一次カンボジアPKO派遣部隊の主力としての任務を遂行された、京都大久保駐屯地に配置されている中部方面隊第4施設団の吉村三等陸佐をお迎えいたします。現地の苦労話や、当時国、国連傘下の他の反響、エピソード等を通じて我が国の国際社会における役割と貢献や、平和維持に付いて考える機会と成ることを期待しています。

ドライバー委員長 鈴木俊一

一泊役員研修会に参加して

佐藤 制三 記

梅雨空の一日、滋賀県は菩提寺の西枝 Y's 所有の豪壮な別荘で、土曜日の午後三時より深夜までと翌日曜日の午前9時より昼頃まで、役員会を兼ねて一泊役員研修会が開かれた。先ずはYMCAとY'sの関係、議論白熱、特にY'sはYMCAに忠誠を誓う、の言葉の解釈は服従か対等かであったが結論として、お互い独立した組織であり、それぞれが啓発しながら発展していくイコールパートナーであるとの結論に落ち着く。その他Y'sクラブと連絡主事との関係については、連絡主事はYから派遣されたYの職員であるが、同時に有効関係を持ったY'sクラブのメンバーの一人であるとの基本線は確



認された。ここで出席の祝部主事より、しかしその個々の扱いは各クラブの伝統と自主性に任せているとの実情ですとの発言が有り、ここにもYMCAとY'sの自由な関係があることを認識させられた。その他、アメリカのY'sクラブの一部が衰退したり、閉鎖させられたりしていつている現状の分析とそれを踏まえて日本のクラブもその軌跡を辿らせないようにするために、安易な物品販売、形骸化した切手の収集の見直しや、メンバー同志だけの交流に専念して外部に対して閉鎖的にならないこと、そして長期欠席者を含めて欠席するメンバーに対する働き掛け等、等、各メンバー一人一人が熱心に活発に発言し、普段余り発言しない私もガラクタ意見を色々言わせて貰い、勉強になりました。



こんにちは京都YMCAです



白いたんぽぽのような職員になります！と入職して、早くも5年が過ぎました。踏まれても咲く、強さばかりを身につけた、自己主張だけの花になっているのではないかと、反省しています。

今年から、本部にて会員関係の、主に会員活動の仕事をしています。会員集会、定期総会、クリスマスキャロリング等、会員委員会（西川寿一委員長）のもとに展開される行事の事務局や、正会員・維持会員の方々を中心とする、広範囲に渡る内容であり、まだまだ把握しきれずにいます。その中に、維持会員として、YMCAを強力にサポートしてくださ

本部・会員 久村 雅子

ているワイズメンズクラブの担当という重要な役割をもさせていただいています。特にワイズに関しては、恥ずかしいことに『Yサ=YMCAサービス』の基本すら、最近まで知らずにいた程ですから…仕事中に暴風雨に見舞われては、しゅんとしぼみ、花首を折ってしまいそうになることもしばしばです。そんな時にこそ、会員の方との出会いという、暖かい日の光をうけ、ふれあいの中でたっぷり養分を与えてもらい、また元気に咲けるのだと、いつも感謝しています。この気持ちを、私が草花に心とませられるように、会員の方々に少しでもお返しできればとの思いをこめて、京都YMCA三条本館1階に根をはっています。

これからはもっとワイズを知り、ワイズとYに役立つたんぽぽになれますように。まずは紳士のクラブ、パレスの皆様、こんにちは、よろしくお願いいたします。

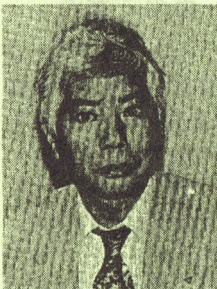
各事業委員会 事業方針

YMCAサービス事業委員会

委員長 佐藤 制三

今期は丁度京都YMCAの創立90周年に当たり、その90周年記念事業に積極的に参加、協力したい。

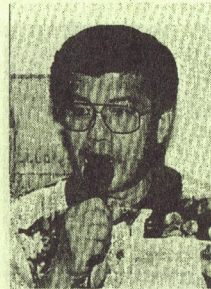
又、YMCAの事業、行事等をY'sの会員の個人個人一人づつがよりYMCAに関心を持ってくれるように努力して、パレスY'sメンズクラブの活性化に繋げたい。



CS事業委員会

委員長 安岡 忠男

CS事業を通じて、クラブメンバー全員の親睦を重視し、連帯意識をより強め、地域社会及び国際社会に積極的に奉仕すること。又YMCAサービス事業委員会との情報交換を密にし、事業協力しあい乍ら、CS委員との交流もより一層和やかに且つ内容も充実させたいと思います。



EMC事業委員会

事業委員長 山田 博司



高橋卓也会長の“楽しもうワイズを”目標にEMC事業委員会は、今一度委員会活動の原点を見つめて、親睦、そして実務を目標に、メンバーシップをクラブに求め、よき伝統である例会前の握手での挨拶の実行等、によりメンバーの連帯感を深め京都パレスワイドの発展に努力し、良質な新入会員の増加を求める。

ブリテン事業委員会

委員長 高倉 孝次



今期のブリテン委員会は、ブリテンの発行を第一例会日までに届くよう努力します。その為には、メンバーの皆様の原稿が締切日迄に必ず委員長に届くようお願い致します。尚、メンバーの皆様の全てに原稿をお願いしますので、その際は、喜んでお引受けの程、重ねてお願いします。楽しいブリテンを目指しております。

IBC・YEEP事業委員会

委員長 遠藤 宏



特にここ数年来ブラザークラブからの訪問が盛んになって来たことは、大変有意義なことである。今期は特に10月神戸において開かれる「アジア大会」には韓国及び台湾からの多くの友人達の訪問が予想される。彼等に滞在中快適に楽しく過ごしてもらえ最大限の努力をしたいと思う。メンバー各位の御協力を御願致します。

ドライバー事業委員会

委員長 鈴木 俊一



ドライバー事業委員会の方針と言うと大袈裟ですが、例会の位置づけとして、単に食事をして話を聞く事に留まらず、仲間意識をもっと強く育てる楽しい場としたいと思います。そのためにメンバータイムをつくってパレス内のメンバーの交流のみならず他クラブのワイズとの交流の機会を増やしたいと考えています。

BF・EF事業委員会

委員長 小櫻 武彦



国際役員やBF代表が公式の旅行をする為の資金源をBF基金として全ワイズメン参加のもとで積み立てられています。国際ワイズダム発展の為、ワイズメンズクラブ設立や援助の資金としてEFがあり、個人の記念すべき出来事や慶弔などの折に100米ドルを国際協会に送って積み立てています。パレスのメンバーも参加しています。

ファンド事業委員会

委員長 山岸 弘侍



1. ファンド委員会を毎月一回、各委員宅で開く。
2. ジャガイモ、カボチャ販売は、メンバーに無理のない注文を頂く。
3. パレスメンバー全員、郊外活動用制服の統一。
4. トスファンドは楽しみ、喜んで頂ける商品の構成。
5. 目標額160万円達成にメンバーの協力を願う。

1993年度年間スケジュール

M:メイキャップ

月	三役会	役員会	第一例会	第二例会	その他・行事
7	7/3(土)	7/3・4(土・日) 一泊役員研修会	7/14(木)定時総会	7/24(土)納涼例会 (振替例会)	M: 7/18サバエ開設ワーク 日本海キャンプ
8	7/30(金)	8/4(木)	8/11(木)	8/25(木)	母子父子家庭のキャンプ 和敬学園地蔵盆
9	8/27(金)	9/1(木)	9/15(火)リトセン ファミリー例会	9/23(火)京滋部部 会(振替例会)	9/18YMCA創立90周年記念式典
10	10/1(金)	10/6(木)	10/13(木)	10/27(木)	10/3ジャガイモ販売 M: 10/15~17 アジア区大会 M: 10/23~24 Y Way ウェルネスフェスタ
11	10/29(金)	11/2(木)(振替)	11/10(木)	11/24(木)	M: オリエンテーション 11/13合同 祈祷週集会 M: 11/14さくらクラブ チャーターナイト 和敬学園学園祭
12	11/26(金)	12/1(木)	12/8(木)	12/24(金)クリスマス 家族例会(振替例会)	12/22クリスマスキャロリング 12/28おもちゃつき
1	1/7(金)	1/8(土)(振替)	1/8(土)新年例会 (振替例会)	1/26(木)半期総会	
2	1/28(金)	2/2(木)	2/9(木)	2/23(木)	M: 献血
3	2/25(金)	3/2(木)	3/9(木)	3/23(木)	M: 3/20 キャピタルクラブスポンサー 新クラブ設立総会
4	4/1(金)	4/6(木)	4/13(木)親睦花見 例会	4/27(木)	M: 4/24 ソフトボール大会 M: オリエンテーション
5	4/28(木)	5/6(金)(振替)	5/11(木)	5/25(木)	
6	5/27(金)	6/1(木)新旧合同	6/8(木)	6/22(木)引継例会	M: 日本区大会 6/4~5 西副区大会(熊本)

年間事業報告 (1992.7 ~ 1992.12)

	第一例会	第二例会	役員会	その他
7月	8日(水) 第513回 京都ブライトンホテル 定期総会 前期事業報告 前期決算報告 今期事業計画案 今期予算案 承認 承認	25日(土) 第514回 アサヒビアクレー 納涼例会	1日(水) 京都ブライトンホテル * Y M C Aの日本海キャンプ開設ワークに寄付の件。 * 山岸君ご長男のご結婚に対するお祝い金の件。 * 京都市養護施設合同海水浴へ寄付の件。 * 設立総会登録費(6,000円)の件。 * 日本区C S活動委員に遠藤君推薦の件。 * 予算案修正の件。 以上承認	12日(日) サバエ開設ワーク
8月	12日(水) 第515回 京都ブライトンホテル ゲストスピーチ 株、大丸 取締役京都店長 山中 秀男氏(メイプル)	30日(日) 第516回 京都ブライトンホテル 京都グローバルクラブ 設立総会	5日(水) 京都ブライトンホテル * 北村寿朗君病氣お見舞いの件。 * 8月第一例会ゲスト山中様お礼の件。 * 9月第一例会ゲスト須藤様お礼の件。 * 立入勝美君、近美敏則君、井上茂君退会の件。 * 津田知宏君復帰及び委員会配属の件。 * 母子・父子サバエキャンプメイキャップの件。 * C S和敬学園地蔵盆メイキャップの件。 * C S日本海キャンプ寄付の件。 以上承認	9日(日) 母子父子家庭キャンプ 23日(日) 西副区ワイズシンボジウム 28日(金) 和敬学園地蔵盆
9月	9日(水) 第517回 京都ブライトンホテル ゲストスピーチ 京都産業大学外国学部教授 須藤 真志氏	23日(祝) 第518回 リトリートセンター ファミリー例会	2日(水) 京都ブライトンホテル * 西谷和彦君退会の件。(8月31日付) * E M C委員長に西枝攻君を任命の件。 * 大阪茨木ワイズメンズクラブチャーターナイトお祝い金の件。 * 9月第二例会家族例会ゲスト会費の件。 * 10月第一例会ゲストスピーカーの件。 * ジャガイモ収益金(グローバルクラブ分)処理の件。 以上承認	23日(祝) 京都センチュリークラブ5周年記念例会 27日(日) ジャガイモ販売 大阪茨木ワイズメンズクラブ 加盟認証状伝達式
10月	14日(水) 第519回 京都ブライトンホテル ゲストスピーチ 余島野外センター所長 近江岸 建助氏	28日(水) 第520回 京都ブライトンホテル ゲストスピーチ 京都大学教授 荒木 不二洋氏	7日(水) 京都ブライトンホテル * 京都グローバルクラブヘブリテン(20部)発送の件 * 京都グローバルクラブチャーターナイト実行委員長の件。 * 津ワイズメンズクラブチャーターナイトお祝い金の件 * 直前会長欠員の件。 * 京滋部部会会費の件。(振替例会) 登録費12,000円(個人負担7,500円) * 10月第一例会ゲストスピーカー謝礼の件。 * 10月第二例会ゲストスピーカー謝礼の件。以上承認	23日-25日 第9回Y M C A大会
11月	1日(日) 第521回 彦根プリンスホテル 振替例会 京滋部部会	25日(水) 第522回 京都ブライトンホテル 日本区京滋部部長公式訪問 岩崎 正俊氏 (彦根クラブ)	4日(水) 京都ブライトンホテル * 京都みやびクラブ設立総会お祝いの件。 * クリスマス例会P Tの件。 * 京都クラブ45周年記念例会の件。 * 京都ウイングクラブ5周年記念例会の件 * 新年例会会場(くに荘)の件。 * 留学生バザーP Tの件。 * 宇野廣一、篠原孝弘両君入会の件。 * クリスマス例会にY M C A職員招待の件 * 12月第一例会に和敬学園奨学生招待の件。以上承認	7日(土) 祈禱週集会 8日(日) 和敬学園学園祭 タイマソン 29日(日) 京都みやびクラブ設立総会
12月	9日(水) 第523回 京都ブライトンホテル メンバースピーチ 宇野君 篠原君 津田君 田中慎一君 鈴木君	20日(日) 第524回 京都ブライトンホテル クリスマス例会	2日(水) 京都ブライトンホテル * 新入会員委員会配属の件。 * 台湾巡回公演の京都公演受け入れ辞退の件。 * 京都グローバルクラブチャーターナイト実行委員会委員の件。 * クリスマス例会会費の件。 * ウイングクラブの紅茶販売に協力の件。 * 次次期会長(第24代)決定の件。 * 成人式会場協力の件。 * 車椅子駅伝協力の件。 * アジア大会マーシャル選任の件。 以上承認	19日(土) Y M C A クリスマスキャロリング

年間事業報告 (1993. 1 ~ 1993. 6)

	第一例会	第二例会	役員会	その他
1月	9日(土) 第525回 新年例会 くに荘	27日(水) 第526回 京都ブライトンホテル 半期総会	9日(水) * 日本区大会に屋台出店の件。 * 高谷総主事退職記念品の件。 * 次期三役の件。 * 川上孝君入会の件。 * 2月例会の件。 * 上半期事業報告及び会計報告の件。 * 献血の件。 以上承認	30日(土) EMCオリエンテーション
2月	10日(水) 第527回 京都ブライトンホテル ゲストスピーカー サントリー(株) 小村 ゆう子さん	24日(水) 第528回 京都ブライトンホテル ゲストスピーカー 安達 寿子さん (ITCメンバー) メンバースピーチ 川上君、荒川君 三原君、杉本君	3日(水) 京都ブライトンホテル * 会津ワイズメンズクラブチャーターナイトお祝いの件 * YMCALリーダー卒業記念アルバム代寄贈の件。 * 高谷総主事退任に際し4月第二例会にて花束贈呈及び高谷メネット招待の件。 * 留学生ホームヴィジットの件 * 2月第一例会ゲストスピーカーへのお車代の件。 * 年賀記念切手クラブ買い上げの件。 * 新入会員委員会配属の件。 * 次期京滋部会実行委員選出の件。 * 会費検討委員会設置の件。 以上承認	4日(木) 献血 13日(土) YMCA創立90周年記念日 集会
3月	7日(日) 第529回 京都ブライトンホテル 京都グローバルクラブ チャーターナイト	24日(水) 第530回 京都ブライトンホテル 100人例会 ゲストスピーカー JR東海、常務取締役 野村 秋博氏	3日(水) 京都ブライトンホテル * アジア大会マージナルに鈴木俊一君推薦の件。 * 采野君御長男のご結婚お祝いの件。 * 高倉君御長女のご結婚お祝いの件。 * 田中慎一君へのお見舞いの件。 * 布施公一君入会の件。 * 次期事業委員会委員長の件。 * 次期プリテン印刷依頼先の件。 * 3月第二例会ゲストスピーカー野村秋博氏お礼の件。 * ジャガイモ販売益金より京都グローバルクラブ分贈呈の件。 * 会費特別委員会委員の件及び会費検討の臨時総会開催の件。 * 台湾よりの身体障害者のコンサートチケット並びに介助協力の件。 以上承認	26日(金) 京都YMCA総主事就退任式
4月	14日(水) 第531回 かがり火 花見例会(親睦例会)	28日(水) 第532回 京都ブライトンホテル Yサ・アワー 高谷総主事退任記念例会 スピーチ 祝部君、宮本君、 西川君、大野君	7日(水) 京都ブライトンホテル * 京都みやびワイズメンズクラブチャーターナイトお祝いの件。 * 1993-95年京滋部選出日本区区議員に杉本泰造君選出の件 * CSソフトボール大会昼食代の件。 * 東京グリーンワイズメンズクラブ20周年記念例会お祝いの件。 * 姫路グローバルワイズメンズクラブ設立及びチャーターナイトお祝いの件。 * 会費検討特別委員会答申案の件。 * 4月第一例会(花見例会)会費の件。 メンバー 1,000円 メネット 5,000円 ゲスト 5,000円 以上承認	11日(日) ソフトボール大会 29日(祝) 留学生対象バザール
5月	12日(水) 第533回 京都ブライトンホテル 臨時総会 ゲストスピーカー 京都YMCA10代総主事 酒井 善弘氏	26日(水) 第534回 京都ブライトンホテル トスファンド	6日(木) 京都ブライトンホテル * 和敬学園奨学金及び5月第一例会に奨学生2名招待の件。 * 京都グローバルクラブチャーターナイト決算報告の件 * 会費検討委員会答申案の件。 * CSチャリティーバザー報告の件。 * 五月第一例会ゲストスピーカー酒井総主事の件。 * トスファンドの件。 以上承認	5日(祝) 京都みやびクラブチャーター ナイト
6月	9日(水) 第535回 京都ブライトンホテル 三役スピーチ	23日(水) 第536回 京都ブライトンホテル 引継例会	2日(水) 京都ブライトンホテル * 年間事業報告の件 * 年間決算の件 * 事業委員会事業方針の件 * 年間スケジュールの件。 * 一泊役員研修会の件。 * 納涼例会会費の件。 以上承認	12、13日 日本区大会

役員会報告

第1号議案	さくらワイズメンズクラブ設立総会お祝い金の件	承認
第2号議案	日本区広報委員に杉井恭敏君を選出の件	承認
第3号議案	高谷泰市君 6月30日付にて広義会員の件	承認
第4号議案	寺西明君 6月30日付にて退会の件	承認
第5号議案	YMCA日本海キャンプ開設ワークへ(Yサ)寄付の件	承認
第6号議案	YMCAリーダー海外派遣員への援助金の件	承認
第7号議案	対外活動援助金の件	承認
第8号議案	養護施設合同海水浴へ(CS)寄付の件	承認
第9号議案	ファンド事業委員会よりファイリングブック販売の件	承認
第10号議案	8月11日第1例会ゲストスピーカーお礼金の件	承認
第11号議案	連絡主事例会費の件	承認
第12号議案	京都YMCA90周年記念事業協力の件	承認

8月スケジュール

役員会	8月4日(木)	ブライトンホテル
第1例会	8月11日(木)	ブライトンホテル
第2例会	8月25日(木)	ブライトンホテル
母子父子家庭キャンプ	8月7日(土)	Pm4:00 集合
和敬学園地蔵盆	8月28日(日)	Pm4:00 集合

おとなりさん

京都クラブ	8月8日(日)	美山
	8月24日(火)	パークホテル
京都ウエスト	8月12日(木)	パークホテル
	8月26日(木)	パークホテル
京都めいぶる	8月9日(月)	国際ホテル
	8月23日(月)	納涼例会
京都キャピタル	8月3日(火)	パークホテル
	8月17日(火)	パークホテル
京都プリンス	8月4日(水)	宝ヶ池プリンスH
	8月18日(水)	宝ヶ池プリンスH
京都センチュリー	8月11日(木)	ロイヤルホテル
京都ウイング	8月5日(木)	国際ホテル
	8月19日(木)	国際ホテル
京都洛中	8月12日(木)	国際ホテル
	8月29日(日)	野外例会
京都エイプル	8月10日(火)	醍醐プラザホテル
	8月24日(火)	醍醐プラザホテル
京都グローバル	8月4日(水)	グランドホテル
	8月18日(水)	早朝例会
京都みやび	8月4日(水)	納涼例会
	8月18日(水)	京都エミナース

Happy Birthday

高岡昇君	1953年8月1日
宇野廣一君	1940年8月12日
杉本泰造君	1938年8月14日
田中勝君	1939年8月14日
山岸弘待君	1946年8月29日

YMCAだより

1. 第4回初級手話講座

京都YMCA手話講座は、まったく初めての方にも親しみやすく学んでいただけることで、好評をいただいています。また、今回からはご要望におこたえて、夜のクラスも始まります。

お問合せ先 京都YMCA本館1F受付

2. 京都YMCA創立90周年記念募金にご協力をお願い及び経過報告

皆様からご協力いただいております、京都YMCA創立90周年記念募金は、おかげをもちまして、7月10日現在、7,000,051円となりました。

しかし、目標額までには、なお一層のご協力を必要としています。各ワイズメンズクラブやメンのみなさまの中で、まだご協力をいただいていない方がございましたら、ぜひともご支援をたまわりますよう、心よりお願いいたします。

目的 ①インド・ランチ「新職業訓練センター」建設の為に

②京都YMCA奉仕活動基金拡充のために

期間 1993年4月1日～9月30日

単位 個人 A 10,000円以上
B 5,000円
C 3,000円

法人 一口10,000円(何口でも結構です)

お問合わせ先 京都YMCA三条本館 担当:堀江

メンバーあれこれ

・我がパレスクラブの法律の相談役、西枝攻副会長が、弁護士のかたわら、株式会社京セラの監査役に6月29日就任されました。今後益々のご活躍を期待しております。
・我がパレスクラブのやさしいお父さん、谷口武士君の長女谷口真理さんが3月にご婚約されました。結婚式は11月です。お目出とうございます。来年はいよいよおじいさんですね。 サミシーノ

編集後記

今期は京都YMCAの創立90周年にあたります。そこで今一度、我々は常にYMCAを支援するという目的意識と共に、もっとYMCAを理解する必要があります。

そこで今期ブリテン委員会は特集として、「こんにちには京都YMCAです。」のコーナーを設けました。トップバッターは、大和田雅子さんの様な、美人で頭のきれいな久村雅子さんをお願いしました。今後メンバーの皆様はYMCAを訪問した際必ず久村さんに挨拶をしましょう。



CLUB OFFICE
京都YMCA青少年センター
京都市上京区烏丸今出川下ル
☎(075) 432-3191 〒602

THE Y'S MEN'S CLUB OF KYOTO PALACE

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

9'93

Bulletin

1993.9.1発行
第24巻第3号通巻268号
CHARTERED 1971

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

クラブ標語 “楽しもうワイズを” —良き未来の為に今日一日の充実を—

国際標語 “IN SHARING WE HAVE FOREVER” 『いつでも分かちあいの心を』
アジア区標語 “THINK ASIA THINK Y'SDOM” 『考えようアジアとワイズ』
日本区標語 “CREATE A NEW AGE” 『創造しよう新時代』
京滋部標語 “WE Y'SDOM AIM GROWTH WITH YMCA” 『翔ばたけワイズYMCAと共に』

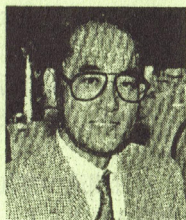
心を求めて例会に至り境地を得て例会を去る

聖句

いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。

どんなことにも 感謝しなさい。

テサロニケの信徒への手紙 第5章 16～18節



見えないものを探し求め

杉井 恭 敏

21世紀を迎える今日、世界は多くの問題を抱えています。経済、民族、環境、犯罪、人口問題と数えればきりがありません。一方、企業においても、大企業は元より中小零細企業までが深刻な不況でサバイバル作戦やリストラに頭を悩ましています。外国は日本経済のバブル崩壊をどう見ているのでしょうか。私利私欲に走る日本猿（エコノミックアニマル）とでも思っているに違いありません。戦後50年、どん底から這い上がり、世界の頂点に登りついた今、これからの日本はどうなるのでしょうか。兎に角、目に見える物（住宅事情は別にして）については世界一でしょう。しかしそれで世界は「日本が世界一」とは言わないでしょう。政府は、国連の常任理事国になりたがっているようですが、札束をちらつかせても無理ではないでしょうか。目先にお金がぶらさがっていればよくしゃべるがその他の場合は、雄弁でない日本人が世界のリーダーにはなれない。古い諺ですが「衣食足って礼節を知る」の通り、これからの日本人は目に

見えないものを探し求めていく姿勢が必要ではないでしょうか。又人間が神から与えられた70余年の命を最高に生きるために次の三つを自省も込めて大切ではないかと思います

- (1) 品性を養う。これはヘビの持つ賢さと象の持つ優しさとでもいいましょう。
- (2) 活力を養う。これはしなやかな肉体とプラス思考です。
- (3) 信仰を養う。人生は人知のおよばぬことが起こりうるものです。その時に「我唯知足」と言い切れる信仰を持ちたいものです。

私にとってパレスワイズメンズクラブの諸行事が占める時間は仕事や家庭を除けば第1位がスポーツで第2位を占めております。今期高橋会長のもとでしっかりクラブライフを楽しもうと思っております。メンバーの皆様へ感謝致します。

【強調月間】 EMC-E

会 長 高橋 卓也
副 会 長 高岡 昇
書 記 西枝 攻
会 計 堤 雄次
井上 光俊
佐藤 均
好久

例 会 出 席		BFポイント		ニコニコ		ファン ド	
8月第1例会	31名	切 手	0pt	8月第1例会	8,000円	8 月	0円
8月第2例会	36名	累 計	0pt	8月第2例会	76,000円		
在 籍 者 数	46名	現 金	0円				
出 席 率	91.4%	累 計	0円	累 計	160,000円	累 計	0円

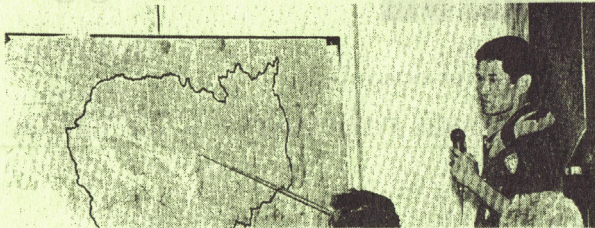
＞ 出席第一・時間厳守・親睦・奉仕・古切手蒐集 ＜

8月第一例会報告 -539回-

日時 8月11日(木) PM 7:00

場所 ブライトンホテル

荒川 徹 記

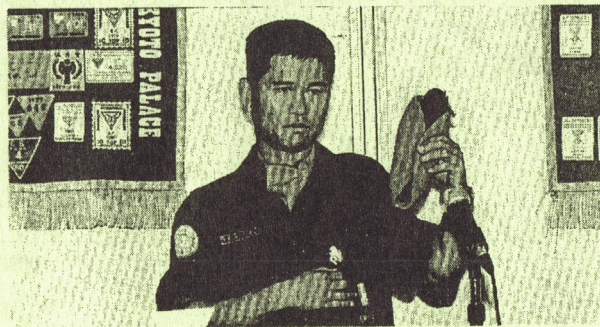


今回の例会はPKOでカンボジアに行かれた大久保駐屯地の吉村三等陸佐をゲストスピーカーにお迎えし貴重な体験談をお聞きする事が出来ました。

まず、講演に先立ってカンボジアでなくなられた二人の日本人に対して、黙祷を捧げ、そしてお話に入られました。

PKOの本隊が、カンボジアに入る前にタケオのキャンプ地までの国道の状態等を調査されましたが、十分な調査ができず、物資の搬入が、本隊がキャンプに入ってから遅れ、風呂なし、食堂なし、十分な水なしの生活を余儀なくされた事、又、気温は、最高で48℃を記録した事など、私達の日常の生活では考えられ無い様な生活をなさっていました。吉村三等陸佐は、橋を建設される部隊に所属され、その時の活動されているビデオを拝見致しましたが、例えば道路の状況は、凸凹がひどく、トラックが、穴の中に入るとかくれてしまう様な場所で活動されていました。道路をならすにも、碎石が無く、現地の人々の碎石を作る作業方法は、手に大きな石を持って、カナヅチで砕いているというのが、現状だそうです。全てが、そういった状況の中での活動ですので、大変なご苦労があったと思います。又、PKO本隊がキャンプしている所でも、銃声がよく聞こえていたそうですが、あまり悪い状況を、発表すると、日本に残っているご家族の方々が、心配される為、一部報道されていなかった事もある様です。現地においては、日本のPKO部隊は、好感を持たれ、又、日本の技術力の高さには、各国の部隊及び、カンボジアの国の方々は、驚かれていた様です。

吉村陸佐の話をお聞きし、又、私も中国に行き感じた事です、日本が豊かさのあまり持つ、貧しさを感じました。又、氏のお話の中に、現地の子供の目を見たら一生懸命やらすには、いられなかったという言葉が、一番印象に残りました。本当にご苦労様でした。



8月第二例会報告 -540回-

日時 8月25日(木) PM 7:00

場所 ブライトンホテル

谷口 武士 記



今夏始めて真夏日和に8月第二例会が開かれた。

1973年度パレスクラブ3代会長井上六平氏をお迎えし平安建都1200年記念行事として6月6日より行われた、“東海道五十三次お茶壺道中記”の苦労話を伺った。

パレスクラブにとって今日あるのも、井上氏の多大なる功績で私にとっても大先輩です。

お茶壺道中は江戸時代宇治の新茶を江戸の将軍より行列をくみ江戸将軍の元へお茶壺を献上した行列、昭和48年から京都で再現されて20年になります。

今回三条大橋より日本橋まで徒歩で、20日間道中参加のべ人数1000人にも及びお茶壺道中を再現されました。さまざまなエピソードがある中、途中藤井町長のたつての願いで藤川小学校に寄った時小学生から京都とつながる歴史を聞いてとても感動しましたとの事です。各地方新聞、TV放映で盛大に行って、広告料に換算すると50億円になるとか。6月21日に予定どおり到着し、東京都庁、首相官邸、表敬訪問、到着記念式典、JR東京駅構内キャンペーンと一行は大忙し、大反響で「祝祭・京都創生1200年」へのPRの成功を確信し、思いを新たにされました。

お茶壺は千葉の増上寺、寛永寺、徳川宗家18代徳川恒孝さん、東京都知事、と4個の予定でしたが、荒巻知事から宮沢首相にとのことで5個になったそうです。

井上氏は茶坊主役に成るため頭を丸坊主に成られてまで、ご熱心なことです。

今日くしくも井上六平氏の誕生日、高橋会長より還暦のお祝いとして真赤なパンツをプレゼントされました。

こんなの一度はいてみたかったそうです。キャピタルメンバーの森さん羽織袴の寄付、アシックス社は何度も試作して靴を提供してくださったり、皆様の御協力と御支援があって出来た事と感謝しておられました。エネルギーな井上氏は“急じれば通じる”をモットーにいつまでも燃えておられる相変わらずの好青年でした。

母子父子キャンプ報告

小 櫻 武 彦

長雨未だ明けやらず、夏未だ来たらず、曇り空の続く8月の7日土曜日、京都市主催母子父子家庭の子女対象夏期キャンプが例年通りYMCAサバエキャンプ場で開催された。月曜日までの二泊三日のこのキャンプにYMCAのリーダー20名が泊まり込みで京都市内から集まった34名の子どもたちと楽しい夏休みを過ごせるような色々のプログラムを計画されていたがその一環に我々パレスワイズメンズクラブで7日夕刻より子供達のための野外パーティーを奉仕させて頂いた。午後4時集合、Yサ委員会の用意してくれた牛肉野菜にソバ腸詰等を各々取り出し炭を熾こして準備OK、周りに芳香？立ち込める頃子供達もお皿片手に焼肉パーティーの始まりです。

リーダーや京都市派遣の職員の方それにキャンプにお手伝い下さるおばさん二人を交え、最後辺りには我々もお相伴に預かり、楽しい美味しいひとときは瞬間に過ぎ行きてゆきました。ちょうど終わる頃ポツリポツリと



降ってきたためキャンプファイヤーは残念乍ら室内ゲームに切り替えられたが快活な子供達やすばらしいリーダー達に接しほんの一時であったが何れともあれ意義ある夏らしくない夏の日の思い出となった。

パレスからの参加者は

高橋会長夫妻、安岡夫妻、三原夫妻、杉本夫妻、高岡、永井、鈴木、杉井、南出、西中、佐藤制三、山田高弘、河合、佐藤好久と友人の上出さん、小櫻、の計20名。

北海道南西沖地震への義援金寄贈

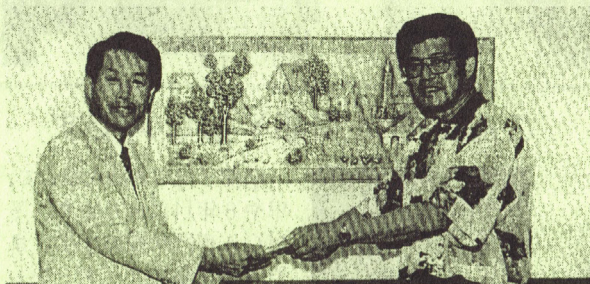
C S副委員長 南 出 潤 一

日本地震災害史上、大きな被害をもたらした、北海道南西沖地震。死者二百数十名、行方不明者四十数名。この大きな災害は現地の方でも、いまだに信じられない事だと思います。我々が今、TV、新聞などにおいて被害状況を知り、何か手助けできないか躍起になっても、それは現場が遠すぎて実際何も行えないでいる。日本全国のワイズメンズ達が、いや一つのクラブだけでも力を合わせていけば、やがてそれが大きな輪になり奥尻島をはじめとする被害地の方々に役に立つのではないかと思います。本当に小さな真心が幾重にも重なりあえば、大きな花を咲かすことができると思います。

そこでCS委員会では、メンバーの皆様へ7月24日義

援金をお願いしましたところ、皆様のご好意によりまして、95,000円が集まりました。さっそくYMCAの祝部主事に寄贈いたしました。8月初旬に日赤の募金が報告され、75億円というお金が集まったそうですが、これも全国の方からの小さな真心の結晶だと思います。

現地では今なお、弱震が続いているそうですが、一日も早く復旧してほしいものだと思います。



コラム「一の裏は六」

伝統あるパレスクラブブリテンに新米の私がワイズ論等を書くのは多少おこがましいとは思いますが、思いのままに書かせて頂きます。

貴方は何を考えてワイズに入会しましたか？

大部分の人はワイズを知らずに入会されたと思います。あの入会式で宣誓をした時を覚えていますか。あの感動と共に何かを感じ考えられたと思います。人により色々と感じ方は違うと思いますが、ある人は恐ろしさを感じ、ある人は素晴らしさを感じ、ある人は喜びを感じ、やる気を出した人、そうでない人、宣誓をした以上、少なくとも全員が自分から希望して入会したワイズです。定められたワイズの目的を理解し、その中に自分を置き、多くの友と出会い切磋琢磨して向上させる事がワイズの為であり、自分の為であり、そして責任でもあります。よくワイズは自己研鑽の場と言わ

れています。自分を研ぐだけで無くクラブにいい影響を与え役立つ必要なメンバーに成ることです。でも自分の考えを人に押しつけず、又決めつけず、気付かせる事が必要です。良いクラブ造りを目指して努力する目的は皆同じなのです。何の利害関係も持たず意見を闘わせ、自己満足で無くお互いがお互いを理解する事が真のクラブ造りだと思います。たまに意見の相違によりワイズを辞める人が有るようですが、もう一度目的を理解し、ワイズをより良く知る事で解決ができるのです。ワイズを楽しむには先ず第一にワイズを理解する事です。即ち、ワイズに入会する人もワイズを知らずに入会し、ワイズを退会する人もワイズを知らずして退会するのです。

京都グローバルクラブ会長 阪 田 民 明

京都YMCA創立90周年記念国際フォーラム

西川 寿一 記

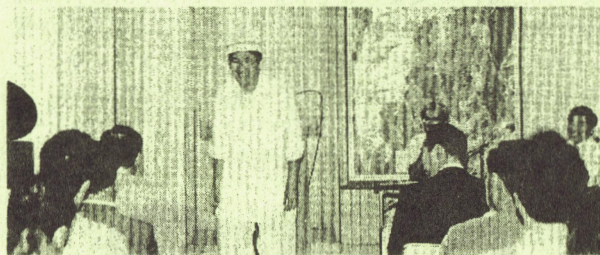
“アジアの中で隣人となるために”をテーマにした京都YMCA創立90周年記念の最初の行事である国際フォーラムが8月1日(日)三条本館にて約140名の会員参加のもとで開催された。

当日は基調講演と4人のパネラーによる発題があった。まず現アジア地域保険活動連絡網東アジア担当で日本福祉大学講師の山下政一氏より隣人となるための作法について基調講演があり、まず現地の状況を良く知る事が大切であり、現地の人と共に生活し、考え、働き、苦しみを和らげる事よりも自主独立の気持ちを持たせる事と生活を改善する事に協力する事が大切であると強調された。

つづいて1番目のパネラー京都学園高校社会科教諭の廣藤啓二氏より「高校生から見たアジア」というテーマでいろいろなデータ等を基に現在の高校生は欧・米・豪に目を向けていて余りアジアの事については興味がないのもっとアジアを知るきっかけをつくりたいと現場の先生らしく熱っぽく発題された。2番目は同志社大学大学院留学生の李 採植氏より「京都での留学生活」と題して留学生に対する宿舎や身元保証人の制度についての

意見と、外国の習慣や文化の違いにもっと同じ人間として理解してほしいという経験を踏まえながら発題された。3番目は京都ワイズメンズクラブの原田かの子氏より「一食を抜く運動」というテーマでワイズメンズクラブが行っているタイム・オブ・ファスト事業を紹介しながら飢える人々への共感と、我々の日常生活での“当たり前”への疑問、そして文化の違う人々との対応について、違うことは当たり前で違うことは素敵であるという気持ちで接する事が大切であると経験を生かした発題をされた。最後に日本キリスト教団京都地区宣教師の大津恵子氏より「自立への支援」というテーマで2年半余りタイのチェンマイ近くのワンチャン地区で生活をされた体験談と、山岳少数民族カレンの女性達が手で織った織物の販売活動を通じて、山岳民族への支援活動と女性の自立のための協力をされている話をされた。

地球に生きる私たち、アジア人として、地球市民として「共に生きること」「平和を育むこと」の大切さを学びこれからの国際協力について考えるひとときを持てた意義ある国際フォーラムであった。



こんにちは京都YMCAです



京都YMCAに入職して、早や8年目になります。YMCA専門学校の学生、また野外活動のリーダーをしていた2年間を含めると、私とYMCAの関係もう10年目ということになります。日々を重ねるごとに強くなる想いは、自分はなん

と多くの人々の大きな力添えによって支えられ、YMCAの中で生かされているのだらうという想いです。その中の大きな一つとしてワイズメンズクラブがあると思っています。

私は10月に初めての出産をひかえ、はらはらドキドキ

青少年センター総務 竹内 千香

の毎日を送っています。YMCAでの仕事と家庭、そして今後は母としての役目が私には加わります。どれにも言い訳をして、どれも中途半端になりがちな毎日を送っています。とうてい何かに奉仕する、自分の為以外のことに力を注ぐなど力のおよばない私です。そんな私にとって自分のこと以外に、自分のこと以上に、YMCAだけでなく地域社会や世界のためにご奉仕されているワイズメンズの皆さまはまぶしくもあり、大きなあこがれです。私が支えられ、生かされている大きな根の一つであると実感しております。

もうすぐ母になる今でこそ、そして母となってよりいっそう自分を磨けるよう、これからもよろしく願いいたします。その大きな力のもと、私も何かに奉仕できる人間になりたいと願っております。

第11回京滋部会ご案内

ウエルネスYYSスポーツフェア

広げようウエルネス、集まろう ワイズファミリー
日時 1993年9月23日(秋分の日) 登録AM 9:00～
会場 滋賀県立体育館(大津市におの浜4丁目2-12)

第15回ワイズメンズクラブ国際協会アジア地区大会 「考えよう、アジアとワイズ」

日時 1993年10月15日(金)～17日(日)
会場 神戸市国際会議場
大会本部 ポートピアホテル

50代からのウェルネス

布施 公一

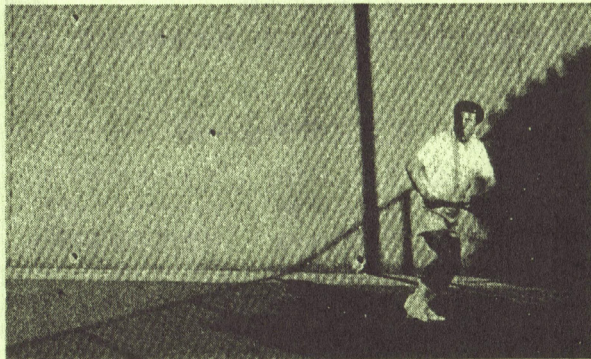


京都市民テニス大会にて優勝

30才台の後半のある年の区民運動会でさっそうと2番目を走っていた私は先頭のランナーをあわや追い抜くかと思えたところに足がもつれてポテチンとひっくり返ってしまいました。なんとも情け無いこの出来事が、それ迄少々体力と運動には自信過剰気味であった意識を、これからの健康と体力は努力して作っていかねばならないという意識に目覚めさせてくれたのでした。さっそくソフトテニスを始めて、これは10年以上続けてやっていますが、50才の声を聞いてから60才以降にでも何か適した運動をと考えて太極拳を選んでみました。あのゆっくりとした動きはいかにも年を取っても出来そうで楽なスポーツなのかと考えていましたが、意外にもやってみるとハードの面のあるのに驚きました。それもそのはずで太極拳が武術であるという事を忘れていた訳です。「含胸拔背」「用意不用力」「動中求静」「相連不断」などと中国語が出てくるスポーツなど初めての体験でとまどいだらけでしたが次第に慣れてくると面白さも解り出して今ではかなり太極拳にのめり込んでいます。先ず運動量としては約6分間の動きである簡代24式という入門の太極拳でも2回続けてやると大汗をかく程のものですし、その間の精神集中がストレスを大いに解消してくれます。その上今迄の人生で身につけていた自分の動作そのものがかなり間違っていた事に気付かせてくれました。ゆっくり動く事によりアンバランスな面が見えて来ます。太極拳で強調される「虚実」をはっきりさせること、すなわち常に片方の足に重心がありもう一方の足は完全に遊んでいる状態に出来るためにはバランスの取れた動きと姿勢が必要になります。次に判った事は自分自身の体を意でコントロール出来るという事です。力を用いずに意で体を動かす訳ですが、慣れると血圧などもかなり自由に上げ下げ出来る様で、ここまで来るとさらに奥の深いものが見えて来てさすが中国数千年の歴史があるものだと感心させられます。今迄知らなかった面白い世界に出逢ったものだと思います、今後じっくりとこの太極拳とつき合っていこうと考えています。

私のウェルネス・ライフ

宇野 廣一



私は学生時代から、色々なスポーツに親しんできた。テニス、スキー、ヨット、野球、その後始めたゴルフなど(50歳位までは、ゴルフはスポーツとは思わなかったが…)。今はヨット、野球はほとんどしなくなったが自分でやる以外またスポーツ観戦も楽しみの一つになっている。今年全米オープンゴルフで活躍した小山美保ちゃんの親父と一緒にコースをよく回ったのも楽しい思い出で、よくまあ親父と同じフォームで打つものだと関心してテレビを見ていた。

よく観戦に出掛けるものとしては、息子がやっている関係もあってラグビーがある。あの格闘技にはなんとも言えない爽快感がある。

また、中学校のクラブ活動(テニス)の先輩・後輩で同窓会「YTC」(ヤングで楽しいクラブ)を作り、テニスは勿論のこと、旅行、山登り、カラオケ、食事会などいろんなイベントを計画し、幼かった日々を思い出しながら楽しい集まりをもっている。

それに、仕事関係でもゴルフコンペがよくあり、優勝でもしたら次の幹事役が回ってくるので大変だが、広いグリーンに囲まれ、すがすがしい気分の中でのプレーはお互いの心を開き、普段の姿とは違った一面を覗かせ、距離間がぐっと縮まるといった事も多々ある。自分は楽しめるし、一石二鳥といったところである。

そして不老の秘訣として、以前、代議士だった加藤シズエさんが言っておられたことだが、「一日、十の感動」をするのである。ちょっとした親切に対して感動、朝咲いた朝顔の美しさに感動、今日も元気で鳴いている蟬の声に感動、何でもいい。一日十個程みつめて感動することである。これは中高年の無気力さから少しでも世の中に目を向ける第一歩と成り得るのである。

こんな私ですから友達関係も自然とスポーツを中心に集まってきて、体の健康と同時にメンタルヘルスもコントロール出来、以前にストレスを管理出来なかった時期があったが、その経験を生かし、今は百点満点のマインドコントロールが出来ていると自分勝手な自信を持っている。

役員会報告

第1号議案	大前正則君7月31日付にて退会の件	承認
第2号議案	京滋部部会(振替例会)例会費の件	承認
第3号議案	リトセンワーク例会費の件	承認
第4号議案	8月第2例会ゲストスピーカー 井上六平氏の件	承認
第5号議案	北海道南西沖地震、義援金寄贈の件	承認

9月スケジュール

役員会	9月1日(木)	ブライトンホテル
第1例会	9月15日(木)	リトセンファミリー例会
第2例会	9月23日(木)	京滋部部会(振替例会)
Y M C A 創立90周年記念式典	9月18日(土)	

おとなりさん

京都クラブ	9月14日(火)	センチュリー合同例会
	9月5日(日)	リトセン閉営ワーク
京都ウエスト	9月9日(木)	パークホテル
	9月23日(木)	京滋部部会
京都めいぶる	9月13日(月)	国際ホテル
	9月23日(木)	京滋部部会
京都キャピタル	9月7日(火)	パークホテル
	9月23日(木)	京滋部部会
京都プリンス	9月1日(木)	宝ヶ池プリンスH
	9月23日(木)	京滋部部会
京都センチュリー	9月14日(火)	京都クラブ合同例会
	9月23日(木)	京滋部部会
京都ウイング	9月2日(木)	国際ホテル
	9月23日(木)	京滋部部会
京都洛中	9月10日(金)	国際ホテル
	9月23日(木)	京滋部部会
京都エイブル	9月14日(火)	醍醐プラザホテル
	9月23日(木)	京滋部部会
京都グローバル	9月1日(木)	京都グランドホテル
	9月23日(木)	京滋部部会
京都みやび	9月1日(木)	京都エミナース
	9月23日(木)	京滋部部会
京都さくら	9月8日(木)	国際ホテル
	9月23日(木)	京滋部部会

メンバーあれこれ

・我がパレスクラブの思いやりの心の持主、西中日向君の長女西中麻衣子さんが12月にブライトンホテルにて、ご結婚されます。残るは西中さつきさんだけです。これ又、サミシーノ

・我がパレスクラブの将来の室町を背負う男、荒川徹君が7月に、古家を取りこわし豪邸を新築されました。毎晩、恵子メネットとビールの一気飲みをしてはだめです。そらそうと、この不景気なときに家を新築されるとは、黒染ってよう儲かるんやろなあ？

Happy Birthday

川口淳子君	9月13日
山田博司君	1937年9月15日
佐藤好久君	1947年9月19日

YMCAだより

1. カヌーセーリング写真撮影会(京を撮る～vol.2)

京都を流れる木津川で、カヌーセーリングの練習風景を撮影します。激しい流れの中、生き生きと練習する人たちの姿を、カメラにおさめてみませんか。

初心者、オートフォーカスカメラしかお持ちでない方も、ぜひご参加ください。

日時 1993年9月23日(木) 集合11:30～

場所 JR笠置駅前集合

定員 30名

費用 3,500円(昼食代含む)

講師 濱岡昇氏(京都YMCA写真研究会講師・全日本写真連盟京都府本部参与、国画会会員)

主催 京都YMCA

協賛 京都府観光連盟

2. 京都YMCA創立90周年記念行事にぜひご参加を!

・記念式典&ファミリーフェスター地球の家族大集合

日時 1993年9月18日(土) 14:30～16:00

場所 KBSホール(烏丸通り御所蛤御門前)

会費 無料

・記念パーティ

日時 1993年9月18日(土) 17:00～19:00

場所 京都ブライトンホテル(新町通中立売)

会費 お一人 10,000円

・Y WAY(ワイワイ)ウェルネスフェスタ

日時 1993年10月23日(土) 午後3時～24日(日)

場所 京都市花背山の家(京都市左京区花背)

パレスクラブゴルフコンペ開催

日時: 10月3日(日)

場所: 竜王カントリークラブ

集合時間: 9時50分

定員: 16名(メン・メネット)申込順

主催: B.F. CS委員会

参加希望者はFAXにて安岡CS委員長まで

FAX 591-9275

編集後記

遅れて来た夏で、毎日暑い日が続いております。今、日本は不況だ、円高だとオタオタしているのは日頃変化への備え、対策を怠ってきたからです。

そこで今期ブリテン委員会はリストラに取組みました。委員会のメンバーの各々は不況を克服する為、頭を使い、額に汗して、人の2倍働いておりますので、委員会の開催は月1回だけ。しかも編集は1時間で完了。後は酒を飲みながら次号の構成や遊びの話でワイワイガヤガヤ。ブリテンなんて頭を使えば簡単簡単。



CLUB OFFICE
京都YMCA青少年センター
京都市上京区烏丸今出川下ル
☎(075) 432-3191 〒602

THE Y'S MEN'S CLUB OF KYOTO PALACE

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

10'93

Bulletin

1993.10.1発行
第24巻第4号通巻269号
CHARTERED 1971

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

クラブ標語 “楽しもうワイズを” —良き未来の為に今日一日の充実を—

国際標語 “IN SHARING WE HAVE FOREVER” 『いつでも分かちあいの心を』
アジア区標語 “THINK ASIA THINK Y'SDOM” 『考えようアジアとワイズ』
日本区標語 “CREATE A NEW AGE” 『創造しよう新時代』
京滋部標語 “WE Y'SDOM AIM GROWTH WITH YMCA” 『翔ばたけワイズYMCAと共に』

心を求めて例会に至り 境地を得て例会を去る



聖句 「神の国は何に似ているか。何にたとえようか。それは、からし種に似ている。人がこれを取って庭に蒔くと、成長して木になり、その枝には空の鳥が巣を作る。」

新しい仲間

京滋部BF.EF 事業主査 永井 孝

1945 年を境として日本人の生活様式は一変しました。そしてそれ以後の社会は、1 年ごとに飢餓を克服し勤勉と努力により豊かさをかち取ってきました。戦争に負けながらも、このような繁栄を得られたのは人々の勤勉と努力だけと言うのでは説明不足でしょう。

有史以来の痛烈な敗戦により、旧来の秩序を破壊し新秩序を打ち立て、共産主義と対立する自由主義陣営の最前線としてアメリカの庇護を受け続けることが出来たこと、これが大きい原因のひとつでしょう。

今、世界情勢は激変し、日本丸はアメリカの庇護を離れ荒海に乗り出さざるを得なくなりました。これは否応無しに出帆させられるもので有り指針になる海図も自ら作り出さなければならぬし、その船のキャプテンも日本人自体で選んでいかなければならない、本当の自立ということでしょう。

我々のワイズメンズクラブ運動も世界の情勢と経済成長に共鳴しているように見ることがあります。

アメリカの黄金時代 1960 年代には、その活動は最隆盛を誇り世界のリーダーとしての地位は頼もしい存在でした。1980 年代から現在にかけては日本区の伸長に目覚ましいものがあります。

我々が世界のワイズメンズクラブと共存していくのであれば、誇りを謙虚さに置き換えて戦後の貧しい時代に篤い援助をしてくれた国々に恩返しをしなければならぬでしょう。それは色々な方法で出来ると思われませんが、BF・EF への現金募金もそれに該当します。過去に国際から日本の多くのメンバーが資金を受け国際交流を図ったようにこれからは日本区から提供される資金にてアジア・ロシア・中近東等に新クラブを設立しその人達を仲間として迎え、それぞれが理解しあって世界平和に貢献すること、それもワイズメンズの誇りとしていただくことではないでしょうか。

会 長 高橋 卓也
副 会 長 高岡 昇
" 西枝 攻
書 記 堤 雄次
" 為国 光俊
会 計 井上 均
" 佐藤 好久

【強調月間】 IBC、YEPP

例 会 出 席		B F ポ イ ン ト		ニ コ ニ コ		フ ァ ン ド	
9 月 第 1 例 会	30 名	切 手	0pt	9 月 第 1 例 会	0 円	9 月	39,682 円
9 月 第 2 例 会	21 名	累 計	0pt	9 月 第 2 例 会	0 円		
在 籍 者 数	46 名	現 金	0 円				
出 席 率	80.4%	累 計	0 円	累 計	160,000 円	累 計	39,682 円

➤ 出席第一・時間厳守・親睦・奉仕・古切手蒐集 ➤

9月第一(振替)例会報告 -541回-

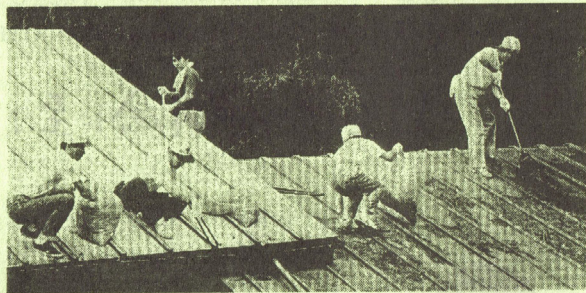
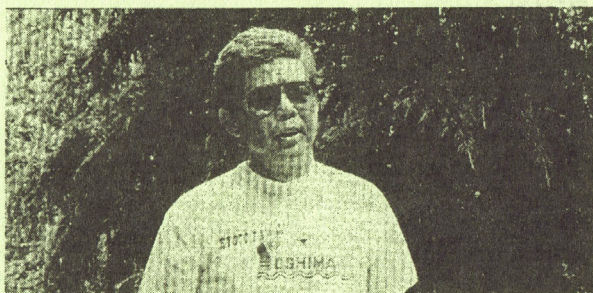
日時 9月15日(木) AM10:00

場所 京都YMCA リトセン

河合信也 記

本日、9月15日敬老の日は、パレス恒例の京都YMCA Aリトリートセンターワークの日です。前日の大雨から一転した好天に恵まれ、最高のワーク日和となりました。野外チャペルにて高橋会長の挨拶等セレモニーの後、佐藤Yサ委員長より本日のワークの説明がありました。今回の主な作業内容は、宿舎内部の清掃及びふとん乾燥と本館外壁の防腐塗装及び屋根・樋の掃除のワークでそれぞれ2班に分かれ悪戦苦闘、特に屋根・樋の掃除では、枯葉だらけで元から絶たなきやだめということで、パレスの与作?が木に登って枯れ木の伐採、又、松喰い虫に

害された大きな松の木の幹を、本職西中YSがチェーンソーを入れ数人がかりでロープで引張り倒す、前日の雨の影響ですべりやすい屋根の上でも平気?。足場を組まなくてもはしご1本で外壁最上部まで塗り上げてしまうパレスメンバーはプロ以上かも?。お昼になりメネットの方々が準備したバーベキューでいつもの楽しい昼食タイム、焼肉、焼そば、おにぎり、ビールと大満足の美味しい食事をしながらの和気あいの雰囲気もつかの間、食後の残っているワークの始まり、ビールでほろ酔い気分の中、本館外壁は見違える程綺麗になり(東側はまだ少し塗り残しがありました)、その他のワークも無事完了し、閉会となりました。参加された皆様本当に御苦労様でした。



コラム「一の裏は六」

1971年にパレスクラブが設立されて以来、22年目の今年にパレスのチャーターメンバーであった私が、まさか次期理事を拝命することになるとは思いもよらない出来事でありました。

しかし、これも何かのめぐりあわせかもしれません。私にとりましてはパレスクラブは故郷であり、青春の多感な時代にワイズ論を戦わせた仲間がいる場所でもあります。その時に教えられた数々のワイズ論をもって一年間の理事の役目を終えたいものと考えております。どうぞ宜しくご支援下さるよう、お願い申し上げます。

さて、御高承の通り、1997年の国際ワイズ創立75周年には日本区6,000名の目標が与えられております。これの実現に向けてはさまざまな動きがなされようとしています。まさか、かつて私達がワイズの仲間を京都にもっと増やす為には何をしなければならないのか

と、議論をつくした事が、また再現されようとしているのです。

メンバーの一人ひとりを大切に、質量共に備わったクラブ、しかも、50~60名規模で30代から40代が60%位を占める元気なクラブ作りが、今のパレスクラブに必要なことではないでしょうか。それはかつての30代が情熱をもって模索したこととダブル事になるかも知れませんが、今の30代、40代が頑張らなくては次の世代は育たないと思います。このことがまた、日本区に新しい息吹きを吹き込み、新しい時代を創る原動力になるものと確信しています。

そのためにもパレスの皆さんにはクラブ内だけに視点を据えるのではなく、世界を視野に入れた活動を期待いたします。

日本区次期理事 岡本尚男

9月第二(振替)例会報告 -542回-

日時 9月23日(休) AM10:00

場所 滋賀県立体育館

為 国 光 俊 記

9月23日(祝)滋賀県立体育館において第11回京滋部会が開催された。YYウエルネススポーツフェアと題された今回の部会は例年とは違ってかわり、この季節にふさわしいワイズの運動会である。

すがすがしい秋晴れの空の下でノビノビと、と言いたところだが当日はあいにくの雨模様。しかし会場に到着してみるとメンバー達はカラフルなスポーツウェアを身にまとい、ころなしに足取りも軽く、表情もスッパリさわやか。いつものネクタイ姿とはエライ違い、スーツのときとは違ったカッコ良さがあります。などと感心していると、誰かが地を這うような声で「二日酔いでシンド～イ」。嗚呼、せっかくの若々しいイメージが…、洗いざらしのワイズTシャツが…、ウエルネスが…、と思ったが気を取り直して、これでこそパレスのメンバー祇園で鍛えたこの力、必ずや1位になって見せると心に誓ったのであった。

当日のプログラムはクラブ対抗で競われ、メン・メネット・コメット入り乱れての大混戦、風船リレーから始ま



り、次々と競技が進行される。全員参加のエアロビクスでは、ビートに乗ってレオタード姿のインストラクターと一緒にいい汗をかく。スポーツといえば見て楽しむもの「これこそ言葉どおりや」と、思ったのは私だけでは無いはず。あなたはそうは思いませんか？

午後に入り、玉入れ競技では知恵・技を駆使し1位を獲得。総合得点では3位に入賞し優秀な成績を納めることができた。優勝できなかったのは残念だが、スポーツはやはり参加することに意義がある。明るく、楽しく一日を過ごすことができた。

クラブ国際総会(西区) 第11回京滋部会

ウエルネスYYスポーツフェア 1993年9月23日 滋賀!



京都YMCA創立90周年記念式典

田中 勝 記

京都YMCA創立90周年記念式典が9月18日午後2時半からKBSホールで開催された。行政、諸団体、各種学校、キリスト教会、海外及び全国YMCA等からの来賓150名を含め約450名の出席があった。

式典はオープニングシャワー、テノールの北村敏則さんのYMCAの歌で幕があいた。女声合唱団パープルエコーによる美しい歌声にのせての讃美歌、聖書朗読、祈祷、児玉理事長の挨拶、来賓の祝辞、物故者追悼と、吉田依子さんの司会により進んでいった。

京都YMCAは、1903年に専任主事フェルプス氏の赴任により創立された。以来90年の間幾多の困難を乗り越えつつ、数々の事業を展開してきた。

日本に初めてバスケットボールやボーリングを紹介したり、或いはキャンプ場の開設、英語学校をはじめとする教育事業等、欧米文化やスポーツの導入に重要な役割を果たしてきた。



第二部ファミリーフェスタは京都クラブ藤原君と原田かの子さんの軽妙な司会で始まった。

毎年クリスマスキャロリングの指導をされている佐伯幸雄牧師、肢体不自由児キャンプに力をそそがれている奥村正治ドクター、野外事業のリーダートレーニングに貢献されている安田祐治先生、書物の朗読をテープに録音して視覚障害者に送るボランティア活動をされているテープライブラリーこおろぎの皆さん方の紹介があり、現在の京都YMCAの活動の一端が披露された。

あらためてYMCAの活動の幅の広さに驚かされた。

児玉理事長も話されているように、変動する世界、国際化、情報化のなかでYMCAに対する期待はますます高まっている。100周年に向け我々もまたより一層の協力をと新たな決意をした次第である。

YMCA創立90周年宣言を読み上げ午後4時半閉会となった。



京都YMCA創立90周年記念パーティに参加して

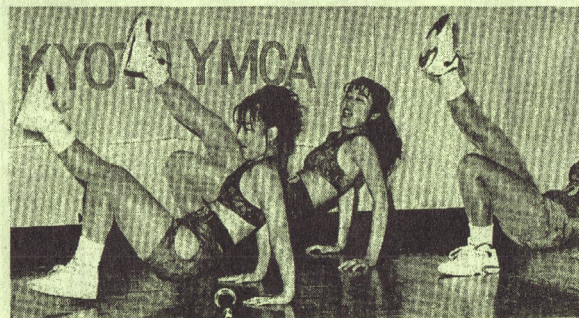
高橋 妙子 記

9月18日午後5時、ブライトンホテルの会場の灯りが暗くなり、教会の鐘の音と共に、エコー混声合唱団による「シャローム」の美しいハーモニーで「YMCA90周年記念パーティー」は開宴されました。

司会はいつもお馴染みの兼松豊さん、滑らかな口調で観衆を魅了します。来賓の挨拶は裏千家副本部長の伊住政和氏とワイズメンズクラブ国際協会日本区直前理事の森田恵三ワイズ、YMCAとワイズの関わりを話して下さいました。高谷前総主事の食前の祈り、足利道悟氏の乾杯と続き、食事と歓談が始まりました。突然ピチピチギャルがレオタードで登場、エアロビクスで皆の目を釘付けにしました。彼女達は京都YMCA体育専門学校の生徒さん達です。パレスのメン達もここに入門して若いお嬢さん達と共にお腹をへっこめてみては……。



宴会は続き海外からの総主事の祝詞の後、我がクラブ采野ワイズ率いる「カントリーワイズメンバンド」の登場で会場は最高に盛り上がりました。ウェスタンあり、ハワイアンありのレパートリーの広さは流石一軍バンドの貫禄であった様です。あっというまの20分が済み、全員でYMCAの歌、そして讃美歌「405」がコーラスで流れる中、パレスクラブ西川ワイズの挨拶、教会の鐘の音で二時間のパーティは終宴しました。パーティの時間は短かったけれど、YMCAを愛する者達の集いは参加した者にとり意義あるひと時であったことでしょう。私はワイズメネットとし、又エコー合唱団臨時会員として参加でき、YMCA同様、パレスの歴史と伝統に強い誇りを持ち帰宅しました。



和敬学園地藏盆

今井 亮 記

8月28日4時、たこを片手に、キャベツを小脇に集合。久々の好天、出足は好調、みんな大張り切り。メン16名、メネット5名、コメット1名、計22名が集まりました。

6時定刻、試食もすみ、準備万端整いワイズたこ焼き屋の開店です。腕のいい粒揃いのコックさんが多かったせいか……、形も味も最高で、本職も顔負けの出来だったように思います。

8時、準備する人、焼く人、誘う人、売る人、ワイズのグッドコンビネーションで、あっという間になくなりました。ちなみに、出た数は、184皿で、キャベツ10ケ、メリケン粉10キロでした。今年は隠し味に卵、山芋、本だしの素が加えられ、より格調高いものになっています。

した。

たこ焼きをつまみながらの雑談も夏の宵ならのことでした。



こんにちは京都YMCAです

青少年センター 広田 真理子



入職して4年、青少年センター1階で専門学校の仕事をしています。コミュニケーション学科(英語系)、ホテル学科、秘書学科、情報学科、社会体育学科の5つの学科が設置され、20才前後の学生達が約250人集まっています。このにぎや

かな中で学生達と和気あいあいとやっております。

専門学校とワイズメンズクラブとの交わりは少ないのですが、ワイズメンズクラブの方々のご活躍振りは、専門学校の学生同様バワフルで、お支えいただいて心強く思っております。唯一専門学校のイベントの中で、ワイ

ズの方とご一緒させてもらっているのは学園祭になります。毎年めいぶるのワイズの方と合同でさせてもらっています、学生達の催しに加え、ワイズの方のバザーや模擬店を準備して下さいます。事前の準備から、当日にはそれぞれの仲間を誘ってくださり、子供から大人まで一つになり、和やかな雰囲気学園祭をすすめることができます。いつもワイズの方にはお支えいただき、特に学園祭ではリードしていただいているので感謝しております。

今年も11月3日に学園祭を行います。パレスの皆様もお気軽にお立ち寄りいただけたら……、と思っています。また、学生達との交わりが広がることを心より祈っているところです。どうぞよろしくお願い致します。

第15回ワイズメンズクラブ国際協会アジア地区大会について

マージナル 鈴木 俊一

第15回ワイズメンアジア大会が10月15～17日の3日間、神戸ポートアイランドの国際会議場・ポートピアホテルをメイン会場として開催されます。

神戸市は大変アクティブに都市創りに取り組んでいる町で、その発展ぶりは目をみはるものがあります。株式会社神戸市と言われるほど経済開発に熱心で、それに伴って住民の生活環境の改善にも重点をおき、10数年で大きく変わり、美しくなった町です。

ポートアイランドはポートピア博覧会を契機に作られた人工島で、ビジネスセンター、文化ゾーン、居住エリア、港湾ストックヤード等を備えた、緑多い環境の良いロケーションです。交通機関は三宮からポートライナーで約10分、ポートピアホテルのシャトルバスで約15分ぐらいです。

初日は神戸国際会議場で式典、基調講演の後に会場をポートピアホテルに移ってディナーパーティと成ります。ここの料理はなかなか評判で皆様の期待を裏切らないことでしょう。参加各国のお国自慢の出し物が用意されています。

2日目は国際・エリアアワーの後、色々なセッション

が用意されています。各人は好みのコースに別れて体験学習や分団協議に参加していただきます。特に分団協議組にはグルメな食事が用意されていますので奮ってご参加下さい。ディナーパーティではデキシールランドジャズのエンターテインメントでお楽しみ下さい。

3日目は日曜礼拝の後、分団発表を行なって閉会となり、お別れランチで流れ解散となります。

9月10日現在で日本国内とアジアの諸国から韓国、香港、台湾、フィリピン、スリランカ、ハワイ、ブラジル等のワイズメン・メネットの登録があります。

その内訳は国内登録299名、海外227名で当初の予想の国内550名、海外250名に照らしますと、国内の登録が大幅に少ないのが大変気に掛かります。

多くの参加が期待されている京滋部の登録が少なく、19クラブでメン23名、メネット4名が現状です。当パレスクラブの様に例会時に取りまとめて登録するクラブや、手続きが遅れているメンバーもあると思われますが、一人でも多くのメンバーの参加をお願いすると共に楽しい新たな出会いのある大会にしたいものです。



だれが名づけてくれたのか、又、ネオンの看板まで用意してくれてありがとう。

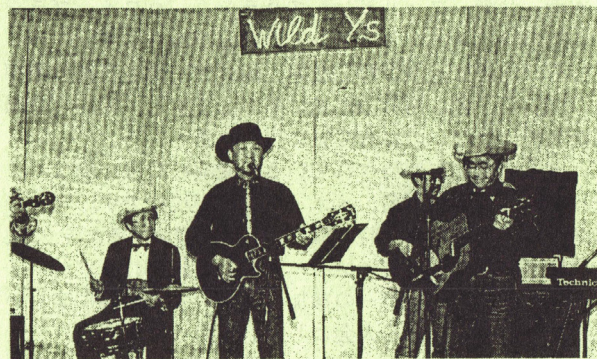
しばらく、家庭の事情でマダラ出席会員の時期があった。そのあいだに、すばらしいネーミング、優秀なプレイヤーがパレスクラブに出揃い、まるで浦島太郎の心境である。

わがパレスクラブがこのような音楽をとりいれてのクラブ活動はチャーター以来の伝統で、チャーターナイトが京都国際ホテルで行われたとき、大野ワイズがキーボード、ピアノ演奏、と活躍していた。(このあたりはクラブ長老宮本ワイズが御存じと、思う。)

以来クラブのメンバー各位のあたたかいご支援のもと、パーティーといえパレスといわれるほどトレーニングしてきた。と云うよりも、そこには音楽のたぐいがクラブ運営にとって潤滑油となり、クラブ活力の源泉たるメンバー一人ひとりの親睦に不可欠な要素であるとしらずしらずに定義づけたのかもしれない。

前期のクリスマス例会で久しぶりに楽隊のメンバーに加わせてもらったとき、冒頭に申し上げたとおり、涙が出るほどうれしかった。(ちかごろ歳のせい、か、すぐに肉体のあちこちから水分がにじみ出る。枯れてる部分もあるが…ナー宮本君)

ナント、為国君はエフェクターを駆使してのアドリブ。こんなサウンドと一回やりたかったんや。川上君の健康的で晴れやかなバンジョウプレー。相変わらずなにを弾かしても一流の鈴木君。(彼は小生と同じジャンルの音楽なので、周知の仲。ちなみにスティールギタープレーも大したものですよ)。キーボードはわがクラブ専属のオルガンの先生、大野君。—ここだけ読むとスナックの先生みたい—まあ、あの大きなからだで人一倍気をつけてサウンドバラ



ンスのチェックからキーコードのウンチク、私生活の健康アドバイスまで、リーダーにはいつもお世話になります。高岡君の真摯なエレキベースのプレーは職業柄か真面目そのもの。全員のリズムのダレをきっちり歯止めしてくれる。

一番驚いたのがドラムスの井上君。練習をしているとか風の便りに聞いていたが、どうしてどうして堂々たるもの。元米ドラムスなるもの一名ドラムスコ、といわれるほど扱いにくい楽器で四肢を駆使して演奏せねばならないので、誰彼という訳には行かない。云わば右脳左脳の連繫プレーで成り立つ。克ててくわえてリズムセンスとルックスが要求される。ほんまにエーすじしとおいやすわ。ナー宮本はんどーどす。

こんなすてきなメンバーとの音出しでメンバー・メネット・コメットとたのしい集いに参加してウン、パレスは健在さすが伝統、とまたまた滲む。音楽のよい所はプレーするもの同志も聞く側も年齢差感がないこと、為国君もかんにてないよネ。感激したのは篠原コメットが(本当に可愛いお嬢ちゃんでした。)オークションが当たらないと文句を云ったとたん大当たりになったこと。上は70才から下は0才まで、これなんですよ。たのしいね。

音楽とともに音楽を友として、これからもクラブの友情をますます昇華するためメンバーの理解のもと活動してゆきたいのである。心を求めて例会に至り境地を得て例会を去る。まさに心は他人の心にあらず己の内なる心になにかを求めるため例会があることについて最近気が付きました。杉本はん。

10月第二例会ゲストスピーカーのご案内

スピーカー 井原 三津子さん

京都府立大学を卒業後、旅行代理店の株式会社マップインターナショナルに入社されて、現在、同社の機関紙『マップニュース』の編集長として活躍されています。

又、世界の108ヶ国を訪問された旅行ルポライターとしても有名で、月に1度、京都新聞紙上に『井原三津子の世界こだわり紀行』を連載されています。

我々にはあまり馴染みの無い国への旅の事情や、旅行に関するあれこれをご紹介頂く興味深いお話に成ることと思います。皆さんが海外旅行を計画されるときに大きなアドバイスとなるでしょう。旅好きの方集合！

My Wellness Part 14

食生活とウェルネス

津 田 知 宏

ウェルネスとはどう言う意味なのか、念のため調べてみました。その意味は「アメリカで行われている大衆的な健康増進運動で、食事、スポーツ、精神の安定、対人関係、環境作りなどに主眼をおいている。」とのことでした。以前のスピーチで私のスポーツ歴は紹介させていただきましたので、今回はメネットを対象に、御主人の食生活を主眼においてメネットが御主人にかけられた生命保険金を早く受け取れる様な完全犯罪のアドバイスをしたいと思います。

まず、食事の中に塩分を十分にに入れて下さい。これは細動脈に障害を与え、また食塩中のNaが身体に水分を貯留させるため、心臓に負担を与えます。高血圧、心不全の原因となるものです。一般的には1日10g以上の塩を入れて下さい。ミソ汁1杯で1.4g、梅干1ヶで1.6g、ラーメンには5～6gも含まれています。肉の脂味は悪玉コレステロールです。好き焼きに赤味の肉は硬いものですが、霜降り肉を入れると柔く非常においしいものです。またしょう油、砂糖をたっぷり使うので好き焼きはその目的のためには最高の食べ物です。卵は1日1ヶといわず3ヶ以上あげて下さい。レバーや内蔵は悪玉コレステロールが高いので、スタミナがつくと言ってたくさん食べさせてあげて下さい。魚の卵類もコレステロールが高くおいしいものです。また、忙しいと言ってインスタント加工食品をもっと利用しましょう。これは食塩が多く含まれているためおいしく感じます。塩分を少なうしたところまづくて売れなかったということです。それにインスタント食品には食物繊維が少ししか含まれていないのです。食物繊維は日本食に多く含まれていてそれは便秘を防ぎ、大腸癌の発生を予防する効果があると言われています。事実、昔は日本人の1日の便の量はアメリカ人の2倍あったそうですが、今はほぼ同量に近づいたと言われ、また日本人に大腸癌が特に増加して来ていることからこの事は正しい様な気がします。

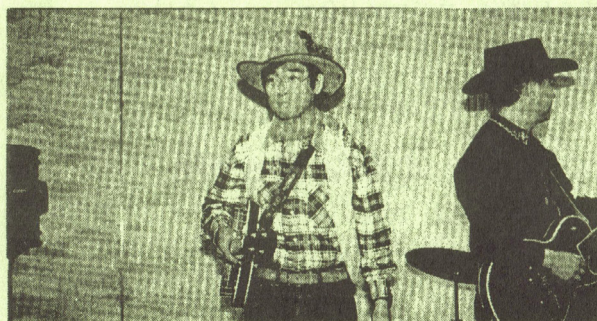
休みの日には、御主人をごろごろ寝かせてあげて下さい。食事をたっぷり食べさせ、ニコニコしながらチクチクと御主人を攻めてストレスになる事を連発して下さい。ストレスは免疫力を低下させ、体力を落とし、病気になり易くします。運動不足は善玉コレステロールを低下させ、悪玉コレステロールを上昇させます。メネットは5年間程これらの事を続けて下さい。きっとあなた方の思い通りになる事でしょう。

私は以前、油物、肉類が好みで野菜や日本料理はあまり好きではありませんでした。幸い最近では少しずつ好みが変わって来ている。ワイズメン達!!気をつけて食生活を送られますよう忠告しておきます。

My Wellness Part 15

Well Energy, well Sound, Hand in Hand

川 上 孝 司



さわやかな風、心の中に染み入る刺激的なサウンド、草原を駆けぬける馬のごとく、バンジョーを掻き鳴らす姿に、私はウェルネスを見た。

私とバンジョーとの出会いは、22年程前、映画『俺達に明日はない』のテーマ曲フォギーマウンテンブレイクダンスを耳にした時からである。楽器屋へ行き、手に入れたのは、カスガ製5弦バンジョーで1万5千円もした。当時の私にとっては大金である。今ならギブソンが良いとか、ベガが良いとか思うが、全く手の出せる金額ではなかったし、又その様な事はどうでも良かった。同じ形をしているバンジョーだから、それより、弾いた事のない楽器を手にした事の喜び、そして爆発しそうな興奮は、今でも覚えている。しかし、楽器は手に入れたもののどうして弾くかわからないし、コードもわからない。やっと見つけたのが、東理夫の『あなたにも弾けるバンジョー教則本』である。“やった”これを練習すればバッチリと思ったのだが、書いてある通りに弾いても何か違う、レコードで聞いたあの草原を駆けぬぐる様なサウンドではない。結局レコードを聞きながら自分なりに指使いを決め、音を作るしかなかった。レコードからの音のコピーは大変である。なんせ16分音符と32分音符の世界である。ただ私はあまりに几帳面な方ではないので、それなりの音が作れば満足してしまう。そういう意味では楽であった。その後レコード完全コピーの楽譜と、指使いやピックの選び方まで懇切丁寧に書いた教則本が次々と出版されたのである。それを見て、今までの弾き方、指使いが大きく間違っていた事がわかりショックを受けた。反対に、本物を手にした感動があった。とにもかくにもバンジョーの音色は人の心を和やかにする、陽気にするエナジーを感じる。本当にいいものである。私の車にはいつもバンジョーが載せてある。仕事に出る時もいっしょである。山へ仕事に行く時も載せてある。

“Well Energy” “Well Sound” “Hand in Hand”

役員会報告

第1号議案	東副区のクラブとのIBC締結の件	承認
第2号議案	10月第1例会京滋部長公式訪問の件	承認
第3号議案	10月第2例会ゲストスピーカーの件	承認
第4号議案	BF・CS主催ゴルフコンペの件	承認
第5号議案	アジア区大会マージナル委員会をメ イキャップ対象の件	承認
第6号議案	ワイワイウェルネスフェスタ餅つき PTの件	承認

10月スケジュール

役員会	10月6日(水)	ブライトンホテル
第1例会	10月13日(水)	ブライトンホテル
第2例会	10月27日(水)	ブライトンホテル
アジア区大会	10月15～17日	
Y WAY ウェルネスフェスタ	10月23～24日	

おとなりさん

京都クラブ	10月12日(火)	パークホテル
	10月 日(日)	じゃがいもファン
京都ウエスト	10月14日(木)	パークホテル
	10月20日(水)	パークホテル
京都めいぶる	10月12日(月)	国際ホテル
	10月23日(土)	ワイワイフェスタ
京都キャピタル	10月 5日(火)	パークホテル
	10月19日(火)	パークホテル
京都プリンス	10月 6日(水)	宝ヶ池プリンスH
	10月23日(土)	ワイワイフェスタ
京都センチュリー	10月13日(水)	ロイヤルホテル
	10月 日	野外例会
京都ウイング	10月 7日(木)	国際ホテル
	10月24日(日)	ワイワイフェスタ
京都洛中	10月 8日(金)	国際ホテル
	10月22日(金)	国際ホテル
京都エイブル	10月12日(火)	醍醐プラザホテル
	10月26日(火)	コンサート例会
京都グローバル	10月 6日(水)	京都グランドホテル
	10月24日(日)	ワイワイフェスタ
京都みやび	10月 6日(水)	京都エミナース
	10月20日(水)	京都エミナース
京都さくら	10月13日(水)	CTの心構え
	10月24日(日)	野外例会

メンバーあれこれ

。我がパレスクラブのゴルフの鬼、杉本泰造君が又々、9月26日名神八日市C.C.の9月度月例杯Aクラスに見事アウト39、イン38のベスグロにて優勝されました。腰痛で1ヶ月間ゴルフをしなかったのが良かった様です。我がパレスクラブの紳士のお医者さん、津田知宏君が同じく月例杯Bクラスに出場し、アウト42、イン36の14アンダーで、パレスメンバーにてAクラスとBクラス独占アベック優勝かと思われましたが、残念ながら津田君、カード不足にて失格。しかし杉本師匠に追いつくのも間近になりましたね?。ガンバッテネ津田先生!／

Happy Birthday

荒川	徹君	1958年10月10日
渡辺	泰一君	1934年10月22日
井上	均君	1952年10月29日

Happy Anniversary

野崎ひろ恵	1957年10月 3日
筒井信貴雄・タケ子夫妻	1966年10月 3日
杉井 恭敏・ 静 夫妻	1974年10月 5日
岡本 和彦・史 子夫妻	1983年10月 8日
杉本 泰造・笙 子夫妻	1966年10月 9日
田中 勝・淑 子夫妻	1964年10月10日
山田 高弘・美 雪夫妻	1964年10月10日
菊井 正弘・豊 子夫妻	1967年10月10日
西川 寿一・和 子夫妻	1968年10月10日
為国 光俊・智 子夫妻	1988年10月23日
西枝 攻・美佐子夫妻	1972年10月29日
西中 日向・美千子夫妻	1965年10月31日

YMCAだより

1. 世界YM、YW合同祈禱週間

毎年11月の第2週は世界YMCA/YWCA合同祈禱週として、同じ日に全世界に広がる両団体で熱い祈りが捧げられています。京都YMCAでは、今年は隅谷三喜男氏を講師に招き、特別プログラムのときをもちたいと思います。ぜひお越しください。

日時 1993年11月6日(土) 午後4時より

場所 河原町カトリック教会(河原町三条上る東側)

お問い合わせ先 京都YMCA三条本館

(075 231-4388)

2. 講演会 「もっと、身近にエイズのことを」

愛する人、そして自分自身のために。この病を背負う全ての人のために。

日時 1993年10月9日(土) 午後2時～6時

場所 京都YMCA三条本館 地階ホール

講師 メモリアルキルトジャパンのメンバー

石田吉明氏、樋口和彦氏

編集雑記

我がパレスクラブには自慢できることが二つあります。一つはメンバーの皆様の持つ、すばらしい品性(ヘビと象の品性ですぞ!/)。もう一つは、大野嘉宏バンドマスター率いる「ワイルド・ワイズ」です。楽隊のメンバーの各々は学生時代ブイブイいわして、又、女の子からはキャーキャーいわせた面々の集団です。腕前は正に1人を除いてプロ級です。ブリテン委員長も「ワイルド・ワイズ」結成当時は、ヴォーカル担当で美声を発してハモッておりましたが、鈴木君が入団以来トントお声がかからなくなりました。それ程レベルの高い楽隊です。他クラブのドライバー委員会の皆様、出張演奏もいたします。出演料はウン万円からウン10万円です。この収益金はパレスクラブのニコニコBOXに全額入りますので念の為。



CLUB OFFICE
京都YMCA青少年センター
京都市上京区烏丸今出川下ル
☎(075) 432-3191 〒602

THE Y'S MEN'S CLUB OF KYOTO PALACE

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

11'93

Bulletin

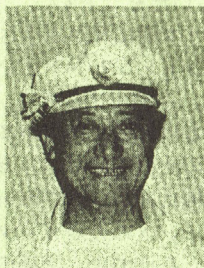
1993.11.1発行
第23巻第5号通巻270号
CHARTERED 1971

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

クラブ標語 “楽しもうワイズを” —良き未来の為に今日一日の充実を—

国際標語 “IN SHARING WE HAVE FOREVER” 『いつでも分かちあいの心を』
アジア区標語 “THINK ASIA THINK Y'SDOM” 『考えようアジアとワイズ』
日本区標語 “CREATE A NEW AGE” 『創造しよう新時代』
京滋部標語 “WE Y'SDOM AIM GROWTH WITH YMCA” 『翔ばたけワイズYMCAと共に』

心を求めて例会に至り 境地を得て例会を去る



聖句 「善を捜し求める人は好意を尋ね求める人。悪を求める者には悪が訪れる。富に依存する者は倒れる。神に従う人は木の葉のように茂る。」

箴言11章27節～28節

マーシャルの務めを終えて

アジア大会マーシャル 鈴木俊一

西中直前会長からアジア大会のマーシャルを引き受けてほしいと依頼された時、『それ一体何ですか？クラブ例会しか知らない者が務まるのですか？』等々の問答を持ったすえに、『自分がミスしたら選んだ会長の責任でせ！』と開きなおりながら大役を引き受けました。

諸先輩に聞いたところ、これはワイズメンにとって大変な名誉であり、各地のワイズメンと知りあうのにも良いチャンスで、この様な経験は得難いものに成るだろうとのアドバイスと激励を頂きました。

マーシャルの役割は、コンベンションに参加される全ての人々に気持ちよい環境を提供することです。そのためには参加者のあらゆる困り事や相談事に的確なアドバイスが出来るものを準備する必要があります。必要な予備知識は、地理や交通機関、ホテル・レストラン・会場等の設備、進行全般のスケジュール、緊急の連絡方法等々です。

大会中の主な仕事は、ホテル・会場への案内から始まり、登録のお手伝いやオブションツアーのリコメンド、資料の配布、食事やパーティー会場の案内、忘れ物・落とし物（当クラブも依頼あり）、人探しのお手伝い、VIPの誘導等々です。

事前にはマーシャルはパーティーでの食事は出来ないと言う事でしたが、空席が出れば着席しても良いことに変わりました。しかし、当日登録が非常に多くなり、席が足りなく成る可能性ができて、会場案内の時に肝を冷やしました。最終的には数席の空きが出来ただけでマーシャルも着席できて事無きを頂きました。（登録は前もってしましょう）

足が痛くなったことを除いて、多くの人との出会いや新しい経験で、エキサイティングな楽しい3日間を過ごす事が出来たことを感謝の気持ちと共に皆さんに報告します。

会長 高橋 卓也
副会長 高岡 昇
書記 西枝 攻
書記 堤 雄次
会計 為国 光俊
井上 均
佐藤 好久

【強調月間】 B F . E F

例会出席	B F ポイント	ニコニコ	ファン
10月第1例会 33名	切手 0pt	10月第1例会 27,000円	10月 0円
10月第2例会 35名	累計 0pt	10月第2例会 25,666円	
在籍者数 46名	現金 18,750円		
出席率 97.83%	累計 18,750円	累計 212,666円	累計 39,682円

➤ 出席第一・時間厳守・親睦・奉仕・古切手蒐集 <

10月第1例会報告 —543回—

日時 10月13日(木) PM 7:00

場所 ブライトンホテル

田中 慎一 記



本日の例会は、ドライバーの鈴木君の英語での司会で始まりました。それはというとゲストにオーストラリアのBF代表のヘンリーラッセル夫妻が来られていたからでした。そして高橋会長の開会点鐘となるが、会長も、にわかじこみの英語で挨拶をされたので、アガッてしまったせいか鐘ではなくマイクに「コッソ」と点鐘を鳴らし、場内は爆笑となりました。ゲストとしては、大阪クラブの三品様、清水様。めいぶるクラブの吉本様、岸様。さくらクラブの水田様。エイブルクラブの砂地様、そして瀬川様、井上様。それから辻京滋部長とまれにみる多くの方々が来られ、高橋会長の挨拶にも力が入っていました。そして、めいぶるクラブの吉本様から、11月14日のさくらクラブのチャーターナイトについてと、11月3日のふれあいバザーについてと、2つの行事の参加のお願いがありました。次に、大阪クラブの三品様からは「大阪クラブ65年の感謝記念会」の案内をされました。

そして食事もあり、辻京滋部長の挨拶の中で、「諸行無常」とは、人は常に努力をしなければ。また「よき主を選ぶには」と言うことは、自分自身が努力をしなければよき主は得られないと、説法を解かれ、次のさくらクラブの水田様より、「IBC活動について」国際交流の中で費用がかかり過ぎではないか!!もっと活動を質素にして余ったお金をもっと違った方向に使っていけないか!!と問いかけがあり、一同は考えさせられました。

そして、永井君がリンゼイ様を紹介され、「ミナサンコンバンワ」から初まり、自己紹介と住んでおられるバラットの町とワイズの活動をスライドで見せてもらいました。それから「私は違った国から来て違った文化を持ち違った食べ物を食べていますが、同じワイズメンである限り友情は永遠に続きます。」と言われ、私達がワイズであることに誇りに思いました。最後に、宮本君から、フアンドのじゃがいもの始まりについての「ワンポイントレッスン」があり、この企画は初めてであったので知らない方々には大変勉強になりました。

以上、本日は多くの方々来られ、いろいろな方面での活動や意見を聞き、有意義な時間を過ごせたことを感謝いたします。

—2—

10月第2例会報告 —第544回—

日時 10月27日(木) PM 7:00

場所 ブライトンホテル

井上 均 記



私が初めて海外旅行に行ったのは、20年前の学生時代にメンバーでも有る篠原君と一緒にヨーロッパを回ったのが初めてでした。

本日のゲストスピーカーは、(株) マップインターナショナルの井原三津子さんです。「世界108ヶ国を旅して」と題して、今まで自分で出掛けたすばらしい旅先の中から究極の旅をご紹介します。ちなみに、かの有名な兼高おるさんでも180ヶ国ぐらいいだそうす。

まず最初に究極のホテルは、カリブ海に浮かぶ小さな島に有るリゾートホテルでプチセントビンセントという23個のコテージだけのホテルです。1泊1人600ドルぐらいですが、ジェット族と呼ばれる世界の有名人が多数利用しているそうです。次に究極の大自然は、アルゼンチンに有るペリトモレノ氷河で南極に近い、幅10Kmも有る氷河が動いているそうです。インドのカルカッタで乗った人力車は究極の乗り物だったそうです。究極のリゾート(ダイビング)はタヒチのランギロア島の深いブルーの海だそうです。皆さんもそれぞれに究極の旅を経験され、色々な思い出をお持ちだと思います。行った時の季節と一緒にいった人、又出会った人々によっても変わってくるものです。井原さんには、色々なお話をしていただきましたし、まだまだ究極の旅も有るそうです。がまたのお楽しみに! ニコニコタイムで井原さんを旅行に誘う人有り、又例会後に個人的に質問する人有り、非常に楽しい例会でした。

ああそうそう、忘れてならない宮本君のワイズワンポイントレッスン、ワイズパッチについて、以外と知っている様で、知らない型の意味や種類と役割を聞かせていただきました。次のワンポイントレッスンが楽しみです。



ワイワイウェルネスフェスタに参加して

谷 口 廣 記

10月23日夕刻、花背山の家に着、記念すべき記念事業に参加致しました。7時よりオープニングセレモニーがもたれ、その夜はウェスタンスタイルのY'Sバンド、ゲームナイト、天体観測、キャンプファイア（残念ながら雨天中止）と盛りたくさん、特に上演直後より盛り上がり、エンディングには満員となったバンドは熱気にあふれていました。このバンド、パレスからは大野君、鈴木君、川上君の3人が参加、テクニクを最高に生かして盛り上げ、子供も大人も大喜びでありました。その後私にとってメインの酒盛り、明けて次の日は早朝6時30分起床、7時よりの礼拝に始まり、パレスのメインワークもちつきをはじめとして盛りだくさんのプログラムも、



参加した皆様の熱気であったという間にエンディングとなりました。参加を通じて私が最も感じた事は、パレスをはじめ、Y'Sメン皆が、YMCA及びY'S活動に対し真摯であるという事です。各位の取り組み方、現場での動き、かわされる言葉、その1つ1つに私は、自己を見つめなおす機会を与えられた思いです。

Y WAY餅つき体験記

宇 野 廣 一 記

10月24日(日)午前10時から花背・山の家にて「Y WAY フェスタ」の餅つき大会を当クラブが担当した。午前中は雨がきつかったが、駐車場も満員になる位大勢の参加者で一杯であった。

茅葺小屋が餅つき会場で、そこに着いてみると前日からの泊り込みの委員の方々が既にもち米、その他材料、薪等準備を完了されていた。二臼でつき始めたが、つき上がり丸め終わるや否やすぐに参加者の口に入り、つけどもつけどもすぐになくなってしまい、つき手としてはこんなに喜んでもらって疲れも忘れてしまうほどいい汗を流させてもらいました。

今どき、家庭で臼、杵を使ってする餅つきは陰を翳めつつあるので余程珍しく、又つきたてでとても美味しかったのだと思います。

こんな餅つきがイベントとしてしか体験することが出来なくなった日本を少し憂います。交替で大人も子供も体験餅つきを経験してもらい午後2時過ぎには跡片付けもすべて終り解散となり、そばにあるテニスコートで私は西川、杉井君と1年半振りのテニスを楽しみ夕方帰宅しました。



コラム「一の裏は六」

混沌の中の禅問答

「一の裏は六」という一風変わったコラムに2度も登場するのは、余程の変わり者とお叱りを恐れて固辞したが、さすが編集者も又、卓見（変った？）のお方と見えて、それでも書けと仰言る——許し合うのもY'Sの友情かと、ペンを取った次第である。

前回は確か16年前に襲名した「六」にまつわる因縁めいたことを書いたつもりだが、何処を探しても手元にない。パレスクラブのブリテンに投稿をお許しいただける名譽のためにも、今後はキチット保存しておかねばなるまい。それほど忙しいのかと言われると、まあそうですねと正直申し上げる程の毎日の連続——しかしそれを楽しんでやっているのだから、自分では傍目に見えるほど苦にはならない。

ただこんな時代だから、何時どんなことがあっても身の安全をガード出来るには、未だ程遠い状況の中での必死の山登りの連続とも言おうか。

六平に因んで六つの平（健康、経営、心、家族、人間関係、社会）を、つくづく願っての同行二人の毎日

である。

ところで何となく解り難いことを書いたことのなり行きから、なお諸兄の頭を悩ます禅問答を紹介して締めくりたい。有名な白隠禅師の「公案」に、「隻手の音声」というのがある。「両手をたたけば当然音がする——それならお前達、隻手（片手）の音はどんな音が聞いて来い」——この設問に弟子達は、苦心慘担方々を歩き廻って考えに考えその音を探したという。

それを見た村人が、からかい半分に「白隠の隻手の説法聞くよりも、両手たたいて商いをせん」といったという。果たして隻手の音はどんなものか、みなさんもやって見られては？禅のみならず、全ての道を求める者が一度は対峙せねばならぬこの有名な禅の公案に、パレスY'Sの面々のお答えや如何に？

ところで、この禅問答次第では「一と六」にご縁の深い六平に、前代未聞の「コラム」三度目の登場あるやもしれず、恐々としてペンを置く次第。

京都キャピタル 井上 六平

アジア大会に参加して

10月15、16、17日の3日間にわたり、神戸ポートピアホテルの国際会議場において第15回アジア地域大会が開催されました。国内はもとよりアジア各国より約600名のワイズメンの参加を得て盛大に開催されました。

13カ国のワイズメンが一同に会し、15日は開会式セレモニー、16日は分科会、17日は閉会式と3日間にわたりワイズダムを発展を目指したシンポジウムが繰り広げられました。

16日の分科会に参加しましたが、講演会場の中だけでなくロビーでも、IBCのメンバー同士と思われる交歓風景があちこちで見受けられました。

私も分科会の会場内でパレスクラブのIBCである台



高岡昇記

中エバーグリーンクラブの楊さんに会い、今期会長の江さん、日本語のお上手な林さんとエバーグリーンクラブの25周年の事などお話をさせていただきました。

台湾の皆さんは韓国のIBCの方がアジア大会に参加されていないのを非常に残念がっておられました。林さんの話によると韓国では教育者には学校の休みの期間しか出国が許されないで、仁川の白先生は来日できないとの事でした。

また今回のアジア大会ではパレスクラブメンバーの鈴木俊一君が大活躍でマーシャルを努められその国際感覚を遺憾なく発揮され、公式な場で英語を話せる事の重要性を痛感いたしました。



こんにちは京都YMCAです



パレスワイズメンズクラブの皆様こんにちは。入職して5年程になりますが、残念ながら私の所属する三条本館進学教育（予備校・進学ゼミ）が、直接ワイズの方とお子様が御入学された時以外には、あまり関わる事が少ないように思いますので、この機会にどんな部か少しでも知っていただければ幸いです。

といっても全く交わりがないわけではなく、3年前に予備校に初めて全盲の生徒が入学した際には、プリンスワイズの方から点字タイプライターを寄贈していただき、盲人の方の受け入れ基盤を作っていただきました。余談

三条本館進学教育部 好崎志保記

ですが、彼の頑張りには目を見張るものがあり、寄贈のタイプライター持参で、受験した大学に見事合格しました。以来あのタイプライターは負け知らずで、昨年も高3コースに在籍した全盲の生徒も現役で合格しましたので、今年の予備校の生徒もこの幸運のタイプライターで、ぜひ大学に合格して欲しいと職員一同願っています。

「一人ひとりを大切に」これが進学教育の目標ですが、YMCAだけでは実現が難しいことでも、ワイズの方の強力なサポートでひとつひとつ実現されていくのを見ると、ワイズは私にとって後ろからじっと見守る父のようであり、心優しい母のようでもあり、尊敬と同時に感謝せずにはいられません。パレスワイズの皆様、時には優しく見守り、時には厳しく叱責していただいて、これからもご指導いただきますようよろしくお願い致します。

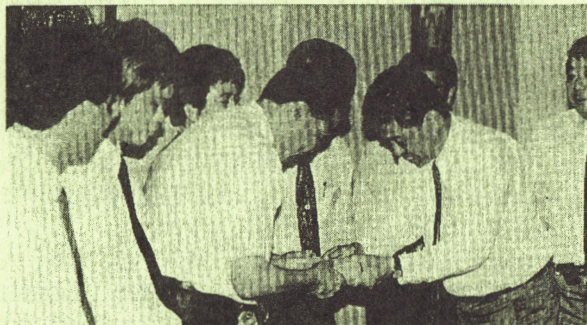
IBC 歓迎会

10月14日台中エバーグリーンより会長夫妻はじめ総勢6名のワイズメンが、アジア大会が神戸で開催される前日に京都に立ち寄られた。

パレスの公式歓迎パーティーが千成（しゃぶしゃぶ）で行われ台湾からのおみやげをどっさり持って来られ台湾でも手に入りにくいラオチューが1本空になってしまった。14名のパレスのメンバーとは、6月の日本区大会以来の再会なのでおおいにもりあがった。

和やかなブラザークラブとの懇親会であった。IBC委員会の皆さん御苦労さんでした。

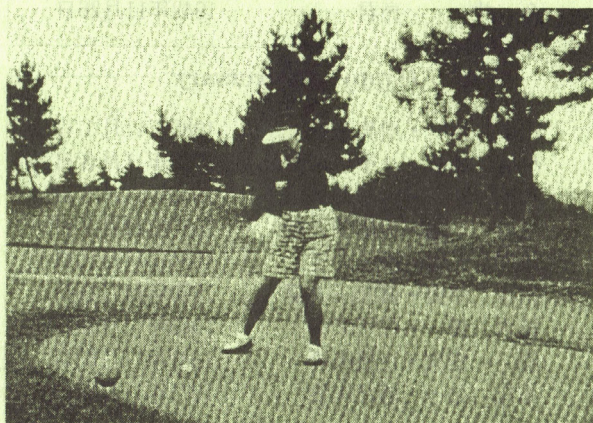
西中日向記



ブティック繁盛記

「18年をふり返って」

川口 淳子 記



私がブティックをオープンしたのは18年前です。それまでのアパレル業界は何を創ってもすぐ売れるという、今では信じられない良き時代だったようです。

さてブティックをしようと思ったものの仕入も販売も何の経験ありません。商品は大体6ヶ月から1年前に発注します。丁度その時「東京ファッションウィークリー」がホテルオークラで開催されました。何十社のメーカーが参加する大きなイベントです。

まだ店名も決らず名刺もないまま、季節はずれの台風予報が出ているなかとあえす新幹線に乗りました。

電車が名古屋を過ぎた頃、案の定台風の為4時間の立往生です。1台しかない電話の前は長蛇の列で連絡もできず、会場のホテルに着いた時は片づけ始めているメーカーもありました。18年の間、東京へは数えきれない程行っていますがあの時の様な事は一度切りでした。それから1ヶ月程して2度目の東京行きは、会場が赤坂プリンスホテルでした。広いホールは大勢の社員でいっぱい、私達お客よりも多い位です。展示会では普通1人に担当社員、デザイナーその他と3～4人の社員が付きます。なのに私はたった1人の若い社員が付いただけでした。まだ取引きして日も浅く、私自身も若かった為かも知れませんがなんとなく女性としてハンディを感じました。本来楽天主で余り人の事を気にしたりしない性分ですがその時だけは違いました。

「早くメーカーから大切にされる店になろう」「その為には信用と実績をつくる事だと…」、それから18年経ちました。最初の頃は女性という事でハンディもある一方、女性だからこそ協力して頂けた時もありました。また、仕事をしているからこそ素敵な人達とも素晴らしい出会いもいっぱいありました。

これからも、初心を忘れずにマイペースで……。

My Wellness Part 16

ラグビーと我が人生

高倉 孝次 記



カナダ トロントにて

私とラグビーとの出会いは、同志社高校に入学した時に始まります。女の子のできるスポーツは、本当のスポーツではないと、へんな男気をだして格闘技のラグビーを選びました。それから大学時代、社会人チーム、そして40才以上のメンバーで構成する「惑々ラグビークラブ」とラグビーをプレイしてのウェルネスを長期間続けております。その間に印象に残ることといえば、やはり同志社大学ラグビー部3回生の時に、明治大学を破り学生選手権で優勝し、続いて、社会人No. 1の近鉄にも勝ち、日本一のメンバーになれたことです。

現在は、関西の40才以上のラグビー気狂いが集っている「惑々ラグビークラブ」に所属して、50才代のプレーヤーと、時々プレイを楽しんでおります。40才代の頃は、ラグビーシーズンに入れば、毎日曜日に試合が組まれ、生傷が絶えないほど、毎週ガンガンとやっておりました。又、二年に一度ほどクラブで海外遠征があり、イギリスやカナダ等で大きな外人を相手に試合をしてきましたが、一番の思い出はロンドンにて40才以上のクラブチームの世界大会（ゴールデンオールディーズ）に出場したことです。クラブチームの出場チームは、世界22ヶ国から148チームがロンドンに集まり、プレーヤーの人数は、総数5,000人にもなります。そこで惑々クラブはニュージーランド最強のクラブチーム「グリズリーズ」とイギリスの数あるグラウンドの中でも、1年で国際試合等数回しか使用しない、「ツウィッケナム」グラウンドにて名誉あるオープニングゲームをしました。

今年は1月からラグビーをしておりません。と云いますのは、1月に試合中、学生時代の時のような強烈なタックルを相手メンバーの足首にしたところ、足の骨がボキーンと折れてしまい、救急車で運ばれて行かれました。家に帰り、メネットにその事を話しますと、「すぐ病院を探してお見舞いに行ってください。明日は我が身の番よ！」と脅かされ、それ以来、女の子の喜ぶスポーツ、スキーとゴルフでウェルネスを楽しんでいます。

でも又、ラグビーシーズンですね。昨日も友人よりラグビーのお誘いの電話がありました。「どうしよかなー？」

役員会報告

第1号議案	京都YMCA90周年記念式典祝い金の件	承認
第2号議案	京都さくらワイズメンズクラブチャーターナイト祝い金の件	承認
第3号議案	京都めいぶるワイズメンズクラブ10周年記念祝い金の件	承認
第4号議案	京都キャピタルワイズメンズクラブ10周年記念祝い金の件	承認
第5号議案	京都トップスワイズメンズクラブ設立総会祝い金の件	承認
第6号議案	大阪ワイズメンズクラブ65周年感謝記念会お祝いの件	承認
第7号議案	宇都宮東ワイズメンズクラブチャーターナイトお祝いの件	承認
第8号議案	11月第1例会ゲストスピーカーの件	承認
第9号議案	11月第2例会ゲストスピーカーの件	承認

11月スケジュール

役員会	11月2日(火)	ブライトンホテル
第1例会	11月10日(水)	ブライトンホテル
第2例会	11月24日(水)	ブライトンホテル
世界YM、YW合同祈祷集会	11月6日(土)PM4時	
和敬学園学園祭	11月14日(日) 10:00~15:00	
さくらクラブチャーターナイト	11月14日(日)	

メンバーあれこれ

・我がパレスクラブの英語のティーチャー、鈴木俊一君が10月10日日野C.C.の20周年開場記念ゴルフ杯に出場、アウト45、イン44の6アンダーにて、見事に優勝されました。鈴木君にコングラッチュレーション！

・我がパレスクラブの美男子のスポーツマン、田中慎一君が9月23日琵琶湖での「ヘインズカップチャンピオンシップ」ヨットレースにて、見事優勝されました。これ又、コングラッチュレーション！

・我がパレスクラブの将来を背負う男、為国光俊君が下記の住所に転居されました。為国君の言葉を借りれば、家屋は、築不詳で、家中、雨もりがするそうです。雨の降る日に訪問する際は、傘をさしたまま、家にお入り下さいとの事です。

新住所：京都市伏見区桃山町養齊8-9
TEL075-603-0869

パレスクラブゴルフコンペ



電王カントリークラブにて

Happy Birthday

西川 寿一君	1940年11月19日
祝部 康二君	1944年11月21日
今井 亮君	1942年11月26日

Happy Anniversary

田中 慎一・増美夫妻	1980年11月1日
小桜 武彦・八重子夫妻	1973年11月3日
祝部 康二・治子夫妻	1972年11月3日
三原 隆・美耶子夫妻	1969年11月3日
荒川 徹・恵子夫妻	1984年11月10日
宮本 隼史・眞知子夫妻	1970年11月15日
鈴木 俊一・信子夫妻	1963年11月20日
堤 雄次・良枝夫妻	1981年11月23日
布施 公一・静江夫妻	1971年11月28日

YMCAだより

1. ウィンタープログラム受付け開始

今年も最高の冬休みをYMCAがプレゼントいたします。

白銀の世界へ、さあ、スキーキャンプ。いろんな冬を感じましょうウエルネススクールで。ウィンタースクールでは、絵画・工作・書道教室を開きます。お友達お誘い合わせのうえ、ぜひ、ご参加下さい。

参加希望者説明会：11月6日(土)午後3時

ウエルネスセンター今出川

受付・会員：11月9日(火) ※両日とも電話による受付
一般：11月10日(水)

予約受付専用電話 075-411-4060

2. 維持会費納入のお願い

YMCAの青少年活動へのご協力を願い、ワイズメンズクラブのみなさまには毎年、維持会費をご納入いただいております。まだお納めいただいていない方には、なるべく早くお納めいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

維持会費に関するお問い合わせは、三条本館、本部、会員までお願いします。(075-231-4388)

編集雑記

秋も深まり、山々も紅葉に染まる季節になりました。秋は「じゃがいもとゴルフ」ということで、10月3日BF、CS主催パレスクラブゴルフコンペにブリテン委員長も参加いたしました。参加者は高橋会長以下16名。強者ぞろいのメンバーです。今回のコンペには、パレスのゴルフの鬼、杉本君が不参加のため、ひそかに優勝を目指して、前日はゴルフ練習場で200発の特訓。しかし、そのかいもなく、アウト45、イン45にて7位の成績で終わりました。当日は、ショートホールにワンオンしない場合、ドラコンのホールでフェアウェイをはずした場合、バンカーに入った場合と多々罰金があり、その収益金は37,750円にもなり、BF・CS委員会に配分されました。



CLUB OFFICE
京都YMCA青少年センター
京都市上京区烏丸今出川下ル
☎(075) 432-3191 〒602

THE Y'S MEN'S CLUB OF KYOTO PALACE

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

12'93

Bulletin

1993.12.1発行
第23巻第6号通巻271号

CHARTERED 1971

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

クラブ標語 “楽しもうワイズを” —良き未来の為に今日一日の充実を—

国際標語 “IN SHARING WE HAVE FOREVER” 『いつでも分かちあいの心を』

アジア区標語 “THINK ASIA THINK Y'SDOM” 『考えようアジアとワイズ』

日本区標語 “CREATE A NEW AGE” 『創造しよう新時代』

京滋部標語 “WE Y'SDOM AIM GROWTH WITH YMCA” 『翔ばたけワイズYMCAと共に』

心を求めて例会に至り 境地を得て例会を去る



聖句 「わたしは世の光である。わたしに従う者は暗闇の中を
歩かず、命の光を持つ。」

ヨハネによる福音書 第8章12節

ブラザークラブ東副区クラブとの締結を願って

IBC&YEEP 委員長 遠藤 宏

今年6月京都で開かれた日本区大会を最後に、今後の日本区大会は、京滋部を境として、西副区、東副区とに別れて開かれる事になった。この事は我々ワイズメンズクラブにとって、クラブ数及びメンバー数の限りなき増加への対策としての見地から見れば大変喜ばしい事ではあるが、反面遠隔の地にいる親しいワイズの友と一年に一度の逢瀬？を楽しみにしていたメンバーの中には、東西に分断されての日本区大会に一抹の淋しさを感じている人も少なくない筈である。

さて、クラブライフの大きな楽しみの一つに他クラブのメンバーとの交流がある事は、最近パレスにおいても特に活発になりつつある。我々のIBCの中の特に台中エバグリーン、及び韓国仁川のチェンブルポの両クラブとの楽しい交流の中で、各位がすでに経験済みのことである。

折しもこの様な時期、我々パレスの中で“東副区にある何れかのクラブとブラザークラブの締結を”との声が

出る事は極く自然な成行と思われる。勿論これを実現さす為には、メンバー各位の意見を十分に配慮し、入念な検討を重ねていく事が必要である。例えば、相手クラブとの距離的な問題・又それぞれのメンバー数の均衡に関する問題、そして我々が相手方クラブの所在地に対して多分抱くであろう所の興味や憧れと同様の気持を相手方メンバー各位がこの京都に関しても感じてもらうことが出来るだろうか？等々数多くの検討課題がある。

幸いにして意中のクラブ？とブラザークラブの締結が果たせた時、毎月のブリテンの交換をはじめ、例えば年に何回かの合同例会や、クリスマスプレゼントの交換等々楽しい夢はふくらむばかりである。そして又我々のこの快挙が一つの契機となって、今後東西両クラブ間で数多くのブラザークラブ締結が見られる様になれば、我々ワイズメンズクラブの本来の目的の一つである友好と信頼を更に深めていく大きな意義を持つことになるであろう。

【強調月間】 IBC、YEEP

会 長 高橋 卓也
副 会 長 高岡 昇
“ 西枝 攻
書 記 堤 雄次
“ 為国 光俊
会 計 井上 均
“ 佐藤 好久

例 会 出 席	BFポイント	ニ コ ニ コ	フ ェ ン ド
11月第1例会 36名	切 手 0pt	11月第1例会 16,000円	11 月 41,710円
11月第2例会 31名	累 計 0pt	11月第2例会 22,000円	
在 籍 者 数 46名	現 金 18,750円	累 計 250,666円	累 計 81,392円
出 席 率 89.1%	累 計 18,750円		

➤ 出席第一・時間厳守・親睦・奉仕・古切手蒐集 <

11月第一例会報告 -545回-

日時 11月10日(木) PM 7:00

場所 ブライトンホテル

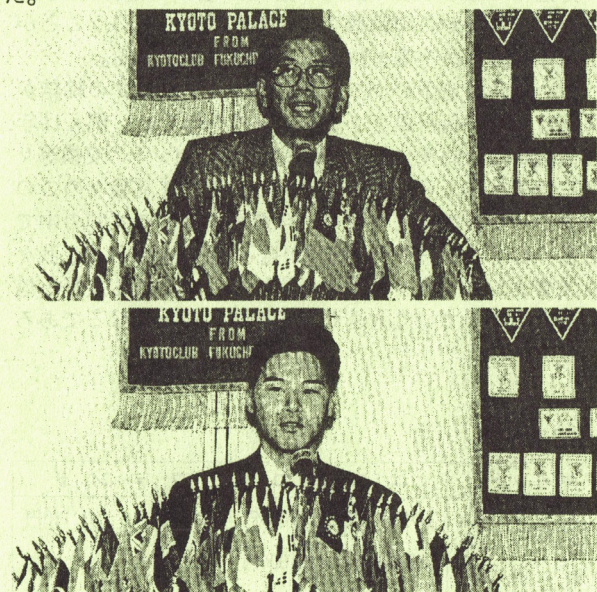
野崎ひろ恵 記

今日の例会日、11月10日は、日本で最初にワイズメンズクラブ（大阪ワイズメンズクラブ）が、1928年11月10日に誕生した記念すべき日にあたります。それにちなみ、「ワイズの日について」ゲストスピーカー林孝治ワイズ（京都プリンス・日本区広報委員長）をお迎えしました。

現在、日本区メンバー数は約3000名ですが、目標は二倍の6000名に増加をかけた、そのためにワイズメンの目的や活動をより多くの人達に理解し、知ってもらうために、広報活動用のビデオを作成されています。又、良質のメンバーになれる人達に入会して頂くには、まず現在入会しているメンバーのより一層の質の向上の研鑽を重ねなければならない。それには各クラブで全体的に、又年代別に応じたトレーニングをしたり、他クラブとの交流を活発にし、エクステンションも協同する事も考えてみてはどうか？。すこし、うすれ気味であった広報活動に、積極的に力を入れて、今後メンバー増強に努力して行きたい、とワイズへの熱き想いがみなぎったスピーチでした。

ついで、YMCAパレスチナ派遣リーダー橋本敬太郎氏のスライドを見ながら、今夏パレスチナ難民キャンプに京都から一人派遣された体験を説明して頂きました。アンマンの訓練所やキャンプ等の生活で日本の遊び（福笑い、ナワトビ、折鶴）を教えたり、夜のコンサートを楽しんだり等、私が想像していた難民キャンプより、以外に明るく、平和なフンイキに感じたのは、スライドの子供達の可愛い笑顔がそのように思わせたのかもしれないと…。

橋本氏が「子供達のより良い成長と学んで行けるための手助けを、ボランティアリーダーとして接着的、調停的な役目が少しでもできたのではないか。」と明るくさわやかな彼に今後の活躍を心より期待し例会を終えました。



11月第二例会報告 -546回-

日時 11月24日(木) PM 7:00

場所 ブライトンホテル

岡本和彦 記



秋も終りに近づき、いよいよ冬將軍の到来かと思われる、今秋一番の寒さの中、会長点鐘によって11月第2例会が開会された。今日はハッピーアニバーサリーの為、メネットさん多数の出席となり何となく会場が華やかな雰囲気の中で高橋会長のいつもながら説得力のある挨拶、そして楽しい食事。

さて本日のゲストスピーカーは、京都市清掃局管理部の前岡満彌氏による「京都のゴミ問題」についてのスピーチである。役所のおっさんの話はつまらないもの、といわれておるがと前おきされ、我々のごく身近な問題としてのゴミ問題について、その現状と将来について話された。近年の経済発展は、我々の生活を豊かにした反面、大量消費、使い捨てを当り前のこととする風潮を生み出し、これにともなって我々の生活やそれを支える事業活動から出るゴミの量は、年々増加するとともに、そのゴミの質も多様化しているとのこと。京都市のゴミの量、1年間75万トン（甲子園球場の12杯分）、1日2056トン、1人1.4kgと聞いてびっくり。話を聞くまでは日常、何の気なしにゴミ箱にポイポイ捨てておったわけだが、家庭から出るゴミ袋1個（約4kg）を処理するための費用174円、1世帯の1年分のゴミを処理するための費用約29,000円。これみな我々の税金でまかなわれており、何げなく出すゴミが環境や我々の生活に大きな影響を与えていることを知らされた。今後はこのゴミの減量化の推進とともに、適性に処理することが大きな課題となっているとのこと。メンバーの皆さん、ゴミの減量化に是非ともご協力を。後ニコニコタイムにおいても、このゴミ問題に対する提案者があり、ゴミ焼却を活火山の釜でやったらどうかとか、ゴミ収集車の職員にチョウネクタイをさせてきりとさせたらどうかとか、大へん楽しいニコニコでした。



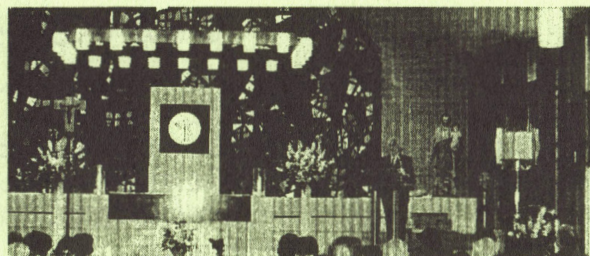
西川寿一君の初めての食前の祈り「ガンバッテます」

YMCA・YWCA世界合同祈禱週集会

西川寿一 記

“信仰とは何か”をテーマとした今年度の合同祈禱週の集いが11月6日河原町カトリック教会に於て、東京大学名誉教授・JOCS会長の隅谷三喜男先生をお招きして、京都YMCA創立90周年記念プログラムの一環としてYMCA会員を含め、約230名の参加者のもて盛大に行われた。第1部は礼拝が行われた後第2部“世界史の転換点に立って”というテーマで隅谷先生の講演に移った。

世界の労働者や若者の力を湧き立たせた100年に亘るマルクスの共産主義が崩壊し、東西ドイツの統一、東西冷戦に終止符がうたれ、今や世界史は大きな転換期を迎えている。その機に立つ私達にとって次の3つの事が大変重要である。①科学技術の発達により、人間の関係がI AND IT 私とそれ、つまり相手を“彼”なり“それ”として見る、つまり人との関係が客観的になってきた。私と“あなた”という見方をすべきである。②個人化が



進む中で隣人関係を如何に構築していくか、隣人との関係を問い直す社会にしていかなければならない。③結婚をして、子供を設け、幸福な人生を過ごしたいと考える。又死を恐れるというのは横軸の考え方で、人生をどの様に生きたらよいか、死を恐れず永遠の命を考えるのが縦軸の考え方、正にキリストの十字架は横軸と縦軸が交叉している。私達も今世界史の転換点に立って、横軸だけでなく縦軸の人生を考える時、キリストの教えがある事をおぼえる。と以上の様に77才という御高齢とは思えない程熱っぽく講演された。

和敬学園学園祭

南出潤一 記

11月14日 日曜日 和敬学園にて学園祭の一環として、我がパレスクラブ高橋会長以下、たこ焼隊が集った。前日までの雨が上り、当日は晴天に恵まれ隊員の気合十分、本戦勝負の仕上がり具合と云わんばかりに張り切っていたが…。

年に数回しか使わない鉄板で、まずは試し焼きが行われたが、これが見事に大失敗に終り、逆に使用できなくなる結果（メリケン粉がこびりつき真黒こげになった）となり、約半数の鉄板にて本番に臨んだのである。

しかし、そこはパレス切ったのたこ焼隊、日頃の訓練の成果とばかり時がたつにつれ（本番当初はメンバー用の試食品ばかり）腕自慢を発揮され、それはそれは見事な出来栄でありました。当日10時から1時までの予定

で、約150食分を用意したのですが、焼けどもたちまち売り切れの大繁盛（いかに味がよかったか?）!! 園児、父兄の皆様また職員の方々に一様に喜んでいただき、たこ焼隊の一日は終わることができました。皆様どうもご苦労様でした。当日の参加メンバーは、高橋会長、佐藤好久、堤、安岡、安岡メネット、今井、今井コメット、南出、三原、三原メネット、鈴木。



コラ△「一の裏は六」

奉仕・ほうし・この言葉をよく耳にするようになったのは、約15年前頃と記憶します。当時40才代の私は仕事一筋、私より若い青年のそのような姿を見ながら、自分の将来をどのように考えているのか不思議な気がしてなりません。なのに今、ワイズメンになり地域奉仕YMCA支援など皆様をお願い申し上げているのは、ある人との出会いでありました。その人曰く「ワイズの原点は、多くの友と知り合い親睦を深め、余ったエネルギーを奉仕に向ける」との事、肩の力を抜いて気楽に運動に参加する事の姿勢を身につけるようになりました。さて、約5～6年前、京滋部在籍数300余名のメンバーが、今では700名に近く、多くのワイズメンが入会されワイズ気質も多少変わった事と思います。経験豊富なメンバーは新しい息吹をどんどん取り入れ、若者を育てクラブ活性化に、弾力ある力をお与え下さい。

故人曰く、足ることを知る人は、たとえ地上に臥して

もなお安泰なり、足ることを知らぬ人には、天堂に暮らすような生活をしていても、なお満足であらず……。それは欲望の無限さを言われております。我々何不自由なく、現在のおかれている立場に感謝いたし、少しでもよい、少しでも地域奉仕とYMCAに対して支援を行えるように努力しようではありませんか。そして我々の行動を理解し、追随しようと思う人を多く募り、ワイズ活動の輪を広げたいと思います。それには心から物事に純粋に接して行けば、楽しいワイズライフとなるでしょう。最後にパレスクラブの皆様方、京滋部の中心的な存在であり多くのクラブを生み出され、又そのクラブが見事に活動されパレス精神を継承されております。今後も良きお手本となり、京滋部内及び日本のワイズメンズクラブの牽引的な役割に徹して頂くことを期待申し上げ、益々のご尽力くださる事を切にお願い致します。

京滋部々長 辻 健太郎

じゃがいも販売奮闘記

山岸 百代 記

じゃがいも販売の10月31日にはメンバーの皆様方には、早朝よりお手伝い頂きましてありがとうございました。前日には雨が降り当日も降り続くのかと心配致しましたが、目をさますと、雨が上がっておりました。何んとうれしかったことか。6時40分に采野様の倉庫に到着しじゃがいもの大型トラックを待ちました。

「来た来た」ワァー大きなトラック、近くで見ますと何と大きかったことか、そのうち続々とメンバーの方々がお手伝いに見えました。順番に配送用のトラック五台に積み替え、又注文の数だけ個人個人にふり分け、東西南北に分かれての配達でした。10時頃でしたでしょうか、電話が鳴りひびきました。「電話ですよ」「ハァ、ハァ、アーそうですか、どないしましょ、分かりました、何とかしますわ、えらいすいません」えらいことになりました。カボチャが腐っているとの電話でした。北海道におり返し電話を入れました。何んとかしなくてはと、それは大変なハプニングが起きました。その後先方より連

絡が有り一件落着。私も始めての手伝いでしたので今までの委員長始めメンバーの皆様方のご苦勞が身にしみました。大勢のお手伝いが有り予定より早く終了出来ましたことに感謝しております。皆様本当にご苦勞様でした。



こんにちは京都YMCAです

三條本館総務 玉川 恭子 記



「はい、京都YMCAでございます。」という電話応対に緊張した新入職員時代から早くも6年が過ぎようとしています。

入職より5年間は伏見桃山センターに勤務し、ワイズメンズクラブの方々には、バザーやウエルネ

スプログラム(タイマソン・ウオークラリー)等の様々なYMCAプログラムでご奉仕いただき感謝しております。どのプログラムでも、YMCAのサポート及び地域社会へのボランティア活動の一端を担っていただい

り、YMCAにとっては心強い存在といえます。又、和やかな雰囲気の中で、自分達のことだけではなく他者への思いやりの気持ちを大切にされている“温かな真心をもった”クラブであると、感じております。

そして、今年度より三條本館1Fの総務での受付、電話対応を通じ、新たなワイズメンズクラブの方々との出会いの中で、私達の仕事は多くの人々の支えにより生かされているのだと、改めて感謝しております。

又、自分自身もワイズメンズクラブの方々とのふれあいにより人間的に成長し、その愛と奉仕の精神を忘れず微力ながらも日々の仕事に取り組んでいきたいと願う今日この頃です。

皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

京都めいぷるクラブチャーター10周年記念式典並びに 京都さくらクラブチャーターナイトに出席して

山田 博司 記

もみじも紅葉し木々が色づく、秋晴れの京都市中で、平成5年11月14日(日)国際ホテル二条の間、午後5時、海外及び国内のワイズメン、メネット約250名、そして来賓が、お祝いに集う中、第1部10周年記念式典が、能楽により始まりました。司会 戸田君 開会点鐘京都めいぷるクラブ岡本晃会長、故平野ワイズ、小谷ワイズのメモリアルタイム、京都YMCA90周年事業に300万円贈呈、来賓による祝辞、第2部 加盟認証状伝達式に移り、吉本幸男チャーターナイト実行委員長より経過報告、加盟認証伝達式は、熊谷正弘日本区理事から渡されチャーターメンバーの入会式、パッチ拝受、着用、クラブ旗披露され、佐々木稔京都さくらワイズメンズクラブ会長の決意表明、京都めいぷるクラブより活動資金贈呈、灰谷隅夫西副区理事から励ましのことば、対し答礼の言葉が

述べられ、日本区123番目京都の14クラブが誕生しました。岡本会長閉会点鐘 第3部、懇親会にはブラザークラブのアトラクションがもたれ、友好を深め鈴木利夫10周年特別事業委員長による感謝のことばで閉会し、硬い握手で再会を楽しみに会場を去りました。



大阪クラブ65周年感謝記念会に参加して

高橋 卓也 記

11月3日正午より大阪ロイヤルホテル山楽の間に於て、日本で最初に誕生した、ワイズメンズクラブ大阪クラブの65周年記念会が開催された。

ワイズメンズクラブの歴史は、大正14年12月に大阪YMCAの新会館が出来、その翌年の2月「Yクラブ」が設立され、そのメンバーは大体30才以上でYMCAの普通会費15円の倍30円を負担した特別会員有志によるクラブであり、毎月定例会を持っていたそうです。昭和2年奈良伝主事が米国マサチューセッツ州の国際ワイズメンズクラブの書記・会計であったヘンリー・D・グライムズ氏と親交を結び、昭和3年に帰国し、「Yクラブ員」と協議し、ワイズメンズクラブの名称で再発足することに決定し、申込書一切をマサチューセッツ州の事務局へ送付したところ同年11月10日付けで同協会により、チャー



ターが送られ、ここに日本最初のワイズメンズクラブが誕生したとのことです。

私し、この会に参加してワイズの生きた歴史を学ぶことが出来ましたし、又その時のチャーターメンバーが3名も今現在お元気に活躍されていることを、この目で見えて感激しました。 本当に行ってよかった!!

(参加者 大野君、西川君、宮本君、為国君、私し)

EMCオリエンテーション 為 国 光 俊 記

今期のEMCオリエンテーションは15名の出席者を得て開催された。

入会候補者を迎えてのオリエンテーションは誠に嬉しいものである。メンバーが行なうスピーチは素晴らしく年々に熟成され深みのあるものになっている。

ワイズはメンバーがスピーカーとなり出席者となる特性があり、それを享受し、更に磨きあげる機会を見逃すことはないのである。その一つの機会が我々のEMCオリエンテーションであり、我々の誇りをひしひしと伝えている。

ファンド委員会 正月用お餅販売について

12月29日(木)メン、メネット、コメットの家族皆さん集まり、正月用のお餅つきを行い、販売いたします。多数のご協力お願い致します。

クリスマス家族例会スペシャルイベントのお知らせ

12月24日 クリスマス例会にて、ワイルド・ワイズの演奏をバックにして、ステージで歌ってみませんか？ 先着10名まで受付いたします。

ドライバー委員会 鈴木ワイズまで。

歯医者の内輪話

高岡 昇

皆さんは8020（ハチマル、ニイマル）運動というのをご存知でしょうか。

これは80才になっても、自分の歯を20本残して、何でもおいしく食べましょうという、まことに結構な運動です。ところが現状では80才の方で平均して残存している歯の数は4本以下というところですよ。今は全く絵にかいた餅といえましょう。

厚生省がどこかで健康政策を考える立場から発想して出来たスローガンとも考えられますが、発案者の意図は別として、歯科医の立場から良く考えてみると実はとても深い意味があるのです。

それは、80才で20本の歯が残っているという事は、80才までに8本しか歯を失っていないという事に他なりません。つまり8020が現実のものとなる時には、今まで綿々と歯科医が行って来た、歯を抜いたり、冠をかぶせたり、義歯を入れたりする治療がほとんどなくなってしまうという事になります。

そうなると歯科医の仕事は無くなってしまいうのでしょうか。私はそんな事にはならないと思います。何故なら80才で20本の歯を残す為には、歯を残す為の治療や、保健指導、予防教育が絶対不可欠なのです。

現在全国には5万人余りの開業医が一般歯科を標榜して診療所を開業しています。そして子供から老人まで、また特別な症例を除いて自分の診療所で治療を完結しています。

この様な医療体制は、病気を持つ患者の治療には便利な体制かも知れませんが、8020の実現には障害となりそうです。つまり8020実現の為には歯科開業医の世界にも、リストラクチャリング（再構築）が必要なのです。そしてこのリストラの波はヒタヒタと足許に打ち寄せて来ています。

80才になっても幸福な、質の高い人生を送る為にも口腔の健康は大切です。これから変わって行こうとしている歯科の世界にも皆さんの注目と理解をお願いします。



役員会報告

第1号議案	京都さくらワイズメンズクラブへブリテン 発送の件	承認
第2号議案	クリスマスPTの件 会長、三役および ドライバー委員会で結成	承認
第3号議案	11月第2例会ゲストスピーカーの件	承認
第4号議案	12月第1例会ゲストスピーカーの件	承認
第5号議案	谷口武士君ご長女ご結婚お祝の件	承認
第6号議案	西中日向君ご長女ご結婚お祝の件	承認
第7号議案	C Sチャリティバザー開催の件 会長および三役含めPTを結成	承認
第8号議案	EMCオリエンテーションの件	承認

12月スケジュール

役員会	12月1日(木)	ブライトンホテル
第1例会	12月8日(木)	ブライトンホテル
第2例会	12月24日(金)	X'mas 家族例会 ブライトンホテル
ファンド委員会もちつき	12月29日AM8:00~PM3:00	
三役主催忘年会	12月29日	

日本区6,000情報

◎会員増強の本年度目標は？

去る7月、東西両副区で、EMC事業主査会が各々開かれ、EMCに関する諸問題を協議した。EMCシンポジウム、EMC強調月間、ワイズ紹介ビデオ、新入会員オリエンテーション、ブースター賞などなど。本年度の目標を、東副区1500名、西副区2500名、日本区合計を4000名に掲げて進むことになりました。

◎クラブ拡張の最新情報は？

本年度は特に会員維持増強に力をいれて、各クラブの活性化と会員増強が強調されています。その結果としてのクラブ拡張は、巷で噂されているものも含めて、神戸学園都市（神戸ポート）、東京八王子（東京多摩、武蔵野）沖縄シーサ（沖縄那覇）、湘南とつか（横浜）、東広島（広島）、大阪セントラル、富士、京都〇〇〇、仙台南、福岡〇〇〇、宮崎…。その他、水面下で着々と準備を進めているところもあります。ご声援よろしく！

◎年令は51才、あなたの部は？ クラブは？

埼玉クラブ、萩原さんは毎年、会員名簿を元に貴重な資料を作成している。それによると本年7月1日現在の日本区の会員平均年令は51才。確実に毎年アップしています。クラブ活性化、今後の日本区のワイズの発展のためにも若手会員の増強はさけて通れません。各クラブでの熱心なご検討を期待します。

メンバーあれこれ

・我がバレスクラブの紳士のお医者さん、津田知宏君が11月3日名神八日市C.C.の開場記念杯に今度こそ、見事にアウト38、イン44の10アンダーにて優勝されました。杉本師匠の推薦するドライバーを買って、それに鉛をはり付けたとたんに、260ヤードを一直線に飛んでいくそうです。

Happy Birthday

澤田知宏君	1947年12月1日
小桜武彦君	1938年12月4日
菊井正弘君	1944年12月7日
為国光俊君	1959年12月7日
村田吉弘君	1951年12月15日
河合信也君	1954年12月16日
高橋卓也君	1940年12月17日

Happy Anniversary

遠藤 宏・桂 子夫妻	1959年12月12日
------------	-------------

YMCAだより

1. 手編み 講習会

さあバレンタインにむけて、家に眠っている編みかけもOKです。寒い冬に“あたたかい心”を編み込むために、お気軽にご参加ください。

日時 1994年1月13日～2月10日 毎木曜日

全5回 午後4時～8時（時間内自由）

場所 京都YMCA三条本館

費用 7,000円（会員及びその家族6,500円）

講師 田村 政子先生（日本編み物文化協会特別会員）

2. 京都YMCA創立90周年記念 クリスマスキャロリング

恒例の街頭キャロリング。今年もより盛大に京の街にキャロルが響きますように。

日時 1993年12月22日(木) 午後6時30分～9時

集合 京都YMCA三条本館

3. 国際協力募金のためのデュオリサイタル

このフルートとハーブのリサイタルでの収益金は、世界の恵まれない子供達の保育、教育のために用いられます。ご支援とご協力をお願いします。

日時 1994年1月14日(金) 午後7時

場所 府立文化芸術会館（河原町広小路 府立医大病院前）

入場料 4,000円（全席自由）

お問い合わせ先 京都YMCA三条本館

編集雑記

伊吹山に初雪のたより。いよいよスキーシーズンがやって来ました。日本経済は平成3年4月のバブル景気の山を境に谷底にころげ落ち、31ヶ月目に入った今なお不況に苦しんでいます。「山」高ければ「谷」深しです。しかし、ブリテン委員会のメンバーだけは別。お目出たい事の連続です。谷口武士君のご長女、真理さんのご結婚。西中日向君のご長女、麻衣子さんのご結婚。津田知宏君のゴルフでの優勝。田中慎一君のヨットレースでの優勝等々です。ブリテン委員長はと云うと、長男が足の骨を骨折して、東京にて入院中。そこで心機一転「スキーでいきましょう。」日本経済と同じく、山の上から谷に向かって一直線に。後はリフトに助けられ、山頂へ。来年は頑張るぞー！



CLUB OFFICE
京都YMCA青少年センター
京都市上京区烏丸今出川下ル
☎(075) 432-3191 〒602

THE Y'S MEN'S CLUB OF KYOTO PALACE

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

1 '94

Bulletin

1994. 1. 1 発行
第23巻第7号通巻272号
CHARTERED 1971

クラブ標語 “楽しもうワイズを” —良き未来の為に今日一日の充実を—

国際標語 “IN SHARING WE HAVE FOREVER” 『いつでも分かちあいの心を』
アジア区標語 “THINK ASIA THINK Y'SDOM” 『考えようアジアとワイズ』
日本区標語 “CREATE A NEW AGE” 『創造しよう新時代』
京滋部標語 “WE Y'SDOM AIM GROWTH WITH YMCA” 『翔ばたけワイズYMCAと共に』

心を求めて例会に至り 境地を得て例会をまゐる

聖句 「心に知恵ある人は聡明な人と呼ばれる。
優しく語る唇は説得力を増す。」

箴言 16章21節



年頭に思う

パレスクラブ会長 高橋 卓也

新年明けましておめでとうございます。
“楽しもうワイズを”と、スタートして、早や6ヶ月が過ぎ新しい年を迎えました。
この間、振り返れば色々な事業や、出来事がありました。これらをメンバーの皆さんの団結した行動力により乗り越えることが出来たこと、本当に心から感謝しております。
中でも9月のリトセンでの家族例会に始まり、YMCA 90周年記念式典・京滋部会での運動会・アジア大会・花背山の家でのワイワイフェスタ・そして10月最後の日曜日のジャガイモ販売へと休む間もなく続いたスケジュールを、各々担当された委員会を中心として、そこにメンバー・メネットさんの参加によって無事成し遂げることが出来ました。
わたくし、今期のクラブ活動の中心にしたいと申していました“委員会活動”も、各委員長のリーダーシップのもとに、大変活発に行われております。これらの委員

会には、わたくし始め、担当三役も出席し、その活動内容を我々三役もよく承知しております。残念なことに、これらの委員会におきまして、委員長さんの熱心な呼びかけにも、一度も出席されないメンバーが1～2名いらっしゃる事です。残念です。
さあ、平成6年、新しい年です。去年の不況風フットバシましょう、人間何事も気持ちです。
もう一度、言わせてもらいます。例会、委員会に出席しましょう。出席しなければ楽しみようがありません。出席し、お互い素直に学びあいましょう。奉仕活動の中において、教え・悟し・叱責してくれるのが、クラブのメンバーです。
わたくし自身、心を新にこの一年、学び取り、いい年にしたいと思います。メンバーの皆さんにとっても、平成6年が、よりよい年でありますよう祈ります。

【強調月間】 EMC-MC

会 長 高橋 卓也
副 会 長 高岡 昇
" 西枝 攻
書 記 堤 雄次
" 為国 光俊
会 計 井上 均
" 佐藤 好久

例会出席		BFポイント		ニコニコ	ファン ド
12月第1例会	37名	切 手	0pt	12月第1例会	0円
12月第2例会	43名	累 計	0pt		
在 籍 者 数	48名	現 金	18,750円	12月第2例会	37,000円
出 席 率	89.6%	累 計	18,750円	累 計	287,666円
				累 計	1,075,716円

➤ 出席第一・時間厳守・親 睦・奉 仕・古切手蒐集 ➤

12月第一例会報告 -547回-

日時 12月8日(木) PM 7:00

場所 ブライトンホテル

安 岡 忠 男 記



今年も余す所あと数日となりました。本日は今期初めての新人会員を迎えます。山田博司EMC委員長の紹介により入会式に入ります。入会者瀬川勝彦君、井上彰君お二人の力強い決意表明とクラブへの熱い思いを述べられ、会長と固い握手がかわされました。お二人のスポンサーである杉本泰造君、田中慎一君からも知り会われたきっかけ、クラブへの誘いの経過等を話されました。続いて和敬学園より2名の学生を招待して奨学金の贈呈を行いました。楽しい例会食後は本日のゲストスピーカー京都府警察本部刑事部暴力団対策第1課長補佐小手石康行警部、題目は暴力団対策法とその後の現況と対策についてです。映画ミンボーの女を思い出します。話は第1に全国の暴力団の現況、第2に京都の暴力団の現況についてです。今現在暴力団は全国で9万人、その内訳は山口組、稲川会、住吉会で5万2千人程、その内山口組は大規模で3万2千人、全国47府県に組織を置いている。昭和38年には約18万人いたのが現在は半分に減っている。

今は頭を使って勝負する質の悪いものになっていて、警察も手を出せないような民事介入による資金調達、企業犯罪等です。京都の暴力団は平成3年には2400人、その内1600人程が会津小鉄組です。地域的には北部が山崎組、主に取り立て、覚醒剤、南部が地藏組となっている。その内会津小鉄組の中で地元京都出身者が75%を占め、その人達の知り合いが非常に多い。暴力団とは知り乍ら昔話に花が咲き、今現在第一線で活躍している人達からぼろっと漏れる情報を聞いてそれをネタに仕事をするそうです。今不況に喘いでいるのは暴力団に多額の資金投入をした為による不動産の異常な値上げ、その後の値下げに一番泣いているのは一般市民で今更金融引き締めをしても追いつかないとの事です。

暴力団への情報に関してどんな小さな事でも結構です。から捜査一課か二課に連絡してほしいそうです。きゃしゃな体つきにもかかわらず立て板に水の如くの熱弁に時間が経つのも忘れる程興味深い内容で例会を20分も延長する程の話であった。



12月第二例会(クリスマス例会)報告

-548回-

日時 12月24日(金) PM 6:00

場所 ブライトンホテル

堤 雄 次 記

メンバーの家族が毎年楽しみにしていることの中では一番ではないかと思われる、パレスのクリスマス例会が12月24日という、グッドタイミングな日にブライトンホテルにて、午後6時より行われました。

聖しこの夜のメロディーをバックに、コメットによるキャンドルサービスが、白いかわいいガウン姿をローソクの光がほのかに照らして入場し、会場内の空気はクリスマス色に染まりました。祝部君のクリスマスメッセージでクリスマスの空気はホテル内一杯に充満。

続いて、会長の挨拶の後、次期会長永井君の音頭により乾杯!そして食事タイムと成りました。今回はビュッフェスタイルでの食事となり、両サイドのおいしい料理やフルーツに、コメット、メネット、メンバーと各人が思い思いにテーブルと料理の間を行ったり来たり、こけたりは無かったかな?しながらの楽しい食事となりました。ワイワイガヤガヤ食事をしているうちに、ドアの外から賑やかにサンタクロースが現れた。コメットにプレゼントを配り歩き人モテであります。(今日だけ)

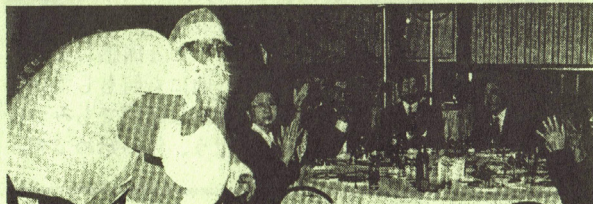
そしてショータイム。今年も演奏はパレスが誇る!?ボランティアシンガーズ。といえば皆さんおなじみのワイルドワイズの登場です。今年はドラムも井上均君となりオールパレスと思いきや、ベース奏者欠席の為、元パレスのなべちゃんが高岡君に変わりハイシャフックツ?さすがアマプロ混成バンド聞かせてくれます。そして、杉本君や西川君などがボーカルとして一曲ずつ披露して宇野君のラブミーテンダーの後、高倉君の祇園の18番。好きにならずにいられない。♪ワイズメ〜ンセ〜♪やり直し!アンタはやっぱり生演奏ではなくカラオケがおにあいですね!その後ダンスを踊る人などで大いに盛り上がる。そして、IBCアワーで、佐藤制三君が台湾、もう一人韓国行きが高橋会長へ、しかし会長は今期IBC委員として活躍している川上君に権利を譲り川上君と決定しました。ドアプライズで一喜一憂のあと今年もグロリーハレルヤの合唱で終了しました。お世話頂いた皆さんに感謝申し上げます。



楽しかったクリスマス会

田中 佐輝子 記

私はパレスのクリスマス会でブライトンホテルに行きました。友だちの井上かなちゃんも来ていました。長いお話を聞いたあといいよ食じです。ステーキもこりこりしてとてもおいしかったです。かなちゃんと遊んでいると小さな子が来たので「いっしょに遊ぼう。」と言って遊びました。その子の名前は、あら川まゆちゃんです。しばらくしてサンタさんのかっこうをしたおじさんにおかしをたくさんもらいました。そのあとちゅうせんがあって、お米が10キロもあたりました。さいごはたかしま屋の5万円のけんです。「0022まであたった人は立ってください。」と言われたので私もかなちゃんも立っていました。次に「00226までの人。」と言われたので私もかなちゃんもまだ立っていましたが、さいごの数字がちがっていたので当たりませんでした。とてもごんねでした。クリスマス会はとても楽しかったです。来年もまた行きたいです。



コラ△「一の裏は六」

投稿依頼を受けて、とても私などがと思いつつ、パレスクラブのキーメンバーの一人としてワイズ論議に熱中し、また多くのことを学んだ若き日の思い出を糧に、過分にも、その子クラブであるウエストクラブの会長の重任を何とか終えることができたばかりの、私の胸中にあるものをこの機会にまとめてみました。

92年には共生の時代と言われ、そして今「ヒューマン・キャピタリズム」ー人間尊重・人間中心の経済社会が問われており、これを産業・企業の変革と題して昨秋に経団連がまとめた内容に次のような表現があります。

◎人の多様な個性と創造性の発揮を図り、真にゆとりある豊かな国民生活に向けた活動を行うとともに、内外の社会が抱える課題に積極的に取り組むこと。

◎独創性が発揮される組織運営と挑戦を恐れない風土の醸成に努め、創造的展開を担う人材を育成すること。

さて、心の豊かさやゆとり、真の充足感が求められている今日。クラブを通して「豊かな交流ー人と人のふれあい」が与えられることを喜び、その交流によって「信



素敵なひとときを感謝して

田中 増美 記

子供達も私も楽しみにしていますクリスマス例会に、今年も参加することができました。会長はじめワイズメンの皆様趣向を凝らしたアトラクション、おいしいお料理、楽しい会話、どれを取ってもわくわくする素敵なひとときでした。子供達も普段は買ってもらえないような豪華なお菓子の詰め合せを、大熱演(?)のサンタさんよりプレゼントされて大喜びです。ドアプライスではお米5kgが2つも当たり、我が家には何よりのプレゼントとなりました。我が家はクリスチャンではありませんが、このようなパーティーを楽しんでいる一方で世界のどこかで飢えに苦しんでいる人々がおられることを忘れないように、あらゆる人、あらゆる物に対する感謝の気持ちを新たにしたいと思います。素晴らしい時間を本当にありがとうございました。



頼と協調の精神」を培う事ができるワイズライフは誠に素晴らしいものです。その為には、メンバー各人がクラブにあって堂々と自己の経験と個性を発揮し、創造的・協調的な活動を展開すること、一方「人を思い、人の立場に立って」メンバーの個性を受け入れ、全体として挑戦して行くクラブ風土を維持することが必要だと思います。「六」があるから「一」があり、新しいメンバーがいるからベテランメンバーとなる訳で、これらの一体感が増すほどクラブの活性度は高まるはずで。「他者にもたれない『淡き交わり』と相互に理解しあう『深き交わり』の両立を」という93年度国民生活白書の主張は、やはりワイズの原点であると思います。

これまでの歴史と伝統が示す通り、強力なフォワードを持ち、バックが一体となっているラグビーチームのようなパレスクラブには、将来のワイズメンズクラブへの多くの期待が寄せられています。益々のご活躍を祈念し、私の雑感を致します。

京都ウエスト 米谷 勝功

京都YMCA クリスマスキャロリング

杉井 恭敏 記

今冬一番の冷え込みとなった12月22日、恒例のキャロリングが京都YMCAの主催で90周年のお祝いもかねて盛大に開催されました。夕刻5時半に集合し、声合わせをした後、7時に小さな天使達も含めて約100名位が手にローソクを持ち、三条YMCAを後にした。三条寺町等、数ヶ所でクリスマスソングを賛美し街角を行き交う人々にイエスキリストの誕生を伝えてきました。

神の招き 作者 不詳

今日はイエスの誕生日、知って下さいイエスのことを
つらい時、悲しい時に、心が晴れないその時に、
思い起こそうイエスの生涯、きっと心が強くなる
君の勇気を待っている、そんなイエスがそばにいる
おいでよワイズの皆様方よ、教会よいとこ一度はおいで、

イエスに出会えば自分がみえる、自分が見えれば強いもの、大人だって必要さ、素直な心をもつことは
さあーでかけよう教会へ、金もかからず宝はのこる
ハレルヤ ハレルヤ メリークリスマス。

(七五調でお読み下さい。)



こんにちは京都YMCAです



あけましておめでとうございます。

YMCAに入職し、北Yに育てられて4年がとうとしています。そして、その北Yの諸活動を支えてくださるのが、一昨年にパレスワイズの5番目の子クラブとして設立されました、グローバルワイズです。

クリスマス会や餅つき大会を、初年よりお手伝いいたしておりますが、その度に思うのは、これはたとえお金や時間があってもできることではないな、ということです。ましてや、皆さんそれぞれにお仕事をお持ちで、そ

北YMCA 安場 美奈子

の僅かな時間を私たちのためにさいてくださるのですから、ハートがないとできないことです。お金が買えないならやらない、という人も今や珍しくありません。そんな中で、ワイズの皆さんはどんな思いで活動されているのか、とても関心のあるところです。それを知る手だてとして、ブリテンを拝読しています。???のワイズ用語を担当主事に尋ねながらではありますが…。納涼、クリスマス両例会にお招きいただいた後などは、読む楽しさも2倍になります。「あっ、この方のこの間の…」というのがあるかないかで随分違うものです。こういう時に、“知る”近道は“みる(会う)”だと痛感します。

さて、日々家と北Yとの往復で、他にも何もしていないし、やろうともしていない私。僅かな時間でもみつめようとするところから始めようと思う、年の始めです。

半期を振り返って



高橋丸がスタートしてはや半年が過ぎました。そしてもう半年しか残さないという時期になりました。

本年度は「楽しもうワイズを、良き未来の為に今日一日の充実を」の方針のもと、その具体的活動として委員会活動を活発化することが方針でした。そのため毎月の三役会でも論議は出来るだけ端的に、そして親睦を充分にとの運営方針のもと楽しく豊かなワイズ生活が出来たと思います。

本年度は役員研修泊り込みでスタートしました。研修会ではYMCAとY'sとの連携、「YMCAに忠節を尽くす」の今日的意味、アメリカでのY's活動の停滞と日本の活動等、我々が直面する問題についての真摯かつ有意義な討議がおこなわれました。この討議を踏まえ佐波江、リトセンの各ワーク、運動会による京滋部会、神戸

副会長 西 枝 攻

のアジア大会、一連のYMCA90周年記念行事への参加と目白押しの行事が続きました。アジア大会では鈴木君をマーシャルに送り出し、YMCA90周年においては花背での餅つき奉仕を行い当クラブの力量の大きさを内外に示し得ることが出来ました。このようにこの半期も奉仕に親睦に多様な活動が出来たとおもいます。さらに本年の活動の目玉としての委員会活動の活発化では各委員長の奮闘により毎月一回の委員会の開催を通してメンバー相互間の親睦を深める事が出来たことと思います。

しかし、半期後半にいたり例会へのメンバーの出席率が若干下降傾向にあり、また遅刻も増加傾向にあります。各々、事情もあることでしょうが、ブリテンの下欄のスローガンを確実に実行することが重要と思います。

後半期においても、三役、役員は全メンバーの楽しきワイズ活動の為に奮闘しようとしています。

後期においても、昨年に続いての外国人留学生にたいするバザーが計画され、また多数の活動計画が立てられています。前期にまして親睦、奉仕活動を通しより良き活動を行いたいものです。

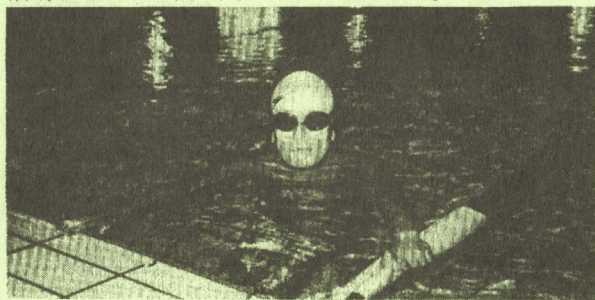
My Wellness Part 17 昨今フィットネス模様

杉本 泰造

中年を迎えると、体力の低下を感じ、フィットネスクラブに入会し、体力を鍛え直そうとする方々が増えている様ですが、何故か長続きしない。高い入会金を支払い、意気揚々と続けるのも三ヶ月、一年保つ方々は滅多に無い。何故でしょう。体力の回復を早急に希むものも、尽ならず。楽しいパイ呑みが有れば、そちらに気が向き、ワイズや組合の役員ともなれば、何々の理由を付けて逃れようとするのが、人の性。

僕の場合、酷い持病の腰痛治療の一貫として、手始めにYMCAのプールへ通い始めて約10年、最近では近くに出来たプールへ、週一回ペースで続けておりますが、水泳も泳ぎ過ぎると、逆に腰に負担が掛かるようで「この事については、学生時代水泳選手だった、ワイズのH君からは、杉やんのは、泳ぎ方が悪いし、足が短いからやと笑われておりますが」しかし身近に、水泳の達人が、やり過ぎて酷い腰痛に成り、フィットネスクラブをやめられました。又ゴルフをする方で、飛距離を伸ばしたい一心で、バーベル等の筋力トレーニングを、これ又やり過ぎて、ゴルフに不必要な筋力が付いて、ゴルフがガタガタに成り、これ又フィットネスをやめられました。僕の場合の様に失笑を浴びながら、タラタラと溺れぬ程度

に続けて行くことだと思います。中年に成ってからの、過激なトレーニングは不必要です。それより縮んで行く筋肉を伸ばす、ストレッチをすることが大切です▼フィットネスは、何か確たる目的を持ってする事が続けられるようで、例えばワイズのU大兄は、スイミングを長年続けておられる、只一人の人物ですが、何故か、南の果から、北の果てのプールへ行かれる所にツボがあるようで、これ又確たる継続の目的の一つの手段と悟った次第“嗚呼”。いずれに致しましても、フィットネスクラブに入会する事は、自己の確たる目的を持ってから入会することで、商業主義や、義理に流されない事です。ワイズのN先生は、高い入会金を支払って、今もって一回も行かずじまい、“モッタイナイ”。その点YMCAは良心的です。先ずYのフィットネスクラブで肩慣れをしましょう▼フィットネスクラブで英気を養い、ワイズで学び、活動することは僕の良きウェルネスです。



お正月用餅つきに参加して

ファンド副委員長 宇野 廣一

暮れも押し詰まった12月29日(水)午前8時頃からファンド委員会の主催で家庭の正月用餅つきの行事が挙行された。場所は委員長の山岸君宅で、ご強力頂いた方も師走のあわただしさもあって10数名であったが、お天気にも恵まれ、本年を締め括るにふさわしく紅白幕を張ってまるで祝い事のように華々しく行なわれた。

日は二日、つく量は60kg、前日から委員長宅では家族総出で準備に掛かって頂き、当日も同じく大変お世話になりました。

9の日の餅つきを(苦餅)と云って良くないと云われているが、私は(苦)を(紅)に変えて(紅餅)とし、

来年こそは紅の年をと願いつつ餅つきに託した。つき手は少なかったが場所柄で近所の方のお手伝い等もあり午後3時頃には終了し、おでんとビールを頂き三々五々解散した。



新入会員プロフィール

瀬川 勝彦

- 1、生年月日 1940年12月10日
- 2、自宅住所 宇治市木幡平尾49-2
- 3、自宅電話 0774-32-6854
- 4、職業 (株)樹谷設計
代表取締役
- 5、職場電話 075-221-1632
- 6、職種 建築設計、監理
- 7、趣味 ゴルフ、テニス、美術鑑賞
- 8、モットー やわらぎの心
- 9、結婚記念日 1969年12月15日
- 10、家族構成 妻 規矩子、長男 勝規、次男 勝章
- 11、スポンサー 大野嘉宏、杉本泰造



井上 彰

- 1、生年月日 1953年1月21日
- 2、自宅住所 京都市上京区芦山寺通
大宮西入
- 3、自宅電話 075-451-2262
- 4、職業 (株)井上クリーニング店
代表取締役
- 5、職場電話 075-415-0333
- 6、職種 クリーニング業
- 7、趣味 ヨット
- 8、モットー いつも一生懸命
- 9、結婚記念日 1983年2月6日
- 10、家族構成 妻 智子、長女 可奈子、長男 幸太
- 11、スポンサー 田中慎一、山田博司



役員会報告

第1号議案	井上 彰君、瀬川 勝彦君入会の件	承認
第2号議案	井上 彰君、瀬川 勝彦君委員会配属の件	承認
第3号議案	クリスマス例会会費の件	承認
第4号議案	I B C代表派遣の件	承認
第5号議案	C Sチャリティバザーの件	承認
第6号議案	ビデオプロジェクター購入の件	承認
第7号議案	新年例会の件	承認
第8号議案	もちつきPTの件	承認

12月スケジュール

役員会	1月8日(日)	平安会館
第1例会	1月8日(日)	新年例会 平安会館
第2例会	1月26日(水)	半期総会 ブライトンホテル
献血	1月13日(木)	YMCA青少年センター

献血功勞表彰伝達式

C S委員長 安岡 忠男

パレスクラブは永年C S事業として、過去の実績を踏まえ、15年間以上の活動について、献血功勞銀色有功章を、京都府赤十字血液センター所長、細井武光様より、11月20日(土)、京都パークホテルにて、パレスクラブに日本赤十字社有功章社員章等贈与規則に基づき、献血功勞表彰を受賞しました。これも皆様の永年にわたる献血の結果であり、皆様のご協力に感謝いたします。

平成5年度 献血功勞表彰伝達式



じゃがいも、かぼちゃ販売ベスト10

	じゃがいも	かぼちゃ
1位	安岡 忠男 196ケース	12ケース
2位	高橋 卓也 100	40
3位	杉本 泰造 120	2
4位	田中 慎一 100	7
5位	宮本 隼史 90	5
6位	高倉 孝次 80	10
7位	永井 孝 60	20
8位	井上 均 70	10
9位	西枝 功 60	10
10位	西川 寿一 60	5

皆様のご協力によりまして、じゃがいもとかぼちゃ合計で2,170ケースを販売することができました。かぼちゃでは、皆様にご迷惑をおかけしましたことを、おわびいたします。
ファンデ委員長 山 岸 弘 侍

—6—

ブリテン委員長/高倉孝次 副委員長/田中慎一 委員/谷口武士・津田知宏・西中日向

Happy Birthday

筒井 信貴君	1936年1月8日
西枝 攻君	1943年1月10日
佐藤 制三君	1942年1月17日
堤 雄次君	1953年1月18日
井上 彰君	1953年1月21日
野崎ひろ恵君	1月31日

Happy Anniversary

安岡 忠男・政江夫婦	1968年1月11日
渡辺 泰一・秀子夫婦	1970年1月25日

YMCAだより

1. 布で描く絵 アップリケキルト一日講習会

おひなさまをモチーフに、シャドウキルトの技法を用いた作品を作ります。

日時 1994年2月3日(木) 午前10時～午後3時

場所 京都YMCA三条本館

費用 6,500円 材料費含む(会員、家族 6,000円)

講師 宇高真智子先生

お問い合わせ先 京都YMCA三条本館(231-4388)

2. 京都YMCA91周年創立記念日会員集会

京都YMCAは1994年2月14日に創立91周年を迎えるにあたり、90周年で燃えあがったパワーを今後のYMCAの発展のために結集させるべく下記の通り会員集会を計画しています。ワイズメンの皆様にも多数お集まりいただき、会員相互の交流を深める時をもちたいと存じます。ぜひご参加ください。

日時 1994年2月12日(土) 午後6時30分～9時

場所 京都私学会館

内容 記念礼拝 京都YMCA90周年行事報告
京都YMCA3ヶ年計画

メンバーあれこれ

我がパレスクラブの永遠のおかあさん、野崎ひろ恵君が1月31日で60才の還暦をむかえられます。これを記念して、川口淳子君とハワイのマウイ島へ、ゴルフに行かれます。女性メンバーには、不景気は全く関係がないそうです。

編集後記

パレスクラブメンバーの皆様、明けましておめでとうございます。昨年7月より、ブリテン委員会のメンバーが、ブリテンを担当させていただき、何とか無難に半年が過ぎました。これも偏に、メンバーの皆様が何一つ文句を云わず、喜んで原稿をお引受けいただき、又、原稿を締切日までに執筆いただけた結果でございます。ご協力有難うございました。ブリテン委員会も楽しいブリテンを目標に頑張っておりますので、あと半期、原稿をよろしく願います。



CLUB OFFICE
京都YMCA青少年センター
京都市上京区烏丸今出川下ル
☎(075) 432-3191 〒602

THE Y'S MEN'S CLUB OF KYOTO PALACE

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

2 '94

Bulletin

1994.2.1発行
第23巻第8号通巻273号
CHARTERED 1971

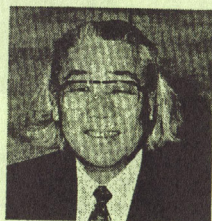
"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

クラブ標語 “楽しもうワイズを” —良き未来の為に今日一日の充実を—

国際標語 “IN SHARING WE HAVE FOREVER” 『いつでも分かちあいの心を』
アジア区標語 “THINK ASIA THINK Y'SDOM” 『考えようアジアとワイズ』
日本区標語 “CREATE A NEW AGE” 『創造しよう新時代』
京滋部標語 “WE Y'SDOM AIM GROWTH WITH YMCA” 『翔ばたけワイズYMCAと共に』

心を求めて例会に至り 境地を得て例会を去る

聖句 「平和を実現する人々は、幸いである。
その人たちは神の子と呼ばれる。」
マタイによる福音書5章9節



ひとりごと

宮本隼史

ちかごろの若いものもなんですが、ちかごろの古いものもどうかとおもいますね！と言うコマーシャルが最近TVに流れている、私は気に入っている。自分自身が同じ仕事を40年近く経験し、またパレスクラブに在籍して25年目になる、同じ事を長く続けると思考の硬直化が始まり、精神的にも肉体的にも若い人たちとおなじ考え方をもったり、ともに行動するには無理が生じる。その為に口が先に出てしまい、以前はこうだった、こうあるべきだと、自分の考えと異なる事があると否定している事がある。ちかごろの古いものは——と言われてもしかたがない。

先の例会において第25代会長井上均君が承認されたクラブでは25年経験した会員、入会して1年目の会員、会長、事業委員長、や日本区役員を経験した会員、年齢的にも60代から30代までと差があり、個々の生き方考えかたが異なる人間集団のクラブ、会長はリーダーシップを

発揮し、Y'S、パレス、の名のもとに一つにまとめなくてはならない、至難のわざといへるが自分を大きく育ててくれる、歴代会長は毎年目標をっかけ、活力あるクラブ運営、変革のために共に行動し、新しい仲間を求め、クラブの本質、真髓、人と人の輪を追求してこられた。パレスクラブもまもなく25周年を迎える、高橋会長、永井次期会長、井上均次次期会長に、過去の実績を踏まえ、さらなる飛躍のために、＜K＞、の頭文字を連ね、会合(例会)、皆出席、会話、協議、改革、改善、企画、計画立案、共同事業、活性化、を合い言葉にクラブ内における年齢差、経験年数のギャップをのりこえていただければと願います。

ちかごろの古いものは——とか、クラブ内のぬれ落ち葉(最近亭主のことを粗大ゴミと言わずぬれ落ち葉と言う)にならないように頑張らねばと ひとりごと。

【強調月間】 TOF、CS

会長 高橋 卓也
副会長 高岡 昇
書記 西枝 攻
書記 堤 雄次
計 為 光俊
会 井上 均
佐藤 好久

例会出席		BFポイント		ニコニコ		ファンド	
1月第1例会	39名	切手	0pt	12月第1例会	24,000円	12月	59,512円
1月第2例会	37名	累計	0pt	12月第2例会	28,000円		
在籍者数	47名	現金	51,750円				
出席率	93.6%	累計	51,750円	累計	339,666円	累計	1,136,828円

＞ 出席第一・時間厳守・親睦・奉仕・古切手蒐集 ＜

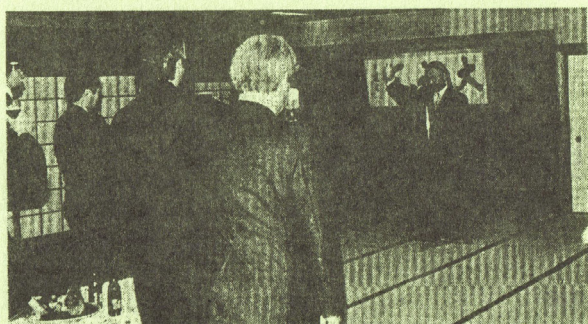
1月新年例会報告 -549回-

日時 1月8日(土) PM 6:00

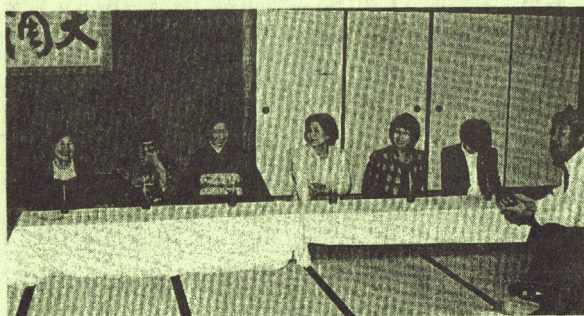
場所 平安会館

川上孝司記

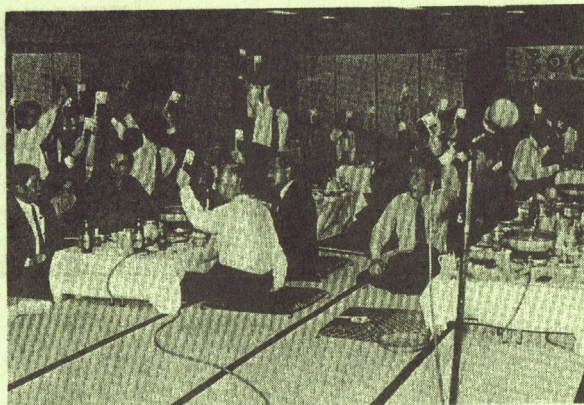
高橋会長の、目の醒める様な挨拶で、1994年の新年例会が開会されました。数年に渡る日本経済の低迷は昨年末には企業の大型倒産等があり、大変な状態の年明けとなりました。会長からは、10月、11月、のスケジュールの報告、又後期に行われる留学生バザーを、全員参加で力を合わせ成功させようと力強く呼びかけられました。次に、西中直前会長より、会長選考委員会で選出された第二十五代会長に井上均君の紹介がありました。井上均君は、若手ながらも各委員会委員長、及び三役を経験され、彼の持つ大変面白いキャラクターでパレスワイズメンズクラブを盛り上げてきました。これからの一年半、高橋会長、永井次期会長、を見本にさせて戴き、勉強して頑張りたいと表明、井上均君の今後のすばらしい活躍に期待いたします。次に、永井次期会長からの挨拶があり、次期三役として、副会長谷口武士君、南出潤一君、書記鈴木俊一君、山岸弘侍君、会計河合信也君、布施公一君が指名されました。



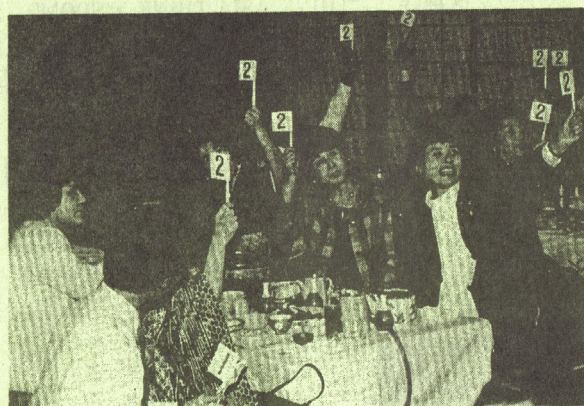
新年宴会は場所を移し、6時30分より開演、西枝副会長の挨拶で新年宴会を開会しました。又、昨年京都YMCA総主事を退任されました高谷君の、久々の食前の御祈りを聞き、心にしみる思いでアーメン。西中前会長の乾杯の音頭で、楽しいゲーム、クイズコーナーへと進んで行きました。ゲームコーナーでは、トマトジュースをストローでいっきに飲む早飲み大会、そして、〇×、一二、クイズとメネット六名の参加で笑いと興奮のひとつきを過ごしました。ニコニコタイムにおいても色々な失敗談や、出来事等がとびかい無事新年宴会の閉会となりました。



さあメネットの戦い!! ヨーイ ドン



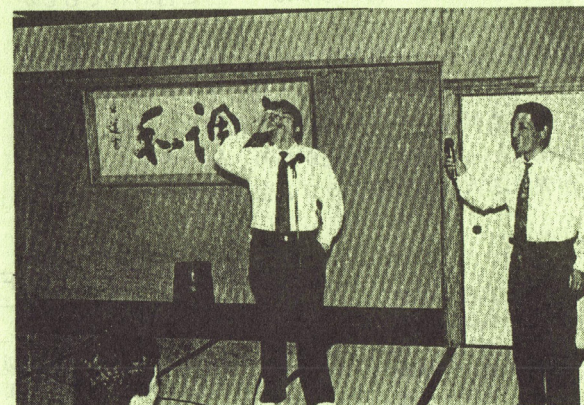
さあ みんなで〇×ゲーム!!



気合いイッパイ!!メネットの1、2クイズ



このゲーム、だれが勝つやら?



スゴイ!! 南出君の日本酒の一気飲み

1月第二回例会(半期総会)報告 —550回—

日時 1月26日(木) PM 7:00

場所 ブライトンホテル

佐藤 好 久 記

本日の例会は、下半期最初の例会であり、半期総会が開かれました。23代高橋会長のいつもの元気のいい会長挨拶に始まり、会則に基づいて、会長が議長を務め上半期事業報告並びに会計報告書が配布されました。それをメンバー各自、5分程度の目読。引き続き、次期三役の発表が、次期永井会長から発表されました。副会長、書記及び会計各2名で計6名が壇上へ、各自三役としての抱負を力強く述べられました。又、次々期会長の発表があり、井上均君が選任されました。続いて、上半期事業報告が各委員長より、順次発表され、2～3名のメンバーより質問等がありましたが、承認されました。又、会計

次期会長永井孝君の紹介

次期会長永井孝君はパレスクラブに1982年に入会され、今期でワイズ歴13年目を迎え、今やパレスでは、無くてはならない、確たる信念を持った中心人物です。次期会長永井君を一言で表現させていただくと、「カミソリの永井」とクラブ内で云われるように、頭脳は人一倍さえ、行動力は敏速で他を寄せつけず、優れた才知と能力をそなえた好人物です。又、我々メンバーに対しても、言葉づかいは丁寧で、礼儀正しく、ワイズのことでは何でもすぐ実行していただける人で、わたくしの尊敬している人の一人です。パレスクラブでは、これ迄、BF、EMC、ドライバーY各委員長を経験され、三役としては、副会長・書記を為し遂げ、パレス24代会長として、誠に

報告も承認されました。これで、会計といたしまして、一安心です。他には、来期に向かっての、ビデオプロジェクター購入の件や、下半期の最大の行事である、CS委員会主催の留学生対象バザーを、クラブ全員参加で成功させようとのアピールが会長及び安岡CS委員長よりありました。最後に西枝副委員長が総会終了挨拶並びに下半期事業方針をのべられて、無事終了いたしました。



相応しい経験を積んだ会長と思われまふ。次期のパレスクラブの発展の為の様々な諸問題を、三役と共に強調して、強い意志と実行力で解決し、目的を達成される会長として期待しております。



「一の裏は六」

アジア大会も終わり心の中に空洞を感じつつゆっくり休養を取っているところへブリテン委員長からの原稿依頼を受けました。まあ私の大好きなパレスクラブ、イヤとは云いきれず四苦八苦の思いで、ペンを走らせています。

さて30年振りの日本でのアジア大会でしたが皆様の協力で成功さす事が出来ました。(赤字も出さずに)、アジア、日本区の皆様から絶大な感謝の言葉を頂きホットしております。それに付けても何故私如き者に実行委員長を指名したのか。理事経験もない私に——日がたつにつれてその思いが痛切に感じられる様になりましたが幸い各部委員長がこまめに動いてくださり何とか乗り切る事が出来ました。今大会は西部の活性化のためにもと云う事で実働委員には京滋部、中西部の方々にはあえて参加して頂かないように頑張りました。お蔭で三つのクラブが西部で生まれました。

愚痴は程々にして——これだけは云いたい。8月31日の申込締切りなのに海外国内合せて50名、これには

驚きました。ワイズに対する不信すら感じました。必死の思いで日本区役員会や各部会に出てアピールをした結果758名(800の予定)を得、何とか乗り切れる事が出来ました。私が大会で学んだ事の一つはYMCAが積極的に協力してくれた事です。国際級の大会にはYMCAの協力不可欠である事が身に染みて解りました。これぞYMCAとワイズは一体である、言葉だけのサポーティングワイズであってはならないと思う。常に汗をかき犠牲の上にたってこそ、奉仕と云えるのではないのでしょうか。パレスの鈴木俊一さんにはマーシャルとして大変なお働きをして頂きました。感謝です。アジア大会で得たもの——心の触れ合い・許し合いの精神だろうと思います。色々と思ひめぐらした事を云いましたがこれぞ「一の裏は六」であると言う感性が大切ではないのでしょうか。そのことが交わりの中で愛となる思いを持つ事でしょう。

アジア大会実行委員長 神戸クラブ 小林 正 俊

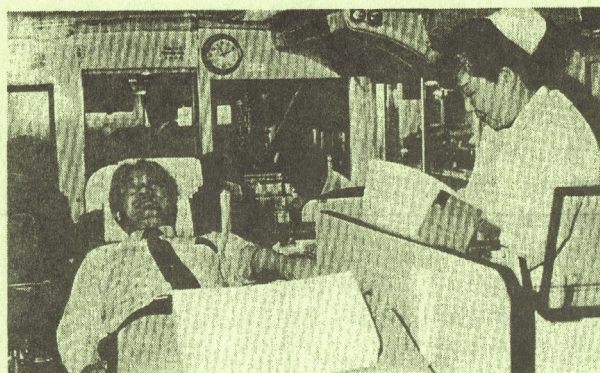
パレスの献血

パレスクラブ恒例の“献血の日”が今年1月13日(休)に京都YMCA青少年センターにて行われました。

当日は肌寒い日でしたが高橋会長御夫妻、高岡副会長御夫妻、今井メネット、そしてグローバルクラブ高橋(秀)CS委員長にも早朝より受付準備に応援をして頂きました。祝部主事より事前にポスターを掲示して頂いたお蔭で、YMCA職員はじめ一般学生の参加と他クラブの協力により22,800mlの血液が献血された。

特に学生さんには採血数ひとり400mlも献血して頂き若き血も大量に集める事が出来ました。皆様の御協力に感謝致します。(献血受付人数96名でした)

CS委員長 安岡 忠男 記



こんにちは京都YMCAです

京都西YMCA 猿橋 直子 記



先日、テレビ番組で母親が聴覚障害を持っているある家族の話を見ました。彼女には、小学生と幼稚園の息子がいます。大きな声ではっきり喋ってもらえればお母さんもなんとかわかるのですが、子供が大きくなるにつれてコミュニケーションがとりにくくなり、「聴

きたい」と思うようになってきたのです。そんなある日、彼女は性能のいい補聴器があるというので試してみますがやはり聞こえません。落ち込んでしまう母親に、二人の息子は「僕たちは慣れとるよ」、「別に聞こえても聞こえへんでもどっちでもいいよ」と言うのです。

私たちは、日頃いろんな事柄に対してもっとこうであつたらと思いがちです。しかし、いろんな事に対してありのままを受け入れ、認められるようになりたいです。

私の働く京都西YMCAは進学ゼミ130余名、野外活動クラブ50名足らずの小さなランチです。しかし小学生から大学生リーダー、朗読奉仕をしてくださっている長岡こうろぎの皆さん、と様々な人との出会いがあります。また、ワイズメンズクラブの皆様もいろんな行事があると、すばらしい動員力と機動力で大きな力を発揮してくださるのに感謝です。

ランチは規模は小さいですが、会員の方の奉仕の精神と信頼に支えられています。日々流されてしまうことの多い毎日ですが、いろんな事を、人を受けとめ、認められるYMCAの顔になりたいです。

My Wellness Part 18

トライアスロン Part II

為 国 光 俊

マイウェルネスのコーナーに、2度目の寄稿の機会を与えていただきました。1回目の時には天の橋立でおこなわれたトライアスロンに出場し、その素晴らしさについて書いた記憶があります。大自然を背景に天の橋立を目の前に海を泳ぎ、自転車で緑っぱいの山林を駆けめぐり、広くのどかな田園の中を走りながら草木の香りや風景を楽しみながら思いきり身体を動かす。そして、地元のボランティアの人々の暖かいもてなしや声援に感謝し、各地からやってきた選手達と酒を飲み交わしながらトライアスロン談義に花を咲かす。

今回はそういったトライアスロンをする人、トライアスリート達の側面から、彼らの生活を捉えたいと思います。

その1. トライアスリートは小銭が貯まる。

彼らは3種目をこなさなければならないのでトレーニングに余念が無い。移動する時間を利用してどこへ行くにもジョギングや、自転車を使う。通勤など市内一円はもちろんのこと、日帰り海水浴までも自転車で行ってし

まう。ガソリン代がいらないので小銭が貯まる。

その2. トライアスリートは女の子にモテる。

よく動き、なんでもよく食べそうなトライアスリートが見かけによらず食生活には気を遣っている。バランスの良い食事を心掛け、蛋白質や、炭水化物、ビタミンなどを多く摂取し、余分な脂肪がつかないようにカロリーを控える。だからスタイルを気にする若い女の子とは共通の話題で盛り上がり、モテるわけである。ホンマかいな。

その3. トライアスリートは夜に弱い。

毎日1~2時間はトレーニングをしているので、どれだけ早く身体を回復すかがポイントとなる。だから夜になるとすぐ眠たくなってしまふ。早い人になると夜9時頃には寝てしまふ。最近の小学生でも10時頃までは起きてるで。

その4. トライアスリートは快楽主義者

人間同じことをずっと続けていると飽きがくるし、なんぼ好きでやってもハードなトレーニングであることに変わりはない。すがすがしい朝だからとか、夕焼けがきれいだからとか、時間やコースを変えて気持ちいいことを探して、苦しみを楽しみに変える。

普通の人が普通に出来るトライアスロン、楽しく、休まず、一生懸命、なんかワイズとにってるな。

みなさんよろしくお願ひします。

京都のより良い住環境を目指して

瀬川 勝彦 記

1993年9月頃、八日市カントリークラブの研修会の席上に於いて、メンバーの杉本泰造さんとお話しをしている中で、この京都バレスワイズメンズクラブを知りました。私は職業奉仕、社会奉仕の奉仕活動には、興味をもって生活しておりましたので、YMCAの活動を支援していく団体は、より多く興味を覚えました。一度例会に遊びにどうやという事になり、ゲストとして参上しました。運の良い事にこのクラブには、昔からの友人、大野嘉宏さんが大活躍中という事で一層親しみが湧いた次第です。何回かのオブザーブ出席をした後、12月に入会させて頂きました。高橋会長はじめ会員の皆様の暖かい友情に感謝しております。例会は非常に簡潔で、明るく、楽しい気持ちになれて幸せです。特に12月クリスマス例会は、なごやかな雰囲気最高でした。

私の職業は、建築設計管理業です。民間55%、官庁45%の比率です。バブル不況の影響で、土地が動かず、当社も不況真只中で進行中です。当社では、社の内外を問わず、正直な心を持ち、社員同志、相互理解を深め、自分の仕事に使命感を持って、目標を高く掲げて、努力を



して、互いの人間性を尊重しあう事を根本において、仕事をしております。

会社で働く人たちが最も人間らしく、生活をし、自分の仕事を通じて、一般社会に貢献をしていく事に、歓びをみだしていく様な環境を作る様に努力しております。

家族構成は妻、子供2人(大学4年、大学3年)犬で、生活しております。今後ともワイズの勉強を少しづつしまして、ワイズメンズクラブを理解して自分なりに吸収して皆様に近づこうと思っております。よろしくお導きください。

山と海に親しんで

井上 彰



人はよく「何故山に登るのか？」と訊きます。私も山に登っている時「40kgもある荷物を背負って何故こんなしんどい思いをしてまで山に登るのか」とよく思いました。考えてみれば登っている最中はとにかく「しんどい」という大きな文字以外、頭の中に見当たらないという状態です。それでも下山したときには「次はあの山に登りたい」と心に絵描いていたものです。私は又、岩に登るのも好きでした。岩登りの場合、一足一足登っていくほどに高度が上がっていく実感が小気味よく、この上ない

快感であるのです。そして無事帰ってきたときフツフツと沸いてくる充実感の為とも言えるでしょう。そんな私が岩登りをやめたのは、夏合宿のトレーニング中に岩から滑落し約13m落下して宙吊り状態になり、全治一ヶ月の負傷をしたのがきっかけです。それ以来、恐怖感からでもないのですが少しづつ岩登りから遠ざかってしまいました。そんな時ある友人にヨットに乗せて貰い、趣味が山から海へと変わってしまいました。ヨットレースの醍醐味は、風の方向と強弱、波と潮の流れを見極めての戦略と戦術。マストのチューニング、艇のポテンシャルの向上、セール操作、クルーワーク、艇のハンドリング等、これらの総合的な技術の向上が勝負を大きく左右するところにあります。帆走中は浮世の喧噪など何処へ行ったのか……風の囁きと波の音しか耳に入ってくる世界です。この爽快感がストレスを発散させ、私の活力の源となっているように思います。

山は個人の精神力と体力によるスポーツ。ヨットはチームワークと適確な判断力がものを言うスポーツです。自分の今迄培ってきた体力、知力、判断力をフル回転し、雄大な自然を相手にチャレンジしていくという共通点が私を引き付けたのだと思います。そして人生や仕事に対しても、そのチャレンジ精神をいつも持ち続けて行きたいと思っております。

役員会報告

- 第1号議案 次期三役の件
副会長 谷口武士君、南出潤一君
書記 鈴木俊一君、山岸弘侍君
会計 河合信也君、布施公一君 承認
- 第2号議案 次次期会長（第25代）の件
第25代会長井上均君 承認
- 第3号議案 筒井真貴雄君12月31日付退会の件 承認
- 第4号議案 上半期会計報告の件 承認
- 第5号議案 上半期事業報告の件 承認
- 第6号議案 CS留学生対象バザーのPTの件 承認
- 第7号議案 2月第2例会ゲストスピーカーの件 承認

2月スケジュール

役員会	2月2日(木)	ブライトンホテル
第1例会	2月9日(木)	ブライトンホテル
第2例会	2月23日(木)	ブライトンホテル
YMCA創立91周年会員集会		
2月12日(土) PM 6:30～京都私学会館		

チャリティー・コンサートをきいて

西 中 日 向

京都YMCAは'94国際協力募金の為のデュオリサイタルをフルート大和田葉子ハーブヨセフ・モルナールにて1月14日(金)京都府立芸術会館にてワイズメンズクラブの後援にておこなわれた。フルートとハーブの何とも言えない音色が会場全体を包みこみ爽やかなひとときを過ごすことが出来た。前回もフルート大和田葉子さんにて開催されたが、会場がもうひとつだった為、観客には好印象ではなかった様だが今回は会場も替わり、又ハーブのヨセフ・モルナールさんと言う一流のハーブニストで力強く大変良い演奏だった様に思う。しかし曲目が一般には少し硬かったように感じた。やはり選曲の段階でもう少し考えてもらえれば良かったのではないだろうか。あくまでも協力募金の為のリサイタルであるから・・・。またリサイタルの益金は国際協力プロジェクトに使われます。ワイズメンメネットの皆さんが少しすくなかったのが気になりました。

次々期会長決定

パレスクラブの若手のホープ、井上均君に決定しました。1年半の間に、身边をきれいにし、パレスクラブの会長にふさわしい人物になられるよう期待します。



メンバーあれこれ

我がパレスクラブに法律相談役、西枝攻副会長が、弁護士のかたわら、京都で初めてのJリーグを目指す“京都パープルサンガ”の監査役に就任されました。西枝君は、ゴルフよりサッカーの方がお似合いのようですね!?

Happy Birthday

高 谷 泰 市 君	1932年 2月 1日
川 上 孝 司 君	1952年 2月 7日
田 中 慎 一 君	1956年 2月13日
岡 本 和 彦 君	1946年 2月14日
谷 口 廣 君	1960年 2月19日
南 出 潤 一 君	1955年 2月22日

Happy Anniversary

山岸 弘侍・百代夫妻	1969年 2月 3日
采野 弘和・たか子夫妻	1960年 2月12日
谷口 武士・愛子夫妻	1965年 2月14日
佐藤 制三・紀代子夫妻	1970年 2月21日
井上 彰・智子夫妻	1983年 2月 6日

YMCAだより

1. 新年度 プログラム募集

心も体も健やかに、大きく育てほしい。そんな願いをこめて、子供たちのためのウェルネスプログラムを行っています。ご参加をお待ちしています。

〔三 条〕

「スイミングスクール・プレスクール・母と子のカンガルー教室」2月16日(木)午後2時より、ウェルネスセンター三条にて ☎ 075-255-4709

〔今出川〕

幼児、少年体育活動・少年スポーツ活動・少年野外活動 2月16日(木)午前10時より、ウェルネスセンター今出川にて ☎ 075-441-2773

2. 講演会「平成アトピーの乱」

東洋、西洋の両医学を取り入れたアトピー治療で著名な先生は、お母さんの「あれもこれも食べさせられまい」とのストレスもアレルゲンではないかと言われます。先生の著書「平成アトピー症候群」をもとにお話をうかがいます。

日時 1994年 3月 9日(木) 午後2時～3時30分

場所 京都YMCA三条本館地階マナ、ホール

講師 江部康二先生(高雄病院医師)

参加料 1,000円

お問い合わせ先京都YMCA三条本館

生涯学習事業部231-4388

計 報

・京都YMCA元理事、ワイズメンズクラブ日本区元理事で現、京都YMCA名誉会員の谷口善之様が1月8日、夜11時ご逝去されました。(93才)

・台中エバーグリーンワイズメンズクラブのメンバーで特に私達と親しいお付き合いのあった、頼錦桐様が、昨年12月27日病により享年70才にて、帰天されました。ありし日の面影を偲び、ここに慎んでご冥福をお祈りしたいと思います。



CLUB OFFICE
京都YMCA青少年センター
京都市上京区烏丸今出川下ル
☎(075)432-3191 〒602

THE Y'S MEN'S CLUB OF KYOTO PALACE

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

3 '94

Bulletin

1994.3.1発行
第24巻第9号通巻274号
CHARTERED 1971

クラブ標語 “楽しもうワイズを” —良き未来の為に今日一日の充実を—

国際標語 “IN SHARING WE HAVE FOREVER” 『いつでも分かちあいの心を』

アジア区標語 “THINK ASIA THINK Y'SDOM” 『考えようアジアとワイズ』

日本区標語 “CREATE A NEW AGE” 『創造しよう新時代』

京滋部標語 “WE Y'SDOM AIM GROWTH WITH YMCA” 『翔ばたけワイズYMCAと共に』

心を求めて例会に至り 境地を得て例会を去る



聖句 あらゆる貪欲に対してよくよく警戒しなさい。
たとえたくさんの物を持っていたても、人のいのちは、持ち物にはよらないのである。

プレッシャーをバネに

岡本和彦

舟は水の抵抗があるから浮くし前へ進む。飛行機も空気の抵抗があるから飛ぶ。ところが潮の流れが速かったり、正面からジェット気流が吹いていたりすると舟や飛行機の運行にはかなり力が必要ことになる。我々の日々の生活における各種のプレッシャーも似たようなもので、適当にプレッシャーがあった方がやりがいが出てくるのだが、あまり強すぎると力負けしてしまう。いつもそこそこのプレッシャーが働いてくれると有り難いのだが、世の中そう簡単にはいかない。ままならないのが人生だ。下手をすると連続して大きなプレッシャーに立ち向かわなければならない。したがって、いやだといっているでも始まらないわけだから我々はこのやっかいなプレッシャーと上手につき合い、時には乗り越えていかねばならない。私自身も大なり小なりプレッシャーを経験し今日に至っているわけだが、このやっかいなものと一緒にやでもつき合うということになれば、日ごろから修練しておくしか仕方がない。楚々と吹く風音におどろいて逃

げだす平家の武士であってもならないし、頭上に爆弾が落ちて来るのに安穩にかまえているのもいただけない。

そこでパレスクラブの出番である。クラブライフにおいても大なり小なりプレッシャーを感じる事が多々ある。会長はもとより三役、事業委員長それぞれの立場でプレッシャーを感じるだろうし、又メンバースピーチ等人前でスピーチすることはその最たるものである。しかしこれらプレッシャーを感じながらの様々なトレーニングは、すなわちパレスクラブがクラブの在り方について定義づけた言葉に「親睦の内に素晴らしい人間を創るための愛に基づく自己研贔の場」というすばらしい言葉があるが、正に愛に基づく自己研贔の中で、プレッシャーに負けない複雑な人間関係に対応できる力と、社会生活におけるリーダーシップの必要性を学ぶのである。

かくしてプレッシャーは、いつの間にか自分のバネとなって行くのだと思う。

【強調月間】 L T

会 長 高橋 卓也
副 会 長 高岡 昇
" 西枝 攻
書 記 堤 雄次
" 為国 光俊
会 計 井上 均
" 佐藤 好久

例 会 出 席		B F ポ イ ン ト		ニ コ ニ コ	フ ァ ン ド
2月第1例会	35名	切 手	0pt	2月第1例会	14,000円
2月第2例会	38名	累 計	0pt	2月第2例会	20,500円
在 籍 者 数	47名	現 金	51,750円	累 計	374,166円
出 席 率	85.1%	累 計	51,750円	累 計	1,136,828円

➤ 出席第一・時間厳守・親 睦・奉 仕・古切手蒐集 <

2月第一例会報告 ー第551回ー

日時 2月9日(木) PM 7:00

場所 ブライトンホテル

三原 隆 記

立春とは名ばかりで寒さ厳しい2月の第1例会。

本日はタイムオブファースト。これは何かとたずねたらベンベン、断食の日なのであります。今日はハラヘリハラハラを辛抱してこの食費を恵まれない人達に…と言う趣旨であります、何故かサンドウィッチが目の前にあるのです。皆様お仕事の帰りでお疲れでしょう、空腹では例会にも身が入らないでしょうと言う温かい親心ではありますが、ワイズのメンバーのみならず、日本全国飽食の昨今、あちこちのパーティーでの食べ残しでホテルのごみ箱の中身は我家の食事より豪華とか…。又給食の食べ残しetc 残飯がどっさり、他国に餓死している人がいる事を思えば1日ぐらい本当の意味でのタイムオブファーストがあってもじっと我慢の子でいます。

京都キャピタルクラブが設立10周年記念例会とあわせて、新しくチャーターするトップスワイズメンズクラブの設立総会が3月20日に行われますよ〜とアピールがあった後、新メンバー(布施君、井上君、瀬川君)の個性ある楽しい名スピーチにビックリしたなァもウ。場慣れしているというか、堂々たるもので、初対面の諸先輩の前で、持時間を大幅に延長し、ドライバーから時間厳守!!の忠告があるくらいの熱弁でどうにも止まらない。

私事で恐縮ですが、初スピーチの時なんぞ、気が小さいというか、口下手というか、何を喋っていいのかわからず、持時間が余ってどうしようかと困った事が昨日の事のように、たのもしいメンバーの出現でパレスクラブも安泰です、がんばって下さい。最後の締めでは西枝君から弁護士として今年の職業的な見地から経済予測などを伺い勉強させて頂きました。早くこの不景気から脱出したいものです。



布施 君



井上 君



瀬川 君



西枝 君

2月第二例会報告 ー第552回ー

日時 2月23日(木) PM 7:00

場所 ブライトンホテル

小桜武彦 記

次第に艶の出で来た会長挨拶だが今夜の切出しは前夜のリレハンメル、惜しくも金を逸したスキージャンプ団体競技の感想から始まり「残り4ヶ月間失速しないよう頑張るツモりでいます、会員諸兄の絶大なるご協力を宜敷くお願いします、……」といつも乍らメリハリのある口調で開会の挨拶があった。

祝部主事の食前の感想の祈祷で楽しい会食がはじまり、司会の杉本泰造君のコメント付紹介で各諸報告のあと今夜のゲストスピーカーの紹介がドライバー委員長鈴木俊一君からあり、神戸ポートワイズメンズクラブのメンバーで神戸刑務所刑務官 奥野哲也氏のスピーチが始まった。約1200人収容の同刑務所でサイコソジカルアナライザーをされている氏は入所時の面接から収容者の悩みの相談等精神面のアドバイスから出所後の身の処し方迄様々な面から受刑者をサポートされている様子が伺えた。やはり土地柄? 某組関係者(隣組ではない)が多く窃盗、覚醒剤関係の事犯が半数以上を占めるという。

レポート犯も多く33回目という人もおり、年齢的にも79歳という高齢者もおられ、高齢者(60歳以上)と若年者との服役中や出所後の不安等の調査でも健康や仕事、経済面や家族との関係で差があることが分かり対処の仕方にも色々苦労のあることが察しられた。

悩みや苦労を簡単に抜け出そう、解決しようとして犯罪に走るか逆に内向的に陥ってしまうかであるが我々一般人はその狭間で試練に耐え、鍛えられていくのだという氏の言葉が印象的であった。世の為人の為貴重な仕事をされている奥野氏であるが決して氏の世話になんたではないものだ、とは司会者の言葉である。

ハッピーバースデー、ハッピーアニバーサリーがあったがメネットは全員欠席という寂しいアニバーサリーであった。メンバーの欠席も目立ち滅多に聞けない珍しい話だけに誠に残念であった。



京滋部EMC研修会 (今後のワイズを考える)

杉本泰造記

今期京滋部キャビネットの皆さんが、辻部長の基、活発にワイズ活動に取り組んでおられ、期待が大きく成っております。その中で、林EMC主査の京滋部メンバーに対する願いが、EMC研修会と云う形で持たれました。酷寒と云うべき非常に寒い1月30日(日)に、YMCA三条本館マナホールにて約100名の出席者を見て開会されました。

出席義務者は、会長、次期会長、次々期会長、三役、EMC委員長、そして自からが学びたいと願うワイズメンであります。パネラーのメンバーも今日の京滋部を築いてこられた面々。

- 前期日本区EMC事業主任藤原建治ワイズ(京都クラブ)の「日本区に於ける京滋部について」
- 元京都YMCA総主事高谷泰市氏(京都パレス)の「YMCAから見たワイズとワイズメンへの提言」
- 元日本区EMC事業主任大野嘉宏ワイズ(京都パレス)の「ワイズメンの有るべき資質とは」
- 次期日本区理事岡本尚男ワイズ(京都キャピタル)の「日本区から京滋部に期待するもの」

が各々の発題であります。

そして来賓の次期西副区理事坂本忠幸ワイズ(和歌山紀の川クラブ)のスピーチが有り、続いて藤原ワイズから日本区には20名以下のクラブが35もあり、仲よしクラブに成ってはクラブが衰退する、クラブは20名以上を持って活動する事が大切と——。高谷さんは社会的変化の中でワイズをどのように捉え、将来の展望をしっかりとしなければならぬ、又神から与えられた命を自己だけに終らず、他者にも与えたいと——。大野ワイズはアメリカワイズの衰退を見て、ワイズでは個人のスーパースターを作ってはいけぬ、誰もがリーダーに成れるように為らねばならないと——、岡本ワイズは今京滋部



に於いては、今迄我々が信奉し、金科玉条にしていた小堀理論から一歩進んで、ウェルネス論を加えた新しい京滋部の理念を持たねばならない、そしてワイズ大学の設立を将来のビジョンとして考えようと、それぞれ提言されました。

これらの提言をクラブに持ち帰り、EMCアワーの中で全メンバーに詳しく伝える事が今回部の方針であります。クラブ代表の出席者の皆さんは、しっかりと頭の中に入れられたことと思います。パレスクラブでは早速に、3月第1例会でEMCアワーを持ち、全員が学ぶ機会を持つ事が出来ました。これも会長始め、ドライバー委員長、EMC委員長の三者が、メンバーの資質向上、クラブ活性化の為に前向にとらえた結果であり、タイムリーな例会を持てた事は、各々の「こだわり」の無いリーダーシップから生まれた。

出席者「高橋、永井、井上均、西川、杉本」

コラム「一の裏は六」

“アジアYMCAリエゾン”についてお話ししましょう。

この役は、ワイズのアジア事業主任として、アジアYMCAとの橋渡し役(連絡係)を主な仕事としています。

国際レベルでも、ワイズメンのリエゾン役があり、世界YMCA同盟の会合に、目下、元国際会長をしたジョー・アンダーソン氏が参加しています。一方、世界YMCA同盟からも、ワイズの国際役員会などに、リエゾン役が参加しています。

国際ワイズと世界YMCA同盟の間には、“協力関係の原則”が調印されており、ワイズとYMCAの密接な関係を表しています。

私の今のお役目は、このアジア版の役割割りです。

あまりたいしたことは何もしていませんが、毎年3月にYMCAのアジア同盟の常動委員会が香港で開か

れます。

この会合に参加して、ワイズメン活動をPRし、殊にワイズのタイム・オブ・ファーストの事業資金をアジアのYMCAが、もっと活用してくれるようアピールすることです。なぜなら、このアジアYMCA同盟には、目下、アジア太平洋の国々、20ヶ国が参加していますが、この中で、ワイズのある国は12ヶ国にしかすぎません。しかも、すべての国々でワイズ活動が活発であるわけでもありません。アジアの中で、日本ほどYMCAとワイズの関係がしっくりいっている国もあまりありません。またアジアで、ワイズの活動がこれだけ盛んな国もそう多くありません。この点は日本のワイズは誇りにしてよいでしょう。

アジアYMCAリエゾン

谷川 寛

(大阪センティニアルクラブ)

京都YMCA創立91周年記念 会員集会

井 上 均 記

2月12日(土) 京都市内は低気圧の影響で大混乱、町中真っ白。足元の悪い中、YMCA会員が集い(出席者122名)、新しく変わった私学会館の会場にて京都YMCA創立91周年記念会員集会が開かれた。

第1部 記念礼拝 同志社大学神学部教授、深田未来生先生の「夢を食い 夢を耕す」説得力と迫力のある話し方でお説教に聞き入ってしまいました。後に、湯浅八郎先生の「青年に幻を老人に夢を」の言葉を思い出しました。

第2部 フェローシップアワー 食事を終えた後、創立90周年記念事業報告の中で、我がパレスクラブの永井君が撮影された約26時間にも及ぶビデオを25分に編集され報告されました。記念募金報告では、1640万円余りが集まり、後、約束手形分200万円

(Mクラブ)が有るそうです、記念募金の内約1000万円をインドランチYMCAの職業訓練センター建設の為に献金されました。又、今年1月にインドランチYMCA25周年記念式典に行き来られた高谷前総主事からもビデオにてインドの色々な民族による民族舞踊や式典の様子が報告されました。

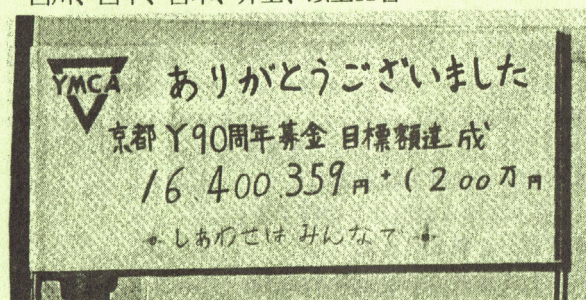
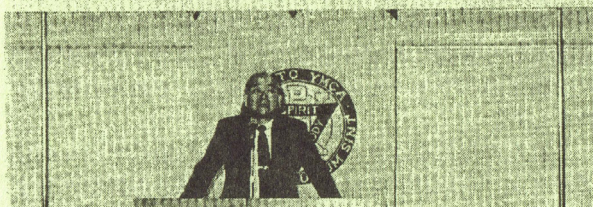
第3部 京都YMCA3ヶ年計画について 各委員長から数分ずつ発表されたが、最後に時間が足りなくなった事も考えられるが、もう少し時間を掛けて、質疑の時間も取って欲しかった。

最後に実行委員会の皆様のご苦勞に感謝いたします。

出席者

大野、小桜、杉本、鈴木、高岡、高橋、永井、西枝、西川、西中、宮本、井上、以上12名

京都YMCA創立91周年記念会員集会



こんにちは京都YMCAです



パレスワイズメンズクラブの皆様はじめまして。

昨年の4月に入職して1年目、伏見桃山センターで、お仕事をさせていただいております。

伏見桃山センターでは、小学生から高校生までの進学ゼミ、英会話教室、テーブルライブラリーをはじめとする奉仕活動プログラム、書道や日本画などの生涯学習プログラム、そして、小学生から中高生までの野外活動クラブと、実に多種多様なプログラムが行われております。その為、伏見桃山センターには、小学生からご年輩の方までが、常に出入りしておられ賑やかで楽しく、また、毎

伏見桃山センター 重野智子

日が新しい発見の連続です。

パレスワイズメンズクラブの皆様と直接お会いできる機会はなかなか無いのですが、ワイズメンズクラブという形を通してYMCAと関わって下さっている方々には様々な職種、そして幅広い年齢層の方がおられ、そのような方々とお会いする機会を持つことができることが、YMCAという職場の大きな魅力の1つであると思います。そして、ワイズメンズクラブの方々が、お忙しいお仕事の合間をぬって様々な活動に参加しておられるのを拝見する度、職業を持つようになり「疲れた」とか、「忙しい」とか言い訳してしまいがちな自分を反省し、まだまだ何かができるのではないかと、何かをしなくてはならない、と元気を与えていただいております。

お近くまでお越しの際は是非お立寄り下さい。

3月第二例会ゲストスピーカーのご案内

スピーカー 清水武彦氏
京都産業会館専務理事。京都YMCA常議員。
シャーロック・ホームズ研究会々員。
京都大学経済学部卒。
卓話 「シャーロック・ホームズの世界」

▼コナン Doyle の名著「シャーロック・ホームズ」は、今も世界のベストセラーです。様々のトリックや、謎を解く名探偵シャーロックのお話は、私達を推理の世界へ誘います。清水様はシャーロック・ホームズの事務所のあるロンドンの地理は隅から隅迄分る、シャーロック・ホームズの研究家では日本の第一人者です。メンバー諸君! お楽しみに。

1/60 の判断

永井 孝

春はセンバツからとは、うまいキャッチ・フリーズでそこから確かに春が本格化するように思えます。それを考える立場の人は、そのような良いキャッチ・フリーズが関かないので大体が困ることになるのです。

野球を見るには楽しいゲームで評論家になればそれも倍増します。しかし、自分がゲームに参加するとなると思うようにはいきません。チャンスにバッターボックスに立てば三振を恐れ、マウンドに立てばホームランを打たれることを恐れて自らピンチを招き崩れていきます。これを防ぎ勝者になるには、日々の練習による技術・体力の向上が最も必要ですが、それ以外にもいくつか大切な事があるようです。精神力の強化と様々な努力、そしてその結果から来る自信等です。ただ単に自信を持つだけでは駄目で試合に臨み良い結果を頭に描写して、その

留学生対象バザー開催へのアピール

CS委員長 安岡 忠 男

日本の京都で学びたいと世界のたくさんの留学生が日々勉学に励んでおります。私達も国際的奉仕団体の一員としてさまざまな社会奉仕活動を行っています。その一環として留学生の日常生活を援助する為、日用品を対象としたバザーを昨年に引き続き今年も行なわれます。

平成6年4月29日(祭) 京都YMCA青少年センター地階ホール(烏丸通り今出川下る)で開催されます。

1月にプロジェクト・チームの編成を行い、バザーに

良い結果を反復し、増幅しながらゲームを進めること、それがピンチをチャンスに変え試合を有利に進める事が出来る方法です。

ゲームを人生の縮図と考えるのなら、良い結果をイメージしながら反復し、増幅して日々暮らすことが将来を明るくすることでしょう。チャンスとピンチは相反する言葉ではあるけれど発想の転換によりピンチをチャンスに変えることは可能です。

ひと月30日の総時間は720時間あり、その中でクラブに使っている時間は例会2回×2の4時間・委員会1回×2の2時間合計6時間。もっと色々頑張っている人がいて倍の12時間使っていても60分の1をクラブに使っているにすぎないのです。このことを自分はクラブに時間を割きすぎていると考えるのか、まだまだこの素晴らしい人達との関わりの時間を持つことが出来るかと考えるのかは、その人の将来をも左右する大事な判断となることでしょう。

向けてのPTの活動を開始いたしました。クラブのメイン事業の1つとして是が非でも成功させたい思いでCS委員会も頑張っております。それにつきましてはメンバーの皆様の積極的な参加と御協力をお願いせずにはおられません。当日出展します日常生活に関する生活必需品を1人最低30点~40点をお願いします。御本人も含めて友人、知人から品物を集めて頂く事をお願いします。

そして開催当日は準備、販売にメンはじめメネット、コメットも参加して留学生の皆さんと触れてみませんか。重ねて御協力の様宜敷くお願い致します。

京都YMCA 野村主事送別感謝会

西 中 日 向 記

冬の真ただ中、小雪の散らつく2月26日(土)、京都YMCA野村主事の送別感謝会がWITH YOUにて行われた。プログラムは第1部礼拝、第2部では野村主事の足跡をスライドで紹介されたが、優しい人柄がにじみ出ていた様に思われた。(女性にもてた様である。)

高谷泰市京都YMCA前総主事の贈る言葉では、職を共にされ、YMCA70周年記念誌では大活躍され、三条本館の新築に対して骨をおられたとのことであった。

大勢の人達の贈る言葉の中でのエピソードで特に、野村主事は穏やかな人であるが眉をみればひと目でその日

の調子が判るということをやYMCAの職員のかたが教えてくれたと話された(気謙の悪い日は眉がつり上がっている。)ということばが心に残った。

この25年間の在職中は、本部総務、会員、生涯学習部門等の責任者として多大な貢献をされ、退職後は、私立滋賀文化短期大学人間福祉学科助教授として、3月から新らしく出発されます。今後益々の、活躍を期待しております。感謝会の最後は、琵琶湖周航の歌を全員で合唱してお開きになった。

参加者 西川 宮本、西中



向日中西・池田田中・土井口谷・西川 一宮中田・長岡愛理 大津泰子・長岡愛子・西川

役員会報告

第1号議案 次期事業委員長の件

Yサ・ASF委員長	小桜 武彦君
CS委員長	佐藤 制三君
EMC委員長	西川 寿一君
IBC・YEEP委員長	川上 孝司君
BF委員長	野崎ひろ恵君
ブリテン委員長	田中 慎一君
ドライバー委員長	高岡 昇君
ファンド委員長	荒川 徹君
連絡主事	祝部 康二君
	承認

第2号議案 臨時総会の件

3月第一例会にて開催 承認

第3号議案 YMC Aリーダー卒業記念アルバム代寄贈の件

50,000円を第二例会にて寄贈 承認

第4号議案 4月花見例会会費予算の件

承認

3月スケジュール

役員会	3月2日(水)	ブライトンホテル
第1例会	3月9日(水)	ブライトンホテル
第2例会	3月23日(水)	ブライトンホテル

1993年～1994年第2回京滋部評議会

杉本 泰造

2月には珍らしく暖かな2月20日(日)に、第2回京滋部評議会が、三条本館マナホールで開会されました。

出席義務者は、主査、会長、代議員であります。辻部長挨拶、川戸書記の進行により、前期事業報告、中間会計報告がされ支障無く承認されました。しかし次々期京滋部々長選出について、本来滋賀地域から選出されるのが順序で、長浜クラブが指名クラブと成るのですが、クラブの体制が整っていないと云う事で、辞退の意志が固く、又滋賀地域の他のクラブも引き受けられないとの事で、結局3年続いて京都地域から部長を選出する議案が承認されましたが、問題は巨大化した京滋部の代表となる、部長及び排出クラブの負担の大きさが原因であるとするれば、早く部の分割を考えて、部長及びクラブの負担が少くなる体制に持って行くべき時が今来ていると思います。

又ファンド事業に於いても、問題点が色々提議され、実りの内に評議会を終えました。

出席者「高橋、永井、杉本」

メンバーあれこれ

我がパレスクラブのハッスルマン、山岸弘侍君が間もなくおじいさんになられます。おじいさんになる予定日は5月だそうですが、最近の医学の進歩ですでに女の赤ちゃんとわかっているそうです。一寸残念がっておりますが、元気な赤ちゃんが一番ですね！

おじいさんになっても、ますますハッスルして下さい。

—6—

ブリテン委員長／高倉孝次 副委員長／田中慎一 委員／谷口武士・津田知宏・西中日向

Happy Birthday

谷口 武士君	1937年3月10日
采野 弘和君	1934年3月11日
西中 日向君	1940年3月13日
鈴木 俊一君	1938年3月17日

Happy Anniversary

村田 吉弘・京子 夫妻	1981年3月12日
川上 孝司・ひで子夫妻	1976年3月13日
高橋 卓也・妙子 夫妻	1974年3月15日
井上 均・有子 夫妻	1976年3月22日
今井 亮・恵子 夫妻	1974年3月23日
篠原 孝弘・友子 夫妻	1978年3月25日

YMCAだより

1. 1993年度 少年リーダー卒業祝会のお知らせ

今年の春も、貴い働きを捧げてくれたリーダー達が巣立ちます。彼らの情熱ある働きに感謝するとともに、卒業を祝う、少年リーダー卒業祝会を開きます。

奉仕の時をともにしていただいたワイズメンズのみなさまにもぜひご出席いただき、思い出の一ページに花を添えていただきたく、ご案内いたします。

日時 3月8日(火) 午後5時30分～8時

会場 同志社新島会館礼拝堂および大研修室

お問い合わせ：ウエルネスセンター今出川

(075-441-2773)

2. 春のウエルネススクール

ほんのり暖かな陽のなかで、新しいお友達と一緒に、元気な心と身体をつくる楽しいときを過ごしませんか。わくわくワールド

対象 新年長児

期間 3月25日(金)～29日(火) 10:00～15:00

費用 32,000円

わんぱくキッズクラブ

対象 新小学1年生～6年生

期間 3月25日(金)～29日(火) 8:30～16:30

費用 37,000円

●場所はいずれも京都YMCAウエルネスセンター三条です。

詳しくは075-255-4709まで。

編集雑記

梅の便りが聞こえる今日この頃。卓ちゃん丸の航海もあと4ヶ月を残すのみとなりました。次期三役及び次期事業委員長も決まり、あとは港に向かってよっぱらい運転をしないで、頑張っの帰港ですね！。今月の強調月間は「リーダーシップ トレーニング」ですが、高橋会長には、社会におけるリーダーとして、又、ワイズにおけるリーダーとして、ますます磨きがかかってきたように思える今日この頃です。



CLUB OFFICE
京都YMCA青少年センター
京都市上京区烏丸今出川下ル
☎(075)432-3191 〒602

THE Y'S MEN'S CLUB OF KYOTO PALACE

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

4 '94

Bulletin

1994.4.1発行
第24巻第10号通巻275号

“TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT”

CHARTERED 1971

クラブ標語 “楽しもうワイズを” —良き未来の為に今日一日の充実を—

国際標語 “IN SHARING WE HAVE FOREVER” 『いつでも分かちあいの心を』

アジア区標語 “THINK ASIA THINK Y'SDOM” 『考えようアジアとワイズ』

日本区標語 “CREATE A NEW AGE” 『創造しよう新時代』

京滋部標語 “WE Y'SDOM AIM GROWTH WITH YMCA” 『翔ばたけワイズYMCAと共に』

心を求めて例会に至り 境地を得て例会を去る



聖句

「体の健康にまさる富はなく心の喜びにまさる楽しみもない。」

シラ書 30章16節

笑うかどにウェルネス!!

篠原孝弘

スプリング、ハズ、カム、(春がついにやって来た) 皆さん花見の季節ですよ。ポカポカ陽気に誘われて、日頃から体力づくりに、健康の為にとスポーツ等に精を出しているワイズ諸君、季節到来とばかりに急に激しい運動を始めてはダメですよ。体はまだまだ冬のままなので、すから自分のペースを守って下さいね! 皆さんも、新聞やテレビを通して多勢の人が病気や事故の後遺症で苦しんでおられる事をご存知の事と思います。それらの人のほとんどが、自分は気を付けている。自信がある、自分だけは大丈夫と思っておられたはずですよ。でも事故が起ってからでは、病気になってからでは遅いのです。現在医療の現場でも、予防医学の分野に大きな力を注ぐようになって来ています。にもかかわらず事故や病気の数が増えているのです。人間ドックや健康診断を受ける人が増えているにもかかわらずにです。その理由は簡単です。あの悪名高き「ストレス」です。大きな意味でこの

ストレスが、あらゆる事故、病気の原因にからまってきているのです。多少のストレスやプレッシャーがある事で、物事に張り合いを感じる事が出来るのだと考える人もおられるでしょう、私もその通りだと思います、でもそれらはどこかで発散させておきたいものです。Y'Sの例会に出席中のメンバーは笑顔でハツラツとしています、仕事はどうでしょう、つい夢中になって無理をしていませんか、例会の時のようにゆったりとリラックスしていますか、大学病院等での実験でも、ストレスをかけられたモルモットの方が必ず悪くなっています。そこで私から一番簡単な健康法を提案します。それは笑う事です。全身の力を抜いて笑う事です。いまさらそんなわかりきった事をなんて思うあなた、危険信号ですよ。そんな時こそ例会に出席して下さい、メンバーの笑顔がいつもあなたを迎えてくれますよ。ゆっくりゆったり、リラックス、笑うかどにウェルネス来たる。

【強調月間】 ウェルネス

会 長 高橋 卓也
副 会 長 高岡 昇
書 記 西枝 攻
“ 堤 雄次
“ 為国 光俊
会 計 井上 均
“ 佐藤 好久

例 会 出 席		B F ポ イ ン ト		ニ コ ニ コ		フ ァ ン ド	
3月第1例会	39名	切 手	32,720pt	3月第1例会	17,000円	3 月	0円
3月第2例会	34名	累 計	32,720pt	3月第2例会	13,000円		
在 籍 者 数	47名	現 金	56,750円				
出 席 率	89.4%	累 計	89,470円	累 計	404,166円	累 計	1,136,828円

➤ 出席第一・時間厳守・親 睦・奉 仕・古切手蒐集 <

3月第一例会報告 ー第553回ー

日時 3月9日(木) PM 7:00

場所 ブライトンホテル

荒川 徹 記

本日の例会は、次期日本区理事を務められる岡本尚男様をメインスピーカーに、又、ゲストには久しぶりに元パレスの林様をお迎えして、EMCアワーを持ちました。

又、本年度のIBCの交流メンバーとして、佐藤制三君と川上君に交流費の贈呈が行なわれました。

さて、キャピタルの岡本様のスピーチですが、私の様な青二才が言うのは、恐縮ですが、日本区理事をなされる姿勢、物の考え方には、感動させて頂きました。

岡本様の話の内容を少し紹介させて頂きます。第六代パレスの会長をされた時の経験談の中で、クラブ運営に取ってガンは数多く有る。“例会に出ない、遅刻する、ブリテンを読み書きしない、グチが多い、メンバーの増強をしない、総会においてケチをつける、会費納入しない”等々誰も胸に手をあてれば、思い当たる事が数多くあります。一人は皆んなの為に存在し、自分の人生を他人に投影していかなければならないと言われました。会社経営に例えられ、こういった社員が多ければ、こういった経営者であればとも言われました。トップに立つ人は仕える人、下僕である、ギブアンドテイクではなしに、ギブアンドギブンでなければならぬ。人間は、私の動物です。日々自分以外の人間を、受け入れる努力を難しいけれども“する必要”があると思います。

又、入会時の宣誓で、“理想主義者でなければならぬ”とあります。理想主義者というのは、夢見る乙女では無く、自らが、目標を設定し、目標に向かって行動するという事です。そこには謙虚さがあり、自らの喜びと他人の喜びがある。そして、人に良い影響を与える、そしてステキなクラブになる。素直で、明るく、元気に生きて行こうと言われました。何かトラブルが起こっている時というのは、人間へんな考え方をしているものです。私も、素直で、明るく、元気で忘れずに、ガンバッテやっていきます。岡本様のスピーチを自分なりに解釈しましたので、お話しされた内容とは、少し違ったかも知れませんが、お許し下さい。次期日本区理事の御活躍と又、スピーチを聞かせて頂く機会を楽しみにしています。



3月第二例会報告 ー第554回ー

日時 3月23日(木) PM 7:00

場所 ブライトンホテル

井上 彰 記



ゲストスピーカーとして、京都産業会館理事、京都YMCA常議員の清水武彦氏をお迎えしました。

私自身読書にあまり興味がなく「シャーロックホームズの世界」の卓話になにも予備知識なしで例会に出席しました。この小説、今から100年ぐらい昔のロンドンを舞台にコナンドイルと言う作家が創りだした人物とか？

相棒の医師ワトソン博士とともにロンドンのベイカー街221番地Bのハドソン婦人の家に下宿しビクトリア朝後期の英国で世界初の私的諮問探偵として活躍し、読み切り捕り物帖形式での探偵小説の元素となりました。当時英国ではすぐれたストーリーで始めて科学的探偵術をもち、色々なトリックがあったこの小説を蒸気による大量輸送、情報(新聞、雑誌)が中産階級にも出まわって鉄道通勤の中で読まれ爆発的に広まっていったそうです。

全60篇の物語のうち長篇は4篇、短篇は56篇で総称してシャーロック、ホームズ物語として世界の56ヶ国の言葉でも楽しまれ聖書に次ぐベストセラーと言われるようになっていきます。ホームズの熱烈なファン、研究者をシャーロッキアンとよんで約400ものクラブを世界中に結成したそうです。このようなシャーロックホームズの説明を聞いた後スライドにより当時のロンドンの街のようす、下宿を再現した所、小説の舞台となったパブ、レストラン等楽しく拝見させていただきました。

現在でもロンドンのシャーロックホームズが住んでいたベイカー街221番地Bに手紙を書いて送ると「ホームズは実在の人物ではございませんので御返事を書くことが出来ません」と言う返事が返ってくるそうです。この事からもシャーロックホームズの偉大さ英国人のユーモアの一切を見るような思いがしました。そんな楽しいお話を聞いている内に時間がとても短く感じられこの機会に読書でもしてみようかなどと思いながら例会を終えました。



京都キャピタルクラブ10周年記念例会

西川 寿一 記



春の訪れが日一日と感じられる3月20日(祝)京都パークホテルに於て、京都キャピタルクラブの10周年記念例会が京都YMCA総主事酒井善弘様を初め、日本区理事熊谷正弘兄、その他多くの日本区役員そして、海外からIBCの釜山ベゼルクラブから16名のメン・メネットを混じえ、総勢約250名のワイズメン・メネットの参加のもとで盛大に行なわれた。当日は10周年の記念式典と同時にキャピタルクラブの第2番目の子クラブとして京都トップスクラブの設立記念式典と、東京クラブとの国内BC締結式の3つの慶事が多くのメンバーの祝福のもとに行なわれた。

記念式典では京滋部ではおなじみの元気はつらつ大阪クラブ岩越重雄様の聖書朗読、祈祷があり、来賓祝辞の後日本区直前理事の森田恵三兄より、アニバーサリーメッセージとして、“自他とワイズ” わが人生訓に照らしてと題して心のこもった大変感銘深いメッセージを聞かせていただいた。その後記念エクステンションとして若さに満ち溢れた京都トップスクラブの設立報告と23名のメ

ンバー紹介、小仲善朗会長の決意表明があり、会場から大きな拍手が送られた。続いて本日3つ目の慶事として東京クラブとの国内BC締結式が行なわれ、若輩の京都のクラブと格調高い東京のクラブとの今後の関わりが大いにワイズの発展に寄与される事と思います。記念式典の後懇親宴に移りいちひめ雅楽会による舞楽“蘭陵王”の舞がありおめでたい席により一層花を添えた。辻健太郎京滋部長の乾杯で食事が始まり、なごやかな内に約3時間余りに亘る祝宴も最後に実行委員長光嶋洋一兄の謝辞があり、盛大な記念例会が幕を閉じられた。

この記念例会に参加して感じた事、本日の10周年記念式典を含めた3つの慶事、そして次期には日本区理事として岡本尚男兄を輩出するホームクラブとして、現在キャピタルクラブはものすごいエネルギーが満ち溢れている。その源はなんだろう、きっと何人かの仕掛人がその中にいる様な気がする、その人達を中心にクラブメンバー全員が大きな波にのってうねりとしてクラブが動いている。10年にして今キャピタルクラブは見事な大輪の花をしっかりと開花させている。誠に見事であり大きな讃美を送りたい。今後の増々の活躍を祈っております。

参加者 高橋、高岡、山田(博)、大野、西川



コラ△「一の裏は六」

クラブにとってのブリテン

全国の約半数のクラブから私のところへブリテンが送られてきます。そのなかで毎月楽しく、また興味深くパレスクラブのブリテンを拝見させてもらっています。

その理由は、部長からの部報告、日本区からの区報、理事通信の再掲載がないこと。例会報告が写真も入れて、欠席した人にも良く内容が分るように報告されていて、欠席して残念だ、来月は必ず出席しよう決心させる内容になっていること。巻頭言、新人紹介、YMCAスタッフのコラム、メンバーの発言がその人となり、良く出ていて、楽しい読み物になっていることでしょう。

ブリテンの隅から隅まで読んでしまうのです。たくさん他のクラブからのブリテンが溜っていても、読んでしまいます。クラブに所属していない私が読んでしまうのですから、パレスクラブのメンバーであれば、毎月のブリテンが待ちどうしいでしょうね。

クラブにとって、ブリテンはどんな役割があるのでしょうか。

1) クラブの公式記録である。したがって、例会、委員会、行事等の正確な報告書であること。これは日本区も利用しています。出席者数、出席率、BFポイントなど、CS事業の業績評価にも使われています。

2) クラブの情報交換の機関である。特にメンバー数が増えてくると、各メンバー同士のコミュニケーションが薄くなり、意思の疎通が難しくなります。各委員会の委員同士のコミュニケーションは良くなりますが、委員会の内容は他のメンバーに伝わりにくくなります。そこでブリテンがそれらの情報の交換の場になり、個々人の情報発信基地にもなり、それに対して回答、反論が出れば素晴らしい情報の交換がなされます。

3) クラブメンバー同士の交わりの場です。あの人はそう考えていたのかと、交わりのきっかけを作ります。

新人紹介はその役目が特にあるのでしょうか。

日本区文献委員長 村野 繁(東京目黒クラブ)

京都YMCA少年リーダー卒業祝会

佐藤 制三 記

3月8日本年度の少年リーダーの卒業祝いの第一回は礼拝式で始まり、酒井総主事の「リーダー経験を人生の原点にして自己の確立を計って下さい」との挨拶の後にも祈禱と賛美歌の斉唱で厳かな第一部は終わり。第二回はYMCAの歌の後、前田副理事が「YMCAの役目は若いリーダーを育てる事でその育ったリーダーが本日新たに社会へ出ていこうとしている」との挨拶ののち在校生リーダーの手作りの懐かしいスライドを写しながら解説を交えそれぞれの卒業リーダーを、バタバタ型、温かい心を持ったロマンチック型、夜中何時までも頑張り型などと面白おかしく紹介して行き、えー ウッソー、と意外だったり。拍手喝采で皆の一致を見たりと、賑やかに明るく時の経つのを忘れる見事な演出でした。

そして在校生代表の送辞、YMCAでの貴重な体験を社会生活に役立てて下さい、に卒業生代表の、リーダー活動で学んだ事を踏まえてこれからの一步を踏み出した

い、との答辞で式は終わり卒業生は皆の温かい拍手に見送られ退場して行き、その後も其処ここで名残惜しそうに語り合う姿が印象的でした。

世間では最近の若者を「しらけ世代」「指示待ち族」だとか言っているが、ここに無償奉仕に喜びを見出し、集いの演出を手作りする若い人達を目にして清々しく頼もしいと思う事が出来たのが大きな収穫でした。



こんにちは京都YMCAです



す。

一人芝居「冬の銀河」は、原作「冬の銀河」（不知火書房）をもとに作られたものです。これは血友病治療の血液製剤からエイズに感染した草伏村生氏（ペンネーム）が国などに損害賠償を求めて起こした訴訟文に手を加え出版されたものです。自身の生い立ちや感染後の不安や

パレスワイズメンズクラブの皆様こんにちは。2月7日に伏見桃山センター、キャピタル、エイブル両ワイズの共催による一人芝居「冬の銀河」が御香宮参集館にて上演されました。今日はこの場をおかりし、報告させていただきま

青少年センター 大門 久美

怒り、生きる決意がつづられています。演者はヒゲにジープン姿の茅野明氏。一人芝居「冬の銀河」は力強く、そして静かに時を刻み、110名の参加者の心に訴えます。また、飛び入りで斎藤洋氏よりキルト運動からのアピールもあり、最後には草伏村生氏からの講演を聴くことができました。

あの時の感動は今でも私の心に深く刻まれています。茅野氏が、自分にも何かできることがと考えたように、私もこれからの歩みの中で問い続けていきたい。そして「エイズ患者と共に生きる社会」を求め、行動していきたいものです。力強く、そして静かに神様に生かされていることを感謝しつつ。「人は皆、人として生まれてきた以上、いろいろな宿命を背負って生きていく。その生命がたとえ短かろうとそれは神様から与えられるもの」

京都グローバル1周年記念例会

京都グローバルワイズメンズクラブの一周年記念例会が3月2日（水）グランドホテルにて行われた。我クラブより設立準備委員長田中勝君、チャーターナイト実行委員長杉井君と、直前会長の私が招待をされ出席した。

ブラザークラブである台湾エバーモーより会長夫妻をはじめ総勢7名が出席された。チャーターメンバーは36名であったが、メンバー候補の5名も出席され、大変活気のある例会となった。またメンバー候補の5名は近々入会をされるとのことだ。近年クラブのメンバー数が少ないところもあるが、1クラブ何名が適切な人数であるかと言うことを考えるときやはり数は力なりとなるのではないだろうか、そう考えた時グローバルクラブは立派なクラブとして育ってきたと思う。1周年の記念例会に出席させてもらい、チャーターした時に世界書記より鶴のワッペンをスポンサークラブに戴いた時に、子クラブ

西 中 日 向 記

を産むと最低2年間は親として子クラブを見まもっていかねばいけないと書いてあったことを思い出したが本当に立派に育っていることを確認出来たことがうれしく思えた。次期会長に愛知君、次々期に谷口憲一君と決り益々クラブが活気づいてくることと思う。



台中エバーグリーンを訪問して

川上孝司 記



大阪空港発21便台北行は、私達2人を乗せ、轟音と共に飛び立った。大阪を出て約2時間半、台北到着、空港には、楊清垣書記、蕭錦潭IBC委員長が私達を出迎えてくれた。今回台中エバーグリーンクラブとの親睦の為IBC委員である大野君と私が訪問した。奇妙な組み合わせのヤジキタ道中である。台北空港から高速道路を南へ約2時間、台中市の街に着いた。初めて訪れるこの街は、私の目には昭和30年代を見ている様な想いと力強さを感じた。その反面94年のハイテクビルが無造作に立ち並んでいると言ったなんとも奇妙な風景であるが、私にはとても興味があった。ホテルに着くと、江伯聰会長、林有福氏、そして陳進財氏が出迎えてくれた。その日の夕方、歓迎会が開かれた。20名余りの台中エバーグリーンのメンバーと共に出会いを喜びあい、酒を交わした。歓迎会の後、二次会の接待を受けた。(カラオケ) 3月22日午前より台湾民族村見学、京都で言えばちょうど太秦映画村と言ったところであろう。会長夫妻とクラブメンバーの案内で楽しいひとときを過ごした。その夜は、台中エ

バーグリーンクラブの3月例会に招待された。例会前の食事はいつもなら弁当程度の物が出るだけらしいが、この日は特別に私達の為に中国料理そして日本料理も用意された。そして、いつもは出ない御酒まで出された。本心に心あたたまると持てなしを受けた。例会はやはり会長の点鐘から始まる、私達が紹介され、林さんの通訳により、大野氏そして私とスピーチを行なった。その日は新会員の入会式も行なわれた。全員握手による入会式であった。その日は次期会長の選挙が行われ廖大清氏が選ばれた。例会終了後私達は近くにある茶房に招かれた。ちょっと古風な店作りで中国らしさをかもしだした雰囲気ではなかなか落ち着いた店であった。3月23日朝から林さんの案内でホテル前の市場を見学。そして次期会長、廖大清氏主催のお別れ昼食会が開かれた。あまりにも丁寧なもてなしに私達は感激し、思わず涙を流してしまった。

来年5月17日に行なわれる台中エバーグリーン20周年記念大会には、パレスワイズメンズクラブの仲間ともう一度ぜひ訪問したい。

今回高橋会長の御好意により、台中訪問をさせて戴いた事を紙面をかりて心よりありがとございましたと言いたい。



My Wellness Part 19

親子の絆

高倉孝次



前回のこのコーナーではラグビーの話を書きましたので、今回はスキーでのウェルネスにて筆をとります。

昨今、家庭内での親子のコミュニケーション不足からくる親と子供の意思の疎通がよく問題になっています。我が家は妻、息子2人、娘1人の5人家族で、血液型は全員がB型です。それ故に、長男と次男は学卒後、東京へ行ったきりで、ほとんど家には寄りつきません。(次男は昨年11月東京勤務より仙台へ転勤になりました) 娘は1年前に結婚し、現在はメネットと2人きりの寂しい生活をしております。子供が成長していく過程では、仕事の関係上、子供のことはほとんどメネットまかせで、今、仕事と時間に少々余裕ができた頃には、子供達は

皆、親ばなれをして家から出て行ってしまいました。そこで、これからでも親子の絆を求めても遅くないと思うので、嫌がる息子を口説いて、2人でスキーに行くことにしました。次男は高校はスキー部、大学ではスキー同好会に入り、スキーには相当自信を持っており、岩手県の安比高原スキー場へ2泊3日で行くことにしました。

前日から仙台へ行き、夕方息子の案内にて、仙台の歓楽街へとくり出しました。東北の魚を共にたらふく食べ、後はスナックへ。息子と夜おそく迄、酒を飲み交わしながら、親子の会話を楽しみました。

よく朝は、お互いねむい目をこらえて、息子の車にて仙台から岩手県の盛岡の北にある安比高原スキー場へと2時間半のドライブです。安比高原スキー場は、リクルートが経営母体で、さすがスキー場の広さや施設及び、ホテルのスケールは信州のスキー場とは格段の違いがあります。又、うれしい事に人は少なく、雪は極上のアスピリンスノーで、スキーの板を踏めば、クルクルと廻ってくれます。息子と2人で、山頂より5.5Kmのロングダウンヒルコースを休みなしで、(わたくしは1~2回は転けますが) 一気に滑る楽しさは格別の思いです。

スキー場での息子との3日間は、遠のいていた親子の絆を新たに結び直し、そして心と体のウェルネスを楽しむことができました。

役員会報告

第1号議案	IBC代表台湾及び韓国派遣お土産代の件	承認
第2号議案	日本区メネット会への寄付協賛の件	承認
第3号議案	京都YMCA職員を例会招待の件	承認
第4号議案	3月第一例会EMCアワーゲストスピーカーの件	承認
第5号議案	3月第二例会ゲストスピーカーの件	承認
第6号議案	瀬川勝彦君委員会配属の件	
	4月よりドライバー委員会へ配属	承認
第7号議案	井上 彰君委員会配属の件	
	4月よりCS委員会へ配属	承認

4月スケジュール

役員会	4月6日(水)	ブライトンホテル
第1例会	4月13日(水)	花見例会
第2例会	4月27日(水)	ブライトンホテル
	4月23日(土)	京滋部合同メネット会 滋賀県三井寺
	4月24日(日)	ソフトボール大会

“カントリーワイズメン”のライブを聞いて

高倉 孝次



夜まだ寒い、3月25日のPM8:00より、北山通のキンコンカンの地下にある、Seven Steps Down にて、ワイズメンのメンバーで構成する「カントリーワイズメン」のライブが催されました。ライブのメンバーは、バンドマスターでキーボード担当の大野君。ギターとヴォーカル担当の采野君。エレキギター担当の鈴木君。バンジョー担当の川上君とパレスクラブからは4名の演奏者が参加しています。他クラブでは、京都クラブの藤原さんと原田さん。キャピタルクラブの勝山さんと野原さん。計8名のメンバーで結成されています。

ワイズメン関係者の観客がポチポチ入場し始めた頃、最初のライブがはじまりました。まずは“コットンフィールド”を采野君が歌い、“モーリーダーリ”“ジャンバラヤ”と続いて、次に驚くことに川上君のバンジョーの独奏で、日本民謡の“さくらさくら”をお琴の音色で上手に奏でました。

第2部の演奏では、観客が歌わせてもらえるという事で、1番バッターにて得意の“End of the World”を恥をしのんで、歌わせてもらいました。このメンバーの演奏はすばらしく、特に我々中年族にはピッタリの曲が多くて、川口淳子君の言葉を借りれば、「素人ばくもないし、玄人ばくもない、シロクロバンド」だそうです。今後好評であれば、毎月第4金曜日に定期ライブを行う予定との事です。大野バンドマスター頑張ってください。

—6—

ブリテン委員長／高倉孝次 副委員長／田中慎一 委員／谷口武士・津田知宏・西中日向

Happy Anniversary

高倉 孝次・典子夫妻	1964年4月10日
高岡 昇・麻美子夫妻	1980年4月20日
南出 潤一・恵美子夫妻	1982年4月29日
河合 信也・美也子夫妻	1979年4月30日

YMCAだより

京都YMCA手話講座は、まったく初めての方にも親しみやすく学んでいただけることで、好評をいただいています。また、聴覚障害者をゲストに手話によるコミュニケーションも実践体験していただきます。

「手話ができればいいな」、そんなあなたの“あたたかい心”をこの講座で、ぜひかたちにしてください。

期間 朝クラス：4月13日～7月6日 毎水曜日全12回
午前10時～12時

夜クラス：4月14日～7月7日 毎木曜日全12回
午後7時～9時

場所 京都YMCA 三条本館

定員 各30名

費用 15,000円(テキスト代別)

講師 西田道子先生

(京都市認定手話通訳者、京都府手話サークル連絡会事務局長)

申込 お電話、または直接三条本館1階受付にてお申込みください。

お問い合わせ先 京都YMCA三条本館生涯学習事業部
(075-231-4388)

メンバーあれこれ

我がパレスクラブの長老、采野和弘君が3月11日で60才の還暦をむかえられました。ライブで歌を歌っている時は、どう見ても40～50才にしか見えませんね！レッドチャンチャンコとレッドパンツを身に付けてシングソングをするそうです。

編集雑記

祇園円山の桜が爛漫の今日この頃。ブリテンの発行もようやく、あと2回となりました。今回のコラム「一の裏は六」のコーナーには、日本区文献委員長の村野繁ワイズに執筆をお願いしました。村野文献委員長には、毎月パレスクラブのブリテンを目にいただき、その感想文を毎月ハガキにてブリテン委員長に送ってもらっております。ブリテン委員会では、この1枚のハガキをブリテン発行の励みとしております。

村野ワイズは、クラブにとってのブリテンとは、クラブの情報交換の機関であり、又、クラブメンバー同士の交わりの場であるとして書いておられます。

パレスクラブのメンバー間のコミュニケーションを取りもつこのブリテンに、メンバーの皆様には、再度ご理解いただき、原稿にご協力をお願い致します。(ワイズにはNOは有りませんよ！)



THE Y'S MEN'S CLUB OF KYOTO PALACE

5 '94

CLUB OFFICE

京都YMCA青少年センター
京都市上京区烏丸今出川下ル
☎(075)432-3191 〒602

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

Bulletin

1994.5.1発行
第24巻第11号通巻276号

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

CHARTERED 1971

クラブ標語 “楽しもうワイズを” —良き未来の為に今日一日の充実を—

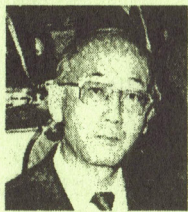
国際標語 “IN SHARING WE HAVE FOREVER” 『いつでも分かちあいの心を』

アジア区標語 “THINK ASIA THINK Y'SDOM” 『考えようアジアとワイズ』

日本区標語 “CREATE A NEW AGE” 『創造しよう新時代』

京滋部標語 “WE Y'SDOM AIM GROWTH WITH YMCA” 『翔ばたけワイズYMCAと共に』

心を求めて例会に至り 境地を得て例会を去る



聖句 主はこう云われる。知恵ある者は、その知恵を誇るな。力ある者は、その力を誇るな。富ある者は、その富を誇るな。

エレシヤ書 9 章22節

ワイズメンとキリスト

小 櫻 武 彦

ワイズメンクラブには奉仕活動を通じてYMCAの活動を支援するという大きな目的があるがYMCAはその活動の精神基盤をキリスト教に依っていることはいうまでもない。従って我々ワイズメンも間接的に或いは直接的にも好むと好まざるを問わずキリスト教に関わらざるをえないのである。

初期のワイズメンズクラブのメンバーは殆どがキリスト教徒であったし今でもそのようなクラブがあるという。

我々の奉仕活動もその基盤をキリスト教精神におく限り少しはキリストのことを知る必要があるのではないだろうか。

アメリカ、カナダ等では高くそそりたつキリスト教会がすぐ目につきキリストの像もよくみかける。ほとんどの国民は日曜日は教会へ行く日ときめ、スポーツや娯楽も制限されている州もある。カナダなどは酒類の一般販売も禁じられているという。このようにキリストは全世界の多くの人々の心の中に住み給う光である。

キリストはキリスト教徒だけのものではなく全人類の光であり宝である。「我は道なり真理なり」といっておられるとおりに人類の生活規範としての「道」であり我々にとって如何に生きるかの指標がキリストである。

「我を信ずるものは我がなす業を為さん、かつこれよりも大いなる業をなすべし、われ父に往けばなり。」(ヨハネ伝14-12) といっておられるようにキリストの信じられた如く、生き給うた如く生きるならば現代に於いても奇蹟を現すことができる筈である。

キリストの伝記と教えがとかれていた四つの福音書の中から毎月かならず聖句が各クラブのブリテンの表紙に掲載されているが、これらの聖句から少しでもキリストの精神を学ぶことができれば縁あってワイズのメンバーとなった意義がより一層深まり、人生豊かに充実したものにすることができ、奉仕活動にも一味違った面を見出すことが出来るであろう、……せっかくの聖句、もっと勉強してみては？

【強調月間】 メネット

会長 高橋 卓也
副会長 高岡 昇
書記 西枝 攻
「記 堤 雄次
「記 為国 光俊
会計 井上 均
「記 佐藤 好久

例会出席		BFポイント		ニコニコ		ファン	
4月第1例会	40名	切手	36,792pt	4月第1例会	6,000円	4月	0円
4月第2例会	36名	累計	36,792pt	4月第2例会	18,000円		
在籍者数	47名	現金	105,750円				
出席率	91.5%	累計	142,542円	累計	428,166円	累計	1,136,828円

➤ 出席第一・時間厳守・親睦・奉仕・古切手蒐集 ➤

4月第一例会(花見例会)報告—第555回—

日時 4月13日(木) PM 7:00

場所 円山公園 いころ

山田 高弘 記

花見例会が4月13日、円山公園の「いころ」にて開催。この店の支配人はグローバルクラブメンバーの村田勉様との事、おかげで便宜を計ってもらったうえに、大サービスで感謝……。司会はドライバーの瀬川ワイズで進められ、高橋会長の挨拶で始まる。今日の例会はゾロ目の第555回目にあたり、珍らしい記念すべき日に偶然花見例会となる。昨日の暴風雨でかなりの桜の花が散ってしまった様であったが、枝垂桜はまだしっかりと花をつけ咲き誇った感じであった。IBC代表の川上君と大野君の台湾帰朝報告では、エバグリーンクラブ挙げての大歓待で大いに感激したとの事。また、大野君にとって今回の訪問は15年振りで、なつかしさもひとしおの感あり。頼錦桐様の弔いと、過去の数々の軋轢を乗り越え、今後の新たなブラザークラブの始まりを願ってとのお話であった。今期もあと2ヶ月の役員さんに、次期会長の永井君が乾杯のエールを贈った。又、来期も我がパレスワイズメンの固い結束で一層の飛躍と友情を確信しつつガンパローの合図で始まった。“花の宴”花冷えの今日にはもってこいのチャンコ鍋をつつき、相撲取りになった気分でも心も暖まった。

小生の住まいする嵯峨野の桜守として知られる十六代目佐野藤衛門氏は、道端に咲いている1本の桜にも一寸気をかけてやって、「きれいに咲いたなあ、来年もきれいに咲けよ」と声をかけると本当に不思議に長生きするんですよ。そして可愛がってくれる人が通ると、花がブルブルと震えるんですよと云われる。人も花も生あるもの全てに通ずる教えと受けとめる。花の季節がめぐりくる度に、落ちついてはいられない日本人気質。あっと言う間に桜花の季節は過ぎ去り、緑したたる葉桜から間もなく初夏へ。やれ公共料金の値上だ、不景気だ、政争だをよそに、ひと時を忘れて桜の下で花宴を満喫できる我がパレスワイズファミリーに幸多かれ!!。

今日はメネットさん達も多数参加していただいた。おかげで、より一層の華やぎであった。ワイズの発展、仕事の繁栄はメネットの尽力の賜物と痛感する昨今である。諸君どうぞメネットをお大切に……。垂れてしずる枝垂桜の花吹雪に見送られ解散となる。



メネットより見た“花見例会”

津田 節子 記



昨日の大雨で桜が散ってしまったのではと、心配しながらも、でも、まずは“花よりダンゴ”と花見例会場(円山公園内)ちゃんこ料理の店“いころ”に向かいしました。

あいにく主人が仕事の為、参加出来なくなり、私一人で心細かったのですが、出席致しました。

私が着いた時はもう例会が始まっており、川上さん、大野さんの台中エバグリーンクラブを訪問した時の報告を伺いました。そのお話を聞きながら、テーブルの上ではちゃんこ鍋がぐつぐつと音をたてて煮たっており、私達の食欲をそそります。

永井さんの乾杯の後に、私達メネットは鳥肉のミンチ、豚肉、いろいろな野菜と共に鍋にいれ、皆、いっせいに食べ始めます。

昨年同様、元パレスで今はグローバルクラブの田中昌博、まり子様御夫婦も参加して、メン・メネット共、ビール、お酒、野菜等のおかわりをして、皆、お腹一杯になるまで良く飲み、よく食べ、よくしゃべりと、たいへんにぎやかで隣の方と話をする時も大声で話さなくては聞こえない程の盛り上りでした。

午後10時頃に閉会となり、円山公園のしだれ桜を皆で見物にまいました。

しだれ桜は去年と同じように、立派で、美しく、ゴージャスで、いつまでみてもみあきないしだれ桜でした。

メンもメネットも、酒に酔い、桜に酔いこち良い気持で、楽しい一夜を過ごしました。



4月第二例会報告 ー第556回ー

日時 4月27日(木) PM 7:00

場所 ブライトンホテル

河合信也記



本日はいつもと違って、テーブルにリキュールグラスが並べられ、お酒が出るのかな?って思っていたら、それもその筈、本日のゲストスピーカーは、清酒「日出盛」の松本酒造株式会社専務取締役、松本正博様をお迎えして銘酒「桃の雫」を頂きながらの楽しい例会です。

高橋会長挨拶の後、IBC代表として韓国、済物浦クラブに行かれた佐藤三Y'sから訪問の報告があり、済物浦クラブでは、酒、たばこ、はもつての他の厳粛な例会をされていて、二次会もコーヒーショップだとの事でした。通常は厳粛な例会をもち、稀にお酒が出る我がパレスクラブが、やっぱり私には一番合っている様な気がしました。そして通常のスケジュールとは異なり、ゲストスピーカーの松本様の登場で、まずは試飲(利き酒)のお勉強という事で「桃の雫」中吟醸が出てきました。少しだけ口含み、口の中で転ばす、そして口から鼻に息を抜きながら飲む(専門家は、吐きだすらしい)、そ

うすれば酒の最も良いフルーティーな香りが味わえるとの事で、言われる通りにすると正にその通り、あまりお酒の飲めない私でも、少しは酒の味がわかる様な気になりました。食事、諸報告の後、再登場の松本様のお話しは、伝統産業である酒造りを、寛政三年から約200年続けられている会社の歴史から始まり、大手メーカーに属せずに独自の販売努力をされた苦労談、又常に新しいものにチャレンジして、会社のモットーである「皆にすかれるおいしいお酒」を造るべく日夜技術の研鑽をされているといったお話しは、日頃努力の足りない私にとってたいへん為になり、感銘を受けました。最後に、精米歩合30%の高精白をした「大吟醸」を頂きながらスライドで酒造りの過程を見せていただき、一滴たりとも無駄にはできないと、すっかりほろ酔い気分で、おまけに御土産までいただいて例会場を後にしました。それにしても「大吟醸」は本当においしいお酒ですね。感謝。



コラム「一の裏は六」

洋蘭の栽培について

美しく豪華な洋ラン類が本格的に文明国で栽培されるようになったのは、1850年頃の英国で始められたのが最初のようなのである。原産地である南米や東南アジアから遠く離れた欧州では入手できなかったため、洋ランの美しさは人目にふれる事もなくイギリスの人々も知るよしもなかった。その頃のイギリスは七つの海を支配したと云われるごとく海外進出していたため、そのころの花の好きな人が西インド諸島から初めて洋ランの株をもち帰り栽培の歴史が始まることになる。記録によればこの時のランは *Bletia verecunda* で、これが欧州に紹介された最初の洋ランのようである。その後中南米から洋ランの株が持ちこまれたが栽培ポイントがわからず育てることが困難だったようである。原産地での生態は理解されず、初期の栽培は失敗の連続であったようである。その後、正しい原生状況が判明し育て方の糸口がわかったうえ、温室という栽培室

がくふうされ、洋ランにより植え込み材料が発見されたりして栽培もしやすくなってきたのである。このような栽培が1889年頃ジームスピーチによって公開されようやく安定した栽培がなされるようになった。そして最初の開花までに約100年の時と苦労をかけてきたのである。このことから見ても、栽培技術の完成までには、たいへんな努力がはられたものと考えられるのである。ワイズもまだ70年、もう少し長い目で栽培しよう。品種改良も特徴のある改良も行なうようお願いしたい。ただむだな改良を重ねずにすむように、特に、優良団体の量産でクラブがふえる事を花をみながら思う。ワイズの花がいつ本当の咲きかたをするのだろう。時代の要求にこたえる開花はいつの日か、少量のクラブがいつ大きな進歩が見られ、社会の欲求に応えられる、奉仕クラブになるのか。

定本洋ラン大観より
京滋部EMC主査 林 孝治(京都プリンス)

日時 1994年4月29日 PM1:00~

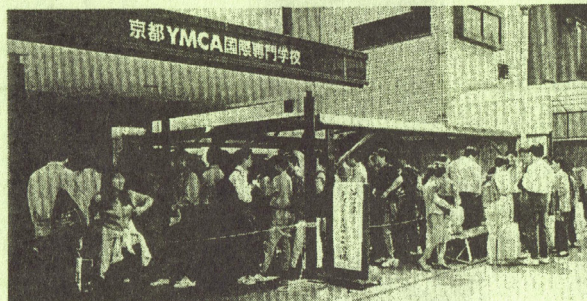
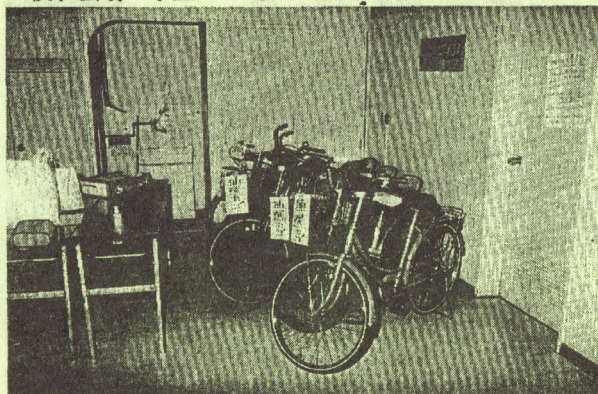
場所 YMCA青少年センター

CS委員 今井 亮 記



4月29日に行われた第2回留学生チャリティバザールが盛会裡に終了しましたことを報告いたします。留学生諸君の満足気な顔が印象的でした。

当日8時には、会長、CS委員長はじめ10名以上のメンバーが集合、今期最後のイベントに掛ける熱意がみなぎっていました。協力頂きました寄贈品は一万点を越え、品物の整理、値段付けにうれしい悲鳴。12時には、準備万端整い開場を待つばかり。1時前には、300名を越える留学生の列ができ、さあ、いよいよ開場。一瞬の緊張の後、会場は学生さん達の熱気で一気にクライマックス。

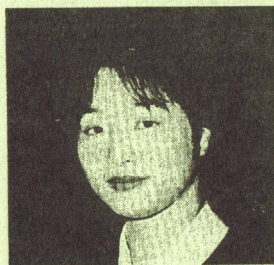


1時間で、ほぼ商品は完売。人気商品は、タオル、ユカタ、食料品、電化製品、自転車、食器では并鉢でした。2時30分、後かたづけの後、売上金100,273円がYMC A国際交流基金に寄付されました。

今回のチャリティバザールを通し、留学生およびYMC Aにささやかではありますが協力できたことに感謝しております。当日の参加者は、メン33名、メネット5名、コメット1名でした。朝早くからお疲れ様でした。また、数多くの品物を寄贈して頂きましたこと、紙面にて一筆お礼申し上げます。



こんにちは京都YMCAです



3月、私にとって4回目となる専門学校の卒業生を送り出しました。

やんちゃで、先生方や私たち教務の頭を悩ませていたあの学生も、休み時間ごとに受付にやってきて、何をするでもなく私たちを話し相手に時間をつぶしていたあの学生も、みんな卒業して行きました。卒業の日をむかえるたび、寂しい気持ちがどっとわいてきます。

緊張した面もちで入学試験を受けに来た時から彼らと私たちの関わりが始まります。彼らの私たちを見る目が「やさしいお姉さん」からだんだん「うるさい教務」と

YMCA専門学校 石田 みどり

いう認識に変わっていったら、学校に慣れてきた証拠。学生達は、私たち教務や先生方から細かいことまでうるさく言われながら、社会へ出ていく準備をするのです。

長いようで実に短い2年間。学生達と一緒に泣いたり笑ったり、腹を立てたり。教務として学生にできることは何なのか、悩みながら受付に立つこともしょっちゅうです。言葉は荒っぽいけれど、仲間（ときには私たち）に対する思いやりにあふれる彼らに、私の方が教えてもらっていると思うことも多くあります。私は、ほんの少しでもそんな彼らの役に立つことができたでしょうか。

学校には、新しい学生があふれています。今日も私たちは、学生達の間を駆けまわっています。ワイズメンズクラブの皆さん、ぜひ一度、若いパワーあふれる専門学校に遊びに来て下さい。

韓国済物浦クラブ訪問記

佐藤 制三 記



韓国金浦空港へ4月17日（日）下り立つと、済物浦（チェンムルポ）Y'sクラブの温厚そのものの会長の朴（パク）さんが自ら出迎えてくれ早速仁川（インチョン）の町へ、少し仁川の町や朴さんの勤務する仁聖女子高等学校を見学の後海鮮料理を御馳走になりコーヒーショップでの様々の韓国の風習、日本の話題等朴さんの達者な日本語での話に時間が尽きない思いでした。

翌日は平日に関わらず高等学校の校長でIBC委員長の徐（ソー）さんが自ら運転する車でソウルの町への買物、又、北朝鮮と対峙する現場へと大変気を使って戴きお世話に成りました。

済物浦Y'sメンズクラブ（済物浦とはこの地の古い時代の呼び名）は北朝鮮との分断線である38度線に最も近い市で人口は韓国国内で3番目の220万人の仁川市に有り仁川市にはワイズメンズクラブは18クラブ総会員数は約300名との事です。済物浦クラブの会員は現在21名で約70%がプロテスタント派のクリスチャンで現国會議員、病院院長、校長先生など錚々たる地位の方が多く平均年齢は約55才位。しかし会員数はピーク時の40数名から減少の一途をたどり、この数年は新入会員無しとの事でこの危機を乗り切る為に現会長の朴さんは二度目の会長就任だそうです。委員会は月に一回例会も月に1回で大体夜7時半から9時迄ですが、昼食時に開催したり曜日も色々変えたり会場も普段の教会からレストラン、ホテルへと様々工夫しているのが伺えます。

出発の日の朝食は仁川YMCAの総主事の李（リー）さんに御馳走に成りながら、5～6年前迄は活力が無く恥ずかしい位の活動しかしていなかった仁川YMCAを現在では政府が福祉の為に建物を造りその運営はYMCAに委託すると言う関係になり仁川の市民に大変信頼される様にした李総主事の苦勞話を聞かせて戴きました。

急速に発展している韓国に於ける一人一人のそれぞれの職場、社会で置かれている立場の重要性を考えるとクラブへの出席がともすれば後回しに成りがちな中で奉仕活動を行う熱意と努力に本当に感謝しました。

京滋部メネット会 報告記

高橋 妙子 記

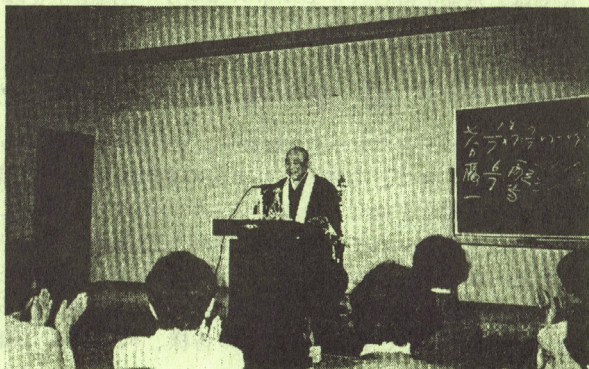
春雨の降りしきる4月23日の円満院は樹齢300年を誇る桜の木もすっかり葉桜と化し、その舞い落ちた花びらは短い命を惜しむ様に池の水面にゆれていました。

メイプルクラブのメネットさん達のお世話で、第八回京滋部メネット会は68名の出席のもと三井寺円満院門跡で開催されました。56代門跡三浦道明様によるお話は“氣”についてで、氣は密教を原流とし、長い歴史を持ち、人の病気を治したり、願いを叶えてくれたりして人々に幸せを持たらす世界であり、又言葉の氣により家庭環境は円満になる等、聞く人の心をつかむ話術は、27冊の本を出版し、いろいろな社会事業に貢献された自信から来るものでしょう。参加したメネット達は、早速門跡から“氣”を入れて貰い、しばしその世界にひたる事が出

来ました。天津絵美術館では、円山応挙の直筆の絵や、天津絵等が多く展覧され、私達の目を楽しませてくれました。精進料理をおいしく？頂戴し、各参加クラブの活動について紹介し合い、午後2時頃三三五五に別れる迄、意義あるひとときを過ごして参りました。

日本区から認証されたものをメネットクラブといい、メネットによる諸活動はあっても認証未申請の向きを、メネット会と呼ばれているのですが、京滋部には、20クラブ中メネットクラブは8つあるという事です。パレスクラブにはメネットクラブはありませんが、行事のある時には出席しております。

パレスクラブからの出席は、杉本、西中、永井、鈴木、高橋メネットでした。



役員会報告

第1号議案	谷口廣君広義会員の件	承認
第2号議案	4月第二例会ゲストスピーカーの件	承認
第3号議案	5月第一例会ゲストスピーカーの件 郁文中学校校長 大川 聡様	承認
第4号議案	5月第二例会ゲストスピーカーの件 大阪センティニアル 谷川 寛君	承認
第5号議案	トスファンドの件 6月第一例会にて行う	承認
第6号議案	次々期京滋部部長の件 洛中クラブ 大西 廣一君	承認
第7号議案	リトリートセンター委員選出の件 次期Yサ委員長 小桜 武彦君	承認

5月スケジュール

役員会	5月6日(金)	ブライトンホテル
第一例会	5月11日(水)	ブライトンホテル
第二例会	5月25日(水)	ブライトンホテル

ENDOWMENT FUND について

BF・EF委員長 小 桜 武 彦

Endowment Fund は国際ワイズダム発展の為会員個人及び団体等からの寄付、遺贈、献金等によってあつめられた、国際に存在するファンドです。

各クラブより国際に送金される1人年間2600円の国際会費は経常費に当てられますが、エンドウメント ファンドはY'sdomの発展、拡張、また未開地へのワイズメンズクラブの設立等の助成に国際の委員会で検討され運用されています。

個人、団体のプライベート(家庭、仕事 etc)やワイズに関するメモリー等に際して献金する場合とワイズメンクラブの創始者 ポール ウィリウム アレキサンダー判事のワイズメンクラブ設立精神に肖り共鳴してUS\$100以上を献金する方法があります。この場合献金者を“A Paul William Alexander Fellow”としての名称が与えられます。

1955年に最初の基礎が設立され、1967年に Golden Bookを作成し、ワイズメンクラブ国際協会ジュネーブ事務所に保存されUS\$100以上の献金につき寄贈者とその理由、記念の対象者等が記載されその栄誉を永久に讃えることとしました。

Golden Bookに記載するStatementを英文100語以内で提出することになっています。(和文でも可)

貴兄もこの趣旨に賛同されワイズダム発展の為エンドウメント ファンドに\$100以上の献金をされますようお願い申し上げます。

メンバーあれこれ

我がパレスクラブ一番の男前?、井上均君が4月より店舗を烏丸通二条上る 京栄烏丸ビルに移転されました。このビルの設計、監理はメンバーの瀬川勝彦君が行いました。さすがこのビルには、瀬川君の人柄がよく表われていて、とてもグレースでリッチな感じがします。

-6-

ブリテン委員長/高倉孝次 副委員長/田中慎一 委員/谷口武士・津田知宏・西中日向

Happy Birthday

遠 藤 宏 君	1935年5月1日
山 田 高 弘 君	1939年5月6日
宮 本 勇 史 君	1939年5月19日
大 野 嘉 宏 君	1939年5月23日
永 井 孝 君	1944年5月24日

Happy Anniversary

佐藤 好久・時子夫妻	1970年5月2日
谷口 廣・明子夫妻	1985年5月4日
宇野 廣一・洋子夫妻	1966年5月5日
津田 知宏・節子夫妻	1967年5月10日
永井 孝・邦子夫妻	1968年5月14日
山田 博司・京子夫妻	1962年5月17日
大野 嘉宏・三恵子夫妻	1963年5月19日
高谷 泰市・幸江夫妻	1958年5月26日

YMCAだより

1. 新センター愛称募集

今年9月、京都YMCAの新拠点として四条烏丸にある産業会館6階に新センターがオープンします。ここでは主として成人を対象に、国際交流や生涯学習のプログラムを展開する予定です。

このセンターにふさわしく、皆様に親しまれるような愛称を募集しています。採用作には、このセンター準備委員会の委員長賞が授与されます。ふるってご応募ください。皆様のグッド・ネーミングをお待ちしています。

応募方法 センターの愛称、氏名、連絡先、YMCAでの所属を明記のうえ郵便又はFAXにてお送り下さい。

締切り 1994年5月末日

宛先・お問い合わせ 京都YMCA三条本館
生涯学習センター準備室

2. タイマソン

会員、地域のなみさまに恒例となりました、春のタイマソンを今年も行ないます。輝く緑のなか、太陽の光をいっぱいにあびて、気持ちよく、ウェルネスな一日をお過ごしください。ご家族、お友達、お誘い合わせのうえご参加ください。

5月15日(日)宝ヶ池にて、受付開始午前9時30分詳しくは、京都YMCAウェルネスセンター今出川(TEL 075-441-2773)まで。

編集雑記

長いゴールデンウィークも終わり、又多忙な日々がやってきました。さて、今月のブリテンの表紙には、小桜君がキリスト教とYMCAとワイズメンの関わり、そして聖句のことを書かれています。この聖句は祝部主事より毎月送ってもらっております。今月の聖句は、「知恵ある者、力ある者、富ある者は、その知恵、力、富を誇るな。」ということです。メンバーの皆様、何事にもご謙虚に!



CLUB OFFICE
京都YMCA青少年センター
京都市上京区烏丸今出川下ル
☎(075)432-3191 〒602

THE Y'S MEN'S CLUB OF KYOTO PALACE

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

6 '94

Bulletin

1994.6.1発行
第24巻第12号通巻277号

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

CHARTERED 1971

クラブ標語 “楽しもうワイズを” —良き未来の為に今日一日の充実を—

国際標語 “IN SHARING WE HAVE FOREVER” 『いつでも分かちあいの心を』
アジア区標語 “THINK ASIA THINK Y'SDOM” 『考えようアジアとワイズ』
日本区標語 “CREATE A NEW AGE” 『創造しよう新時代』
京滋部標語 “WE Y'SDOM AIM GROWTH WITH YMCA” 『翔ばたけワイズYMCAと共に』

心を求めて例会に至り 境地を得て例会を去る



聖句

涙と共に種を蒔く人は喜びの歌と共に刈り入れる。

詩編126・第5節

パレスクラブの6年間を振り返って

YMCA連絡主事 祝部 康二

1988年7月以来、6年間のパレスワイズ在籍を振り返り、皆様方に心からの御礼を申し上げたいと思います。パレスチャーター後の1970年代前半、当時の私は野外活動の担当をしており、夏のサバエキャンプ開設ワークでは、本当にお世話になりました。10名そこそこのメンバーでボートの運び出しや浜掃除、ペンキ塗りなど、厳しいワークを、こなしていただいたものです。

その縁あってか、1988年7月に担当主事として再会をした時も、極めて暖かく迎えられた事を記憶しています。6年前、実際に初めて出席したのは山田会長から橋本会長への引継例会の時であり、ホリデー・インでの例会でありました。以後、橋本会長、杉本会長、田中会長、北村会長、西中会長、高橋会長と6期にわたりお世話になりました。また、チャーター以来のメンバーである采野さん、大野さん、田中勝さん、西川さん、宮本さんにはワイズの本質やYMCAとの協同につき、色々な場でお話をうかがいました。さらにこの間、私の上司であった

高谷元総主事のご指導も忘れる事は出来ません。

私自身、この7月よりグローバルワイズの連絡主事としての使命を与えられており、パレスで学んだ多くの事を、この新しいクラブの中で生かすべく、さらに頑張りたいと思っております。また、私の後任連絡主事である神崎清一主事は、青少年センターの館長で、ウェルネス事業の総括責任者であり、パレスクラブとYMCAとの連帯のキーパーソンとして最適の人物です。私同様に、ご指導、ご協力を下さいますようよろしくお願い申し上げます。

チャーター以来、常にユニークな、新しいアイディアを提供し、ワイズとYMCAの活性化を目指して来られたパレスクラブが、次の25周年、30周年を目指して、さらに大きな発展をとげられる事をお祈りし、連絡主事としての離任のごあいさつとさせていただきます。皆さん、この6年間、本当に有難うございました。

【強調月間】 反省と計画

会長 高橋 卓也
副会長 高岡 昇
書記 西枝 攻
書記 堤 雄次
書記 為国 光俊
会計 井上 均
会計 佐藤 好久

例会出席		BFポイント		ニコニコ		ファンド	
5月第1例会	33名	切手	0pt	5月第1例会	12,000円	5月	3,750円
5月第2例会	34名	累計	36,792pt	5月第2例会	27,000円		
在籍者数	47名	現金	0円				
出席率	83.0%	累計	142,542円	累計	467,166円	累計	1,140,578円

➤ 出席第一・時間厳守・親睦・奉仕・古切手蒐集 <

5月第一例会報告 —第557回—

日時 5月11日(木) PM 7:00

場所 ブライトンホテル

田中慎一記

今日の例会は、いつもながら元気な高橋会長の挨拶で始まり、4月29日に行われた留学生のためのバザーが大成功を収めたことの報告をされました。またその売上金はすべてYMCAの主事に渡されました。

ゲストスピーカーは、布施君の紹介で、京都市立郁文中学校校長の大川智様をお招きし、「夜間中学校の現状」についてお話いただきました。

内容をかい摘まんでみますと、現在夜間中学校は全国で35校あり、京都府では郁文中学校1校だけが夜間中学校を開設しています。

そこで学ぶ人達は、外国籍、特に韓国、朝鮮籍の人が4分の3以上おられ、またその中でも高齢の女性が殆どを占めておられます。遠いところでは、和歌山から泊まり込みで来られる方もあり、80歳以上の高齢の方もいらっしゃるそうです。このようなかたがたは、昔、強制的に日本に連れて来られて、貧困や差別の中で学校にも行けず、学ぶ機会など無く、文字も読めない書けないまま歳を重ねられた方が殆どで、今改めて学校へ通うことにより、学ぶ喜びを切々と感じておられるそうで、82歳の方で高校進学を目指して頑張っておられる方も有ることと、非常に驚きました。また、有る生徒の方の書かれた作文も紹介くださり、生徒の皆さんの熱心に学ばれる様子に感動しました。そして、夜間中学の卒業証書は、わたしたちの想像もつかないような努力と苦勞の結晶で有り、何物にも変えられない価値のあるものです。

これからも夜間中学に学ばれる皆さんの益々のご精進と、大川様のご活躍を期待すると共に、私達が当たり前のように学校へ通い、読み書きができるということがどんなに素晴らしいことかを改めて感謝しつつ例会を終えました。



5月第二例会報告 —第558回—

日時 5月25日(木) PM 7:00

場所 ブライトンホテル

高倉孝次記

今期も残すところあと3回の例会となり、高橋会長には、どこか少々寂しげな様子が感じられます。今期の例会の最後を飾るゲストスピーカーは、アジアYMCAリエゾンで大阪センティニアルクラブの谷川寛様をお迎えしました。又、ゲストとして、YMCAからはブリテンの“こんにちは京都YMCAです。”のコーナーに執筆をいただいた好崎さんと居松さん。そして和敬学園からは、松川和歌子さんと山口恵さんの若いお嬢さん達で、例会場はいつもより華やいだ雰囲気です。

会長挨拶の後、まずCS委員会の奨学金が会長より、松川和歌子さんに手渡されました。そして次に、メンバーの全員が一斉に驚くことに、この4月より社会人になられた、山口恵さんの艶すがた。お化粧をきれいにし、上品なスーツを身にまとい、堂々とした挨拶をされて、一同唖然としました。(1年で女性はあるものですね。)

食後、谷川寛様の世界のワイズメンズクラブについてのスピーチです。現在、世界には1,326のワイズメンズクラブがあり、27,506名の会員を有しています。

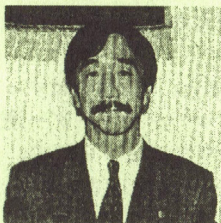
その内、アジア地区は446クラブ、10,716名で、世界の“ワイズの振り子”はアメリカから、ヨーロッパを経てアジアに振れていて、アジアエリアの成長が特に著しいそうです。続いて、ワイズ誕生の地、アメリカ、カナダのワイズメン衰退の理由のお話がありました。

その要因として、まずリーダーとメンバーの高齢化、そして、仲良しクラブ化やワイズメンズクラブへの魅力の衰失をあげられました。谷川様のスピーチを聞きながら小生、その問題点をパレスクラブに当てはめてみますに、パレスも確かに、メンバーの高齢化や仲良しクラブ化には、少々、危険信号が点もっていますが、ワイズメンズクラブへの魅力には、メンバー全員が益々、虜になっている現状に、安心してお話を聞くことができました。



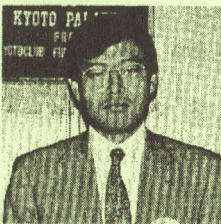
『三役さん』一年を振り返って一言!!

副会長 高岡 昇



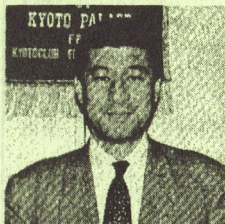
高橋会長のもと副会長を仰せつかって早1年が過ぎようとしています。前期の書記に引き続いての三役と、不惑を迎え厄年ならぬ役年の1年間でした。副会長として高橋会長を補佐するどころか会長の懐の深さにあまえさせていた事もたびたびでした。おかげでこの1年間“ワイズ”を楽しませていただきました。メンバーの皆さんのご協力と寛容に感謝いたします。

書記 提雄 次



書記として何とか過ぎて来られましたのは、もう1人の書記の為国君にオンブにダッコをしてもらって、会長ほか他三役様が首にロープをつけて引っぱっていただいたおかげです。で有りますから1年間よくワイズの仕事をしたと言う実感はほとんど無に近いのであり、1年間とても楽しめました。

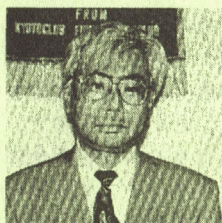
会計 井上 均



今期、高橋会長のもとで会計を担当し、過去に山田博司会長時代に副会長を、杉本会長時代に書記をと、三役を一通り経験したことで、やっとパレスクラブの議事運営が分かり、リーダートレーニングも出来たと思います。

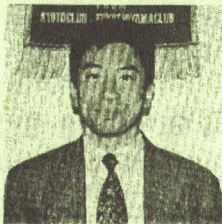
まだまだ未熟者で御座いますので人生の先輩方より人生に於ける社会勉強をトレーニングさせていただき次々期に反映させたいと思います。

副会長 西枝 攻



しんどくもあり、楽しくもありの一年でした。委員会活動の活発化をスローガンに本年の活動は開始しましたが、強力な役員の方をともに各委員会は活発に「懇親」の機会をもたれ、メンバー間の意思の疎通は従来に増して強固なものになったと思います。クラブ行事に関してメンバーの協力のもと任務を無事終了することが出来そうです。有り難うございました。この結束の成果を来期の活動に繋げましょう。

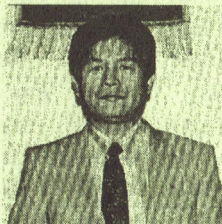
書記 為国 光 俊



「書記ってな〜に」で始まった今期、楽しみながらガンバロウと目標を立ててみたものの、あちらこちらから「為ちゃん」、「書記さ〜ん」と、お叱りを受けたり訓えていただいたりと、うれしいような辛いような1年間でした。

「厳しさと優しさ」という目に見えない大きな“力”がこのクラブにはあります。初めての三役経験を通じて、諸先輩が築いたこの“力”に改めて触れることが出来たようです。

会計 佐藤 好 久



今期一年間会計を手伝わしていただき、大変いそがしかったのですが、楽しく会計をさせていただきました。ありがとうございます。

コラム「一の裏は六」

ボランティア

私が、京都YMCAのインド・ランチYとの交流にこだわって長く関わってきた理由を申し上げたいと思います。

ベトナム戦争の終結が近くなった頃から、いわゆる第三世界の問題が大きくクローズアップされるようになり、日本全国のYも従来の北米中心の国際交流からアジア・アフリカにも目をむけるようになりました。京都は、ランチとの人の交流をすることにしました。京都から、堀江主事、インドからナイク主事がそれぞれ4ヵ月位の滞在で研修見学をしました。その時、ナイク主事は、他のYのスタッフと異なり、金銭的援助は一切いらないことを強調しました。人間同志の理解と信頼こそ大切で、そこからY運動が発展すると言うのでした。私は建前上の美しい言葉でないかとさえ思ったのでした。しかし、ナイクの人柄に触れるほどに、彼の人格的な素晴らしさに惚れ込み、何かしてあげた

い、援助したいと思った私は恥ずかしい思いで一杯になりました。私もランチを訪問した時、絶対的貧困そのもののスラムの子どもたちの目の輝き、花や踊りや歌で心から歓迎してくれる、その天性のような明るさに圧倒され言葉もでない感激に胸が一杯になりました。私たち日本人は歓迎に物やお金で腐心しますが、全く恥ずかしい、日頃の生活の価値観の乏しさに気付かされたのでした。まさに何物にも代えられぬ心の贈物を頂いたのです。

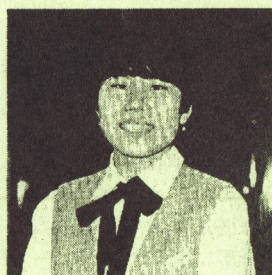
国際青年年(1985)を契機に学校の先生方にインドの体験をして頂き、日本の教育を根本から問い直していったらどうかとスタディツアーを企画しました。ボランティアは何かしてあげるのではなく、結果としてもっと大きい賜物与えられるものであることを知りました。

「受くるは与うるより幸なり」聖書使徒言行録20:35

京都YMCA顧問 高谷 泰 市 (パレスクラブ)

こんにちは京都YMCAです とにかく、やってみないと分からない？

青少年センター 羽野喜代子



YMCAのことを、ただの英語学校だと固く信じて、職員募集に応じ、運良く採用されました。しかし、研修で、YMCAはキリスト教理念に基づいたボランティア団体だと知って、もうびっくりです。キリスト教にもボランティア

にも全く縁のない生活を送ってきた私としては、ボランティアって何？というのが、その時の感想でした。

そんな中で、国際協力募金の街頭募金がありました。強制参加ではなかったけれど、先輩方が皆参加する中で、入職したての新人が休むわけにも行きません。寒いなあとか、これからもボランティアの名目で、色々ときさせら

れるのかなあとか、ユーウツになりながら、しぶしぶ参加しました。

しかし、募金が始まって30分もすると、ユーウツはすっかり吹き飛んでいました。野外のメンバーやリーダー達の「募金おねがいしま〜す!!」の大きな声につられて、私も大声を出していました。募金をしたことはあっても、募金してもらうのは初めてのことです。けっこうたくさんの人が募金に協力してくれるものだと思いました。

何でも、参加してみないと分からない。ボランティアも、こんな機会がなかったならば、ずっとやらなかったことでしょう。とにかく、面白そうと思えば、首をつっこんでみたいと思っています。面白そうやな→ボランティアにつながればいいなあとき々思います。

1994年～1995年度 次期委員会配属

事業委員会		委員長	副委員長	委員			担当
Yサ・ASF	氏名	小桜 武彦	宮本 隼史	佐藤 好久	瀬川 勝彦	津田 知宏	山岸 谷口
	自宅	075-462-5349	075-414-1886	075-571-8400	0774-32-6854	075-605-0965	
	勤務先	075-463-6400	075-441-6148	075-571-8400	075-221-1632	075-603-7511	
C S	FAX	075-462-5349	075-414-1377	075-571-8043		075-603-7515	河合 南出
	氏名	佐藤 制三	三原 隆	岡本 和彦	杉井 恭敏	谷口 廣	
	自宅	075-921-7546	075-592-7689	075-406-2002	075-702-4501	075-222-2179	
EMC	勤務先	075-682-2551	075-595-7101	075-406-2357	075-702-2004	075-231-5145	南出 布施
	FAX	075-682-0366	076-592-7689	075-406-2703	075-702-2633	075-231-5148	
	氏名	西川 寿一	杉本 泰造	采野 弘和	宇野 廣一	村田 吉弘	谷口 山岸
IBC&YEEP	自宅	075-701-2277	075-341-5221	075-671-9094	075-791-6202	075-541-0350	
	勤務先	075-841-2854	075-341-5221	075-671-2121	075-791-6201	075-361-5580	
	FAX	075-841-2859	075-341-5223	075-671-5345	075-722-5504	075-351-2431	
B F	氏名	川上 孝司	高倉 孝次	今井 亮	山田 博司	渡辺 泰一	南出 河合
	自宅	075-314-2733	075-381-4761	075-711-6071	075-491-3467	075-491-2300	
	勤務先	075-682-7177	075-351-8875	075-561-1121	075-431-5181	075-492-2153	
ブリテン	FAX	075-682-7180	075-351-3633		075-414-1513	075-492-2157	鈴木 谷口
	氏名	野崎ひろ恵	安岡 忠男	西枝 攻	高橋 卓也		
	自宅	075-822-2402	075-594-5880	075-231-4777	075-722-8664		
ドライバー	勤務先	0771-23-4110	075-591-5719	06-365-5881	075-751-1090		鈴木 布施
	FAX	0771-23-4118	075-591-9275	075-252-5552	075-761-4452		
	氏名	田中 慎一	井上 均	堤 雄次	井上 彰	遠藤 宏	
ファンド	自宅	075-451-1797	0775-29-0010	075-721-2941	075-451-2262	075-882-0880	河合 山岸
	勤務先	075-451-1797	075-241-2373	075-721-8125	075-415-0333	075-882-4600	
	FAX	075-432-1210	075-241-2485	075-712-1106		075-882-4455	
ファンド	氏名	高岡 昇	為国 光俊	大野 嘉宏	菊井 正弘	山田 高弘	河合 山岸
	自宅	075-561-9311	075-603-0869	075-493-4370	075-501-0389	075-463-1383	
	勤務先	075-221-6986	075-462-7889	075-801-6291	075-393-0151	075-881-9088	
ファンド	FAX	075-221-6986	075-464-3923	075-802-4516	075-391-1523	075-464-4466	
	氏名	荒川 徹	篠原 孝弘	川口 淳子	田中 勝	西中 日向	河合 山岸
	自宅	075-621-0025	075-957-7478	075-881-6487	075-414-6936	075-461-9204	
	勤務先	075-315-2961	075-957-7478	075-771-5786	075-222-0054	075-461-9204	
	FAX	075-321-8001		075-771-5786		075-461-9204	

My Wellness Part 20

テニス

西川 寿一

グリーンのコートで白球を追う短いテニスウェアを着た若い女性を見て“そうやテニスをやろう”と思ったのが丁度テニスブームで、あちこちに会員制のテニスクラブが出し初めた頃、今から17年前である。左京区静市にある京都インベリアルテニスクラブの会員になり、日曜日になれば一日中プレーをしていた。運動する事は好きであったがテニスは初めての事、コーチにいろいろ教えてもらって早く短いテニスウェアの女の子とプレーしたいために一生懸命練習をした。人間目標をもてば上達も早い。当時は未だ36才で体力もあってなんとかボールが打てる様になりゲームもできるまでになりだしてからは、テニスのおもしろ味がだんだんわかってきて、今度はゲームがおもしろくなりある真夏の暑い日中に長時間やり過ぎてオーバーワークになり、日射病にかかった事もありました。

子供達が未だ学生の頃、メネットと一緒に5月の連休に志賀高原のペンションに行き家族4人でテニスをした時は、本当にテニスをやって良かったと今でもその時の写真を見て、当時の事が思い出され良い思い出になりました。

ワイズメンの中にも多くのテニス愛好者がおられる事を聞いて昨年5月第1回のワイズメン有志によるテニス大会を開催したところ、6クラブから36人のメン・メネットが集まり、テニスを通じて他クラブのメンバーと交流ができました。今年も5月8日に第2回目を行い総勢40人の参加で、パレスクラブからも布施君夫妻、津田君、杉井君、南出メネットが参加していただき、楽しく試合を行い他のクラブのメンバーとの親睦が計られました。

私が今だにテニスを続けられているのは、季節の良い春や秋のぬける様な青空のもとで、グリーンのコートでボールを打った時のポーンというあの音と感触がなんともたまらない。そしてゲームをして自分の思い通りにプレーやスマッシュが打ててゲームに勝った時は、日頃のストレスがすっとぬけた感じがする。逆にうまく打てなかった時は、何て自分はテニスが下手なんだろうと思い少しストレスがたまることがあるが、そんな時はもう年かなと自分に言い聞かせて納得している。私にとってテニスは心身共にリフレッシュさせてくれるスポーツでありこれから年令に応じたテニスを続けていきたいと思っています。



My Wellness Part 21

アウトドアライフとスキー

南出 潤一

風さわやかな季節。屋外でのんびりテント生活。時間に制約されず、好きなものを料理し、それを家族みんなで食べる。各々が自分のたのしめる事を見付けて、それに挑戦する。雪の降るシーズンになれば皆でスキーに出かける。

これが我家の、ここ3～4年前からつづいているウェルネスです。

以前キャンプと言えば、思い荷物をかつぎ、電車、バスを乗り継いでくたくたになりやっとの思いでキャンプ場にたどりついたものでしたが、今はオートキャンプが主流でキャンプ場のテントサイドまで自家用車を乗りつけて、その横にテント、タープ（天井だけのテントでリビングスペースを作るもの）を張る。当然車に荷物を満載していくわけですから、何不自由なくキャンピングライフをエンジョイできるわけです。

またオートキャンプ場の設備たるや、炊事場はもちろんの事、水洗トイレ、風呂（なかには温泉も有り）、シャワー、コインランドリー等色々たそろっており、長期滞在も可能にしております。我家では、一年を通して5月の連休、お盆休みが長期キャンプに出掛け、祝日・日曜と連休があると、1泊キャンプに行くというのが数年つづいているスタイルですが、秋のキャンプが何といっても最高です。（子供達は水泳のできる夏が良いと思うのですが?）

それぞれアウトドアでの楽しみ方は色々ありますが、私にとっての一番のそれはやはり食事です。

秋になれば食べ物がおいしく料理をしても暑くなく、何よりうれしいのがあまり虫がいないという事です。屋外でのおいしい空気と食事、これだけで普段のストレスを吹き飛ばしてしまうような気がします。

私の思いの中には、いずれスキー場で雪中キャンプをと思っていますが、家族の反対があり、まだ実現しておりません。一日中屋内で仕事をしている私にとって自然の中で思いきり手足を伸ばすことが、今のところ一番のウェルネスだと思います。

皆さん一度アウトドアのすばらしさを体験してみてください。……（この原稿を書きながら6月4日と5日にキャンプに行こうとしている。キャンプの虫より）



役員会報告

第1号議案	トスファンドの商品の件	承認
第2号議案	連絡主事交替の件	
	次期より神崎清一主事に引継	承認
第3号議案	京都YMCA職員例会招待の件	承認
第4号議案	バナー作成の件	承認

6月スケジュール

役員会	6月1日(水)	新旧合同	ブライトンホテル
第1例会	6月8日(水)		ブライトンホテル
第2例会	6月22日(水)	引継例会	ブライトンホテル

1993～1994

B F (切手、現金) ポイント個人別一覧表

名 前	ポイント	ランク	名 前	ポイント	ランク
荒 川 徹	2,000P		高 谷 泰 市	560P	
井 上 彰	1,012P		田 中 慎 一	1,140P	
井 上 均	1,860P		田 中 勝	1,220P	
今 井 亮	1,000P		谷 口 武 士	1,000P	
采 野 弘 和	2,000P		谷 口 廣	1,000P	
宇 野 廣 一	1,108P		為 国 光 俊	2,140P	
遠 藤 宏	2,000P		津 田 知 宏	1,600P	
大 野 嘉 宏	2,000P		堤 雄 次	1,860P	
岡 本 和 彦	1,420P		永 井 孝	30,000P	1位
河 合 信 也	1,460P		西 枝 攻	4,040P	5位
川 上 孝 司	4,180P	4位	西 川 寿 一	2,200P	
川 口 淳 子	1,000P		西 中 日 向	2,740P	
菊 井 正 弘	1,000P		野 崎 ひろ恵	2,187P	
小 桜 武 彦	2,529P		布 施 公 一	1,440P	
佐 藤 制 三	1,888P		祝 部 康 二	2,000P	
佐 藤 好 久	1,652P		南 出 潤 一	2,000P	
篠 原 孝 弘	1,560P		三 原 隆	1,720P	
杉 井 恭 敏	1,000P		宮 本 隼 史	2,980P	
杉 本 泰 造	6,920P	2位	村 田 吉 弘	1,000P	
鈴 木 俊 一	2,072P		安 岡 忠 男	3,800P	6位
瀬 川 勝 彦	1,060P		山 岸 弘 侍	2,800P	
高 岡 昇	1,248P		山 田 高 弘	1,000P	
高 倉 孝 次	1,708P		山 田 博 司	3,652P	7位
高 橋 卓 也	5,036P	3位	渡 辺 泰 一	1,000P	

メンバーあれこれ

去る5月22日、私は今お世話になっているサンタレッドというヨットが、上海から大阪までのレースに出場のために、博多湾から上海までの回航に出発しました。上海には5月26日の未明に着きました。ヨット歴10年目にして、初めて外洋で数回にも渡るヨットの中での生活を、大変貴重な経験ができたことをうれしく思います。



田中 慎一

ブリテン委員長/高倉孝次 副委員長/田中慎一 委員/谷口武士・津田知宏・西中日向

YMCAだより

1. サマープログラム受付開始

ふりそぞろ夏の太陽の光の中、海へ山へ森へ、元気に飛び出してみませんか。キャンプ・スイミングスクール・ウェルネススクール・絵画教室など、今年もYMCAのサマープログラムで、お友達と一緒に楽しい時思い出をいっぱいつくって下さい。

参加希望者説明会：5月28日(土) 1時～2時30分

6月4日(土) 1時～2時30分

受付・会員：6月9日(木) 電話による受付

・一般：6月10日(金) となっております。

予約受付電話 075-415-3930

2. 夏期・国際交流プログラム

中学・高校生のみなさんを対象に、この夏、京都YMCAではアメリカ・カナダの大自然の中でのキャンプ生活を中心としたワイルドな国際交流のチャンスを準備しています。さあ、冒険いっぱいの体験学習で自分の世界を拓きましょう。

第5回イーストコースト交流の旅(7月31日～8月20日)

対 象：中学1年生～高校3年生

参加費：499,000円

第6回アメリカン・カントリーキャンプ

(7月31日～8月20日)

対 象：中学3年生～高校3年生

参加費：399,000円

第6回ヒューストン高校生交換プログラム

(7月26日～8月16日)

対 象：高校3年生

参加費：370,000円

※詳しいお問合わせは、京都YMCA三条本館国際部(255-3287)までお願いいたします。

***** 編集雑記 *****

我々ブリテン委員会のブリテンの発行も、いよいよ今月号で、最終となりました。一寸淋しいような、又、やっと終ってよかったという気持ちが入り乱れております。

この1年間、メンバーの皆様楽しんでもらえる、又毎月待ちどろしいようなブリテンの発行を目指して、委員会は頑張ってきました。又、一応メンバーの全員に原稿の執筆をお願いし、皆様には喜んでお引受け願いました。特に前半のブリテンには、鈴木君に度々お願いし、又、後半は西川君には、もう今回で最後やと云いながら、度々執筆をお願いしました。そして、杉本君には、毎回のブリテンの内容のご批判をいただき、委員会の反省と励みとなりました。感謝しております。

又、YMCAの11名の女性の職員の皆様には、「こんにちは京都YMCAです」のコーナーに、さわやかな、キラリと光る原稿を執筆いただきました。他のクラブの役員のメンバーの方々に、コラム「一の裏は六」のコーナーに原稿をお願いしますと、「パレスクラブの為にしたら、書きます。」との嬉しいお言葉をいただきました。皆様のご協力のおかげをもちまして、1年間ブリテンを発行できましたこと、ブリテン委員会一同感謝にたえません。